

(受学管 6-2)

南宇治中学校配膳室設置工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	【建築意匠】						【電気設備】	
A-01	表紙・図面リスト	NS	A-26	部分詳細図2	1/5・1/10	E-01	電気設備工事 特記仕様書-1	NS
A-02	共通特記仕様書	NS	A-27	部分詳細図3	1/2・1/3・1/5 1/10・1/20・1/30	E-02	電気設備工事 特記仕様書-2	NS
A-03	建築改修工事特記仕様書1	NS	A-28	部分詳細図4	1/5・1/12・1/30	E-03	【改修】校舎1階平面図	1/200
A-04	建築改修工事特記仕様書2	NS	A-29	【現況・撤去/改修】外構図	1/100	E-04	特記事項・凡例・分電盤リスト・照明器具参考姿図	NS
A-05	建築改修工事特記仕様書3	NS	A-30	仮設計画図(参考図)	1/300	E-05	電灯設備【現況・撤去】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-06	建築改修工事特記仕様書4	NS				E-06	電灯設備【改修】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-07	建築改修工事特記仕様書5	NS		【建築構造】		E-07	コンセント設備【現況・撤去】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-08	建築改修工事特記仕様書6	NS	S-01	構造特記仕様書1	NS	E-08	コンセント空調電源設備【改修】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-09	建築改修工事特記仕様書7	NS	S-02	構造特記仕様書2	NS	E-09	弱電設備【現況・撤去】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-10	付近見取図・配置図	1/800・1/2500	S-03	鉄筋コンクリート工事標準図1	NS	E-10	弱電設備【改修】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-11	【現況・撤去/改修】校舎1階平面図	1/200	S-04	鉄筋コンクリート工事標準図2	NS	E-11	自動火災報知設備【現況・撤去】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-12	【現況・撤去/改修】校舎2階平面図	1/200	S-05	鉄筋コンクリート工事標準図3	NS	E-12	自動火災報知設備【改修】1階昇降口平面詳細図	1/50
A-13	【現況・撤去】 1階昇降口A・B平面詳細図・内部仕上表	1/50・NS	S-06	鉄骨工作標準図1	NS			
A-14	【改修】 1階生徒用昇降口・配膳室平面詳細図・内部仕上表	1/50・NS	S-07	鉄骨工作標準図2	NS		【機械設備】	
A-15	【現況・撤去/改修】 昇降口屋根伏図・天井伏図	1/100	S-08	上屋構造図	1/30 1/50・1/100	M-01	機械設備工事 特記仕様書 No.1	NS
A-16	【現況・撤去/改修】 断面詳細図1(昇降口A→生徒用昇降口)	1/30				M-02	機械設備工事 特記仕様書 No.2	NS
A-17	【現況・撤去/改修】 断面詳細図2(昇降口B→配膳室)	1/30				M-03	機械設備 衛生器具リスト・機器リスト	NS
A-18	【現況・撤去/改修】 昇降口立面図・外部仕上表	1/50・NS				M-04	給排水衛生設備【改修】校舎1階平面図	1/200
A-19	ALCハコ受け材・シャッター受け材詳細図	1/30・1/100				M-05	給排水衛生設備【改修】配膳室平面詳細図	1/50
A-20	【現況・撤去/改修】建具配置図・建具表	1/50				M-06	空気調和・換気設備【改修】配膳室平面詳細図	1/50
A-21	【現況・撤去/改修】 展開図1(昇降口A→生徒用昇降口)	1/30・1/50 1/100						
A-22	【現況・撤去/改修】 展開図2(昇降口B→配膳室)	1/50						
A-23	【現況・撤去/改修】 展開図3(昇降口B→廊下)	1/50						
A-24	上屋詳細図	1/50						
A-25	部分詳細図1	1/5・1/10						

<p>A 工事概要</p> <p>1 工事名称 (受学管6-2) 南宇治中学校配膳室設置工事</p> <p>2 工事場所 宇治市大久保町平盛3 1番地の5</p> <p>3 工事期間 入札通知書による。</p> <p>4 規模構造 鉄骨造平家建て</p> <p>5 建築面積 3,450.343㎡(増築後合計)</p> <p>6 延床面積 7,710.173㎡(増築後合計)</p> <p>7 工事範囲 配膳室設置工事 一式 昇降口改修工事 一式 上屋新築工事 一式 上記に伴う機械・電気設備工事 一式 上記に伴う撤去・処分 一式</p>	<p>m官公庁その他への手続き</p> <p>n技術者及び現場代理人</p> <p>o工事完了時の整地</p> <p>p建設発生土の処分</p> <p>q解体等工事の事前調査</p>	<p>工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。</p> <p>なお、これに要する費用は受注者の負担とする。</p> <p>受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。</p> <p>受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。</p> <p>建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書(報告書)」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料(受入証明書)及び写真等を添付する。その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。</p> <p>受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。</p> <p>また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。</p> <p>調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。</p> <p>受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。</p> <p>撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書(報告書)」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証(搬出地と搬入地)の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。</p> <p>本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。</p> <p>その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。</p> <p>「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。</p> <p>工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。</p> <p>「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてもリサイクル後の処理残滓(ザンサイ)等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。</p> <p>なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)</p>																																				
<p>B 特記仕様書</p> <p>1 共通事項</p> <p>a 施工基準</p> <p>b 監理基準</p> <p>c 提出書類等</p> <p>d 建設業退職金共済制度</p> <p>e 工事実績情報</p> <p>f 建設工事保険等</p> <p>g 労災補償に必要な法定外の保険契約について</p> <p>h 工事写真・完成写真</p> <p>i 不正軽油使用防止の徹底</p> <p>j 一般事項</p> <p>k その他</p> <p>l 過積載防止</p>	<p>本工事は契約書及び①質疑回答書②現場説明書③特記仕様書④設計図⑤公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。</p> <p>本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版)により監理する。</p> <p>契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においてはすべての下請負人及び警備業者を記載する。</p> <p>を記載する。なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。</p> <p>受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。</p> <p>受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入カシステム(CORINS)の登録申請を行う。</p> <p>また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する(作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする)。</p> <p>受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。</p> <p>受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35号)に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険(法定外の労災保険)に付する。</p> <p>工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版)を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する(データ共)。</p> <p>なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对(左右または前後)として整理すること。</p> <p>受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。</p> <p>また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 工事完成時には、社内検査を実施する。 本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器・低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。 交通誘導警備員は、現場説明書による。 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。 <p>受注者は本工事における材料等の搬入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。</p>	<p>2 発生材等処分 工事に伴う撤去材</p> <p>3 仮設工事 工事電力・工事用水 工事用電力設備 の保安責任者</p> <p>設置・維持管理 仮囲い</p> <p>内外足場・養生等</p> <p>墜落制止用器具の使用 について</p> <p>4 その他</p> <p>ホルムアルデヒド等の 放散量測定について</p> <p>電気・機械設備工事</p> <p>5 完成図書</p> <p>現場説明書による。</p> <p>工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。</p> <p>持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。</p> <p>現場説明書による。</p> <p>施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。(フェンスバリケード(シート貼り共)等)</p> <p>詳細については仮設計画図による。</p> <p>足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。</p> <p>近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工事用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組本足場(W=900以上)とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正)」に基づき働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。</p> <p>受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。</p> <p>「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日施行)による)</p> <p>分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用パッシブ採取機器(サンブラー)一覧表(学校用)」による。(平成21年4月1日改訂版)</p> <p>測定場所：配膳室 計1箇所(工事前、工事後)</p> <p>工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等)器具の機能確認を行い、その結果を書面に監督職員に報告する。</p> <p>完成に際しては以下の図書を提出する。</p>																																				
<table border="1"> <tr> <td>株式会社</td> <td>コム・キューブ 一級建築士事務所</td> </tr> <tr> <td>一級建築士</td> <td>第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日</td> </tr> </table>	株式会社	コム・キューブ 一級建築士事務所	一級建築士	第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日	<table border="1"> <tr> <td>施設名</td> <td>南宇治中学校</td> <td>図名</td> <td>共通特記仕様書</td> <td>図面</td> <td>56枚の内</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td>南宇治中学校配膳室設置工事</td> <td>縮尺</td> <td>NS</td> <td>No.</td> <td>A-O2</td> </tr> </table>	施設名	南宇治中学校	図名	共通特記仕様書	図面	56枚の内	工事名	南宇治中学校配膳室設置工事	縮尺	NS	No.	A-O2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>内容</th> <th>サイズ</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完成図(背張り製本)</td> <td>特記仕様書・完成図・施工図</td> <td>A3版</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>完成図書</td> <td>機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)</td> <td>A4版</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>諸官庁提出書類</td> <td>副本</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>完成図データ</td> <td>CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF</td> <td>C-D-R</td> <td>2部</td> </tr> </tbody> </table>	名称	内容	サイズ	部数	完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部	完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部	諸官庁提出書類	副本		一式	完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C-D-R	2部
株式会社	コム・キューブ 一級建築士事務所																																					
一級建築士	第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日																																					
施設名	南宇治中学校	図名	共通特記仕様書	図面	56枚の内																																	
工事名	南宇治中学校配膳室設置工事	縮尺	NS	No.	A-O2																																	
名称	内容	サイズ	部数																																			
完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部																																			
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部																																			
諸官庁提出書類	副本		一式																																			
完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C-D-R	2部																																			

建築改修工事特記仕様書

[1] 工事概要
1. 工事場所 宇治市大久保町平盛3番地の5
2. 敷地面積 24,123.60 m²
3. 建築物概要
4. その他(改修内容)
[2] 適用範囲
[3] 工事区分

[4] 工事仕様
1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修仕様」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

① 足場その他
② 既存部分の養生
労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。

③ 仮設間仕切り
④ 監督職員事務所
⑤ 工事用水
⑥ 工事用電力
⑦ 仮囲い等
⑧ 設計GL

① 埋め戻し及び盛土
② 建設発生土の処理
③ 鉄筋の種類
④ 溶接金網
⑤ コンクリートの種類
⑥ コンクリートの強度

⑦ セメントの類別
⑧ 骨材
⑨ 混和材料
⑩ 構造体強度補正值
⑪ コンクリートの試験
⑫ 軽量コンクリート
⑬ 寒中コンクリート
⑭ 暑中コンクリート

1 既存防水の処理
2 既存下地の処理
3 アスファルト防水

3 防水改修工事
① 屋根露出防水工法
② 屋根露出防水絶縁断熱工法
③ 屋内防水工法
④ 断熱材(屋根保護防水断熱工法)
⑤ 断熱材(屋根露出防水断熱工法)
⑥ 改質アスファルトシート防水
⑦ 屋根露出防水密着工法
⑧ 屋根露出防水絶縁工法
⑨ 屋根露出防水絶縁断熱工法

③	5 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	種別	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0S 工法	○ S(1)-F1	○ アクリル樹脂トコンクリート下地	
		○ S4S 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)		
		○ P0S1 工法	○ S(1)-F2 ○ S(1)-M1		
		○ S4S1 工法	○ S(1)-M2		
		○ S3S 工法	○ S(1)-F1	表3.5.1	
		○ S3S1 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)	表3.5.2	
		○ S(1)-F2	表3.5.3		
		○ M4S 工法	○ S(1)-M1 ○ S(1)-M2		
		○ M4S1 工法			
○ P1S 工法	○ S-C1		モルタル塗り厚さ _____ mm		
S-F1、S-M1、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様					
断熱材(断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____					
S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ○ 設置する					
接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 ※ 図示による ○ _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ _____ 仕上げ塗料 ○ 珪酸系 ○ シルコン 脱気装置(絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの ○ _____					
6	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種別及び工法	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0X 工法	※ X-1 ○ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.1	
		○ L4X 工法	○ X-1 ※ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.2	
		○ P1Y 工法	※ Y-2	表3.6.3	
○ P2Y 工法	○ _____				
脱気装置(X-1) ○ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ○ 設けない					
7	漏水試験	※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)			
8	保証書	※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)			
9	施工確認	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量 () 箇所			
⑩	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリング材の種類 ※ 改修仕様 表3.7.11による			
		シーリング改修工法及び施工箇所			
		改修工法の種別	施工箇所		
		○ シーリング充填工法	新設建具周り		
		○ シーリング再充填工法			
		○ 拡張シーリング再充填工法			
		○ブリッジ工法			
仕上げを行わない施工箇所 (○ 図示による) ○ _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____					
シーリングの試験 ※=簡易接着性試験 (部位 _____) ○=引張接着性試験 (部位 _____)					

③	① とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	種別	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0S 工法	○ S(1)-F1	○ アクリル樹脂トコンクリート下地	
		○ S4S 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)		
		○ P0S1 工法	○ S(1)-F2 ○ S(1)-M1		
		○ S4S1 工法	○ S(1)-M2		
		○ S3S 工法	○ S(1)-F1	表3.5.1	
		○ S3S1 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)	表3.5.2	
		○ S(1)-F2	表3.5.3		
		○ M4S 工法	○ S(1)-M1 ○ S(1)-M2		
		○ M4S1 工法			
○ P1S 工法	○ S-C1		モルタル塗り厚さ _____ mm		
S-F1、S-M1、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様					
断熱材(断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____					
S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ○ 設置する					
接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 ※ 図示による ○ _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ _____ 仕上げ塗料 ○ 珪酸系 ○ シルコン 脱気装置(絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの ○ _____					
6	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種別及び工法	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0X 工法	※ X-1 ○ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.1	
		○ L4X 工法	○ X-1 ※ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.2	
		○ P1Y 工法	※ Y-2	表3.6.3	
○ P2Y 工法	○ _____				
脱気装置(X-1) ○ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ○ 設けない					
7	漏水試験	※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)			
8	保証書	※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)			
9	施工確認	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量 () 箇所			
⑩	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリング材の種類 ※ 改修仕様 表3.7.11による			
		シーリング改修工法及び施工箇所			
		改修工法の種別	施工箇所		
		○ シーリング充填工法	新設建具周り		
		○ シーリング再充填工法			
		○ 拡張シーリング再充填工法			
		○ブリッジ工法			
仕上げを行わない施工箇所 (○ 図示による) ○ _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____					
シーリングの試験 ※=簡易接着性試験 (部位 _____) ○=引張接着性試験 (部位 _____)					

④	(4.1.4) (4.3.5) ~ (4.3.8)	種別	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0S 工法	○ S(1)-F1	○ アクリル樹脂トコンクリート下地	
		○ S4S 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)		
		○ P0S1 工法	○ S(1)-F2 ○ S(1)-M1		
		○ S4S1 工法	○ S(1)-M2		
		○ S3S 工法	○ S(1)-F1	表3.5.1	
		○ S3S1 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)	表3.5.2	
		○ S(1)-F2	表3.5.3		
		○ M4S 工法	○ S(1)-M1 ○ S(1)-M2		
		○ M4S1 工法			
○ P1S 工法	○ S-C1		モルタル塗り厚さ _____ mm		
S-F1、S-M1、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様					
断熱材(断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____					
S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ○ 設置する					
接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 ※ 図示による ○ _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ _____ 仕上げ塗料 ○ 珪酸系 ○ シルコン 脱気装置(絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの ○ _____					
6	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種別及び工法	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0X 工法	※ X-1 ○ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.1	
		○ L4X 工法	○ X-1 ※ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.2	
		○ P1Y 工法	※ Y-2	表3.6.3	
○ P2Y 工法	○ _____				
脱気装置(X-1) ○ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ○ 設けない					
7	漏水試験	※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)			
8	保証書	※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)			
9	施工確認	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量 () 箇所			
⑩	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリング材の種類 ※ 改修仕様 表3.7.11による			
		シーリング改修工法及び施工箇所			
		改修工法の種別	施工箇所		
		○ シーリング充填工法	新設建具周り		
		○ シーリング再充填工法			
		○ 拡張シーリング再充填工法			
		○ブリッジ工法			
仕上げを行わない施工箇所 (○ 図示による) ○ _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____					
シーリングの試験 ※=簡易接着性試験 (部位 _____) ○=引張接着性試験 (部位 _____)					

④	4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)	種別	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0S 工法	○ S(1)-F1	○ アクリル樹脂トコンクリート下地	
		○ S4S 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)		
		○ P0S1 工法	○ S(1)-F2 ○ S(1)-M1		
		○ S4S1 工法	○ S(1)-M2		
		○ S3S 工法	○ S(1)-F1	表3.5.1	
		○ S3S1 工法	PC部材入隅増強 (※有り ○無し)	表3.5.2	
		○ S(1)-F2	表3.5.3		
		○ M4S 工法	○ S(1)-M1 ○ S(1)-M2		
		○ M4S1 工法			
○ P1S 工法	○ S-C1		モルタル塗り厚さ _____ mm		
S-F1、S-M1、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様					
断熱材(断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____					
S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ○ 設置する					
接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 ※ 図示による ○ _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ _____ 仕上げ塗料 ○ 珪酸系 ○ シルコン 脱気装置(絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの ○ _____					
6	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種別及び工法	防水層	施工箇所	仕上材料
		○ P0X 工法	※ X-1 ○ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.1	
		○ L4X 工法	○ X-1 ※ X-2 ○ X-1H ○ X-2H	表3.6.2	
		○ P1Y 工法	※ Y-2	表3.6.3	
○ P2Y 工法	○ _____				
脱気装置(X-1) ○ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ○ 設けない					
7	漏水試験	※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)			
8	保証書	※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)			
9	施工確認	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量 () 箇所			
⑩	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリング材の種類 ※ 改修仕様 表3.7.11による			
		シーリング改修工法及び施工箇所			
		改修工法の種別	施工箇所		
		○ シーリング充填工法	新設建具周り		
		○ シーリング再充填工法			
		○ 拡張シーリング再充填工法			
		○ブリッジ工法			
仕上げを行わない施工箇所 (○ 図示による) ○ _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____					
シーリングの試験 ※=簡易接着性試験 (部位 _____) ○=引張接着性試験 (部位 _____)					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
4	アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ○ _____ 注入口付アンカーピン ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 ○ _____	11 タイル部分張替え工法 及びひび割れ張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)	施工箇所及び タイルの種別 ○ 図示 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 工法その他 ○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ※ 標準 ○ 有り ○ 磁器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 特注 ○ 無し ○ 陶器	15 マスチック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	下地処理 下地のひび割れ部等の補修 ○ 図示による 下地調整材 ※ セメント系下地調整材 (JIS A 6916) ○ ポリマーセメントモルタル ○ 防水形仕上げ塗材主材 (JIS A 6910(複層仕上げ塗材))	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ● ステンレス製 (SUS316) 形式 ※ 外部可動式 ○ 固定式 線径、網目 ※ 0.25mm以上、16~18メッシュ ○ _____ 防鳥網 ○ 設置する
(4.2.4) (4.4.7) ~(4.4.8)	工 法 1箇所の面積 (㎡) 材 料 施 工 箇 所 ○ タイル部分張替え工法 0.25 ※ ポリマーセメントモルタル 未調 ○ 一液反応硬化型変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	12 窓下人研面台の 補修	○ 既調合モルタル (_____) タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う (施工箇所 _____) タイルの見本焼 ※ 行わない ○ 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による接着力試験を行う ○ 行わない	16 部分改修工法 (4.5.7)	種別 ○ A種 ※ B種 (表4.6.1)	9 樹脂製建具 (5.3.2) ~(5.3.5)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1) 性能等級 ○ A種 ○ B種 ○ C種 耐風圧性 ※ S-4 ○ ※ S-5 ○ ※ S-6 ○ 気密性 ※ A-4 ○ 水密性 ※ W-4 ○ ※ W-5 ○ 特見込み(mm) ※ 図示 ○
5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ○ 改修標準仕様書4.5.11による ○ タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ○ 行う ○ 行わない 抜取り部の補修方法 ○ 図示 ○ ○ セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル ○ 密着張り ○ 改良圧着張り 外装ユニットタイル ○ マスク張り ○ モザイクタイル張り ○ 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ○ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変性シリコン系 ○ タイルの種類 ○ 外装タイル ○ ユニットタイル	(13) 仕上げ塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	○ シール工法 (※仕上げ塗材は外壁仕上げ塗材の上塗り材とする。) ※ 塗膜防水 (※弾性ウレタン系 ○ エポキシ系)	17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 _____ 工法 _____ 外壁用仕上げ塗材の耐水性 ○ _____ 下地拳動緩衝材の適用 ○ 適用する ○ 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/㎡) 外壁用仕上げ塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/㎡)	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~(5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (● S-4) (表5.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※= 適用する ○ 適用しない (表5.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) ○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による) ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ ※ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ _____ mm ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による
6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)	建築補修用注入エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ○ 中粘度形 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)	厚付け仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 外装厚塗材C ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗り (○ 上塗材) ○ ひき起こし ○ かき落とし ○ 外装厚塗材S ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 外装厚塗材E ○ 平たん状 ○ 凹凸状 ○ こて塗り (○ 上塗材) ○ ひき起こし ○ ロ-ラ-塗り	選付け仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 外装薄塗材S ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ○ 可とう形外装薄塗材S ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ● 外装薄塗材E ● 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗り ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ○ 着色骨材砂壁状 ○ こて塗り ○ 吹付け ○ 可とう形外装薄塗材E ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗り ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ○ 防水形外装薄塗材E ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り (○ 増塗材) ○ 凹凸状 吹付け ○ 外装薄塗材S 砂壁状 吹付け	4 防火戸 (5.1.4)	※ 図示による ○ _____ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○ 連動させる (※建具表による ○ _____) ○ 連動させない	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) ~(5.5.4)	鋼板 ※ 表面処理垂鉛めっき鋼板 ○ ニール被覆鋼板 ○ カラー鋼板 鋼板類の厚さ ※ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ● _____ mm 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ○ _____) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____ 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による
7 リカットシール材 充填工法 (4.2.6)	シーリング材の上にポリマーセメントモルタル ○ 行う	可とう形改修用仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 可とう形改修塗材E ○ 平たん状 ロ-ラ-塗り ○ 可とう形改修塗材RE ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ○ 可とう形改修塗材CE ○ ゆず肌状 吹付け	可とう形改修用仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 可とう形改修塗材E ○ 平たん状 ロ-ラ-塗り ○ 可とう形改修塗材RE ○ さざ波状 ロ-ラ-塗り ○ 可とう形改修塗材CE ○ ゆず肌状 吹付け	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	建具見本の製作 ○ 行う (建具番号 _____) 特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具番号 _____) ○ ブラインドボックス等の再使用 (_____)	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ~(5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3) ○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2) ステンレス鋼板の種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____ JISただし書き建具の寸法許容差 ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ
8 アカビ'ニン'注入工法 (4.3.5)	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○ _____	防火材料の指定 ※ なし ○ _____ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 ※ 行う (参考工法: _____ 製造所: _____) ○ 行わない	防火材料の指定 ※ なし ○ _____ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 ※ 行う (参考工法: _____ 製造所: _____) ○ 行わない	6 防犯建物部品 (5.1.7)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____)	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1) 性能等級 ● A種 ○ B種 ○ C種 耐風圧性 ※ S-4 ○ ※ S-5 ○ ※ S-6 ○ 気密性 ※ A-3 ○ ※ A-4 ○ 水密性 ※ W-4 ○ ※ W-5 ○ 特見込み(mm) ※ 図示 ○ 70 ○ 100 ○ 図示 ○
9 注入口付アンカー ピン'ニン'注入工法 (4.3.5)	注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度 ○ _____	仕上塗材の耐水性 ※ 耐候形3種 ○ _____ 仕上塗材の上塗材 溶媒 ※ 水系 ○ _____ 樹脂 ※ アクリル系 ○ _____ 外観 ※ つや有 ○ つやなし ○ メタリック	仕上塗材の耐水性 ※ 耐候形3種 ○ _____ 仕上塗材の上塗材 溶媒 ※ 水系 ○ _____ 樹脂 ※ アクリル系 ○ _____ 外観 ※ つや有 ○ つやなし ○ メタリック	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2) 種 別 色 施 工 箇 所 ● BB-1種 ● 標準 ○ 特注 ※ 図示による ○ ○ BB-2種 ○ 標準 ○ 特注 ※ 図示による ○ ○ ○ 標準 ○ 特注 ○ ○ 標準 ○ 特注 ○ ○ 標準 ○ 特注	○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 ※ 図示による ○ _____ 水切り、ぜん板等 ※ 図示による ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____	
10 モルタル塗替え 工法 (4.3.5)	モルタル ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 (_____) 既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)	14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	既存塗膜の除去方法 ※ 試験施工実施 ○ サンダー工法 ○ 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ○ 30Mpa ○ _____) ○ 塗膜はく離工法 (製造所: _____) ○ 水洗い工法 (○ ティンダラシ ○ 高圧ホップ 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ○ 既存壁面の (_____ %) ○ 別図に示す範囲	○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)	○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)		

<p>⑤ ⑬ 建具用金物 (5.8.2) ~ (5.8.4)</p> <p>⑤ 建具改修工事</p>	<p>マスターキーの製作 ※ 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) ○ 作成しない ● 在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 ※ 3本1組 (室名札付き) ○ _____ 鍵箱 ※ 無 ○ 有</p> <p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>● シリンダー錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス ● レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (● ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 本締り錠</td> <td>シリンダー錠: ステンレス</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 空錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス ○ レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>○ グレモン錠</td> <td>レバーハンドル: 亜鉛合金、(○ ステンレス)</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス、(○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ビボットヒンジ</td> <td>カバー部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>○ 自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>● フロアヒンジ</td> <td>カバー部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>○ ヒンジカバー(丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>○ 遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>○ ヒンジカバー(ヒンジ型)</td> <td>カバー部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● ドアクローザー</td> <td>本体: 7Mニッケル合金 7M部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>ステンレス、(○ 鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 押棒・押板</td> <td>(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落とし (フランス落とし)</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7Mストップ</td> <td>鋼 (加工めっき)、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ あおり止め付き</td> </tr> </table> <p>引戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>引戸用錠</td> <td></td> <td>木製建具の場合: シリンダー錠等はステンレス () 木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)</td> </tr> <tr> <td>○ クレセント</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>引手類</td> <td></td> <td>木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)</td> </tr> <tr> <td>戸車 (上吊りの場合を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール (上吊りの場合を除く)</td> <td>ステンレス、 (○ 7Mニッケル合金 ○ 黄銅)</td> <td>黄銅は木製建具用のみ</td> </tr> </table> <p>窓 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>クレセント・調整器・ヒンジ等</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td></td> </tr> </table> <p>金属製建具用丁番 ※ 表 5.8.2による ○ _____ 樹脂製建具用丁番 ※ 表 5.8.3による ○ _____</p> <p>14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能 ○ 引き戸用駆動装置性能値 ※ 改修仕様 表5.9.11による (○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2) ○ 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p> <p>○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 ※ 改修仕様 表5.9.2による ○ 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	● シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス ● レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (● ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○	○ 本締り錠	シリンダー錠: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○	○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 ()	○ グレモン錠	レバーハンドル: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		丁番	ステンレス、(○ 黄銅)		○ ビボットヒンジ	カバー部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き	● フロアヒンジ	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー	○ ヒンジカバー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き	○ ヒンジカバー(ヒンジ型)	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)		● ドアクローザー	本体: 7Mニッケル合金 7M部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	ステンレス、(○ 鋼)		● 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 ()	上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		○ 7Mストップ	鋼 (加工めっき)、(○ ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ あおり止め付き	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー錠等はステンレス () 木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)	○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 ()	引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)	戸車 (上吊りの場合を除く)			レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (○ 7Mニッケル合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。		<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用戸の総質量(kg)</th> <th>○40以下</th> <th>○40を越えるもの</th> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※20以下 ○</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※20以下 ○</td> </tr> </table> <p>性能等 品質・規格 _____</p> <p>種類 ○ 管理用シャッター (シャッターケース ○ 設ける) 耐風圧強度 () ○ 外壁用防火シャッター (シャッターケース ※ 設ける) 耐風圧強度 () ○ 屋内用防火シャッター (シャッターケース ※ 設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (シャッターケース ※ 設ける)</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 _____ Pa 開閉方式 ※ 電動式 (手動併用) ○ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3302</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3312</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> </table> <p>開閉方式 ○ 電動式 (手動併用) ※ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ 耐風圧強度 392 Pa</p> <p>スラット</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>● JIS G 3312</td> <td>● Z06又はF06を満足するもの ○</td> <td>● インターロック形 ○ オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3322</td> <td>○ AZ90を満足するもの ○</td> <td></td> </tr> </table> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>セクション材 ※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ アルミ・ガラス 耐風圧性能 _____ Pa 開閉方式 ※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ 収納形式 ○ スタンダード形 ○ ローヘッド形 ○ ハイリフト形 ○ パーチカル形 ガイドレール等 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種類等</th> <th>種別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>○ フロートガラス</td> <td></td> <td>○ 強化ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 型板ガラス</td> <td></td> <td>○ 熱線吸収ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 網入板ガラス</td> <td>PW 6.8</td> <td>○ 複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 線入板ガラス</td> <td></td> <td>○ 熱線反射ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 合わせガラス</td> <td></td> <td>○ 倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス漬の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>● アルミニウム建具</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>● 鋼製建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 (SR-1) ○ グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>○ グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ パテ (木製用)</td> </tr> </table> <p>※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p>	適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を越えるもの	手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○	手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○	材質	めっきの付着量	○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○	○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○	材質	めっきの付着量	形状	● JIS G 3312	● Z06又はF06を満足するもの ○	● インターロック形 ○ オーバーラッピング形	○ JIS G 3322	○ AZ90を満足するもの ○		種別	種類等	種別	種類等	○ フロートガラス		○ 強化ガラス		○ 型板ガラス		○ 熱線吸収ガラス		● 網入板ガラス	PW 6.8	○ 複層ガラス		○ 線入板ガラス		○ 熱線反射ガラス		○ 合わせガラス		○ 倍強度ガラス		○		○		種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	● アルミニウム建具	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	● 鋼製建具				○ ステンレス建具				○				建具の種類	材質	アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-1) ○ グレイジングチャンネル	樹脂製	○ グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種	木製	※ パテ (木製用)	<p>⑤ ⑮ 21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色調</th> <th>パターン</th> <th>防火認定</th> </tr> <tr> <td>x</td> <td>○</td> <td>○ クリア ○ ｶｰ()</td> <td></td> <td>※ なし ○ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○ 乳白 ○ 熱線反射</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 品質規格はJIS A5212 による ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>○ 壁用金属枠及び補強材 _____ ○ 骨格 材質 ※ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 ○ _____</p> <p>○ シーリング ※ 表3.7.11による ○ SR-1 ○ PS-1 ○ _____ ○ 化粧目地モルタルの色 ○ 白 ○ グレー ○ 金属製化粧カバー 材質 ※ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 図示による ○ _____</p> <p>○ 目地幅の寸法 ○ 平積みの場合 ※ 8mm以上、15mm以下 ○ _____ ○ 曲面積みの場合 ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はがらぎの幅寸法の10倍以上) ○ _____</p> <p>○ 伸縮調整目地の位置 ※ 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。 ○ _____</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 ※ A種 ○ B種 代用樹種の適用 ※ 可 ○ 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>○ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修仕様5.7.2(2)(イ)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※ 図示による ○ _____ (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいろうり付きの適用 ○ 適用しない ○ 適用する</p> <p>○ かまち戸 かまち樹種 (_____) 鏡板樹種 (_____) 見込み寸法 ※ 36mm ○ _____</p> <p>○ ふすま 張りの種別 ○ I型 ○ II型 上張り (押入等の裏側以外) ○ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 ※ 19.5mm ○ _____</p> <p>○ 戸ぶすま 表面板の仕上 ※ 図示による ○ _____ 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>○ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板</p> <p>種類 _____ 厚さ _____ mm</p> <p>⑥ ⑯ 揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2) (6.11.2) (6.11.4) (6.11.5) (6.13.2) (6.14.2) (6.16.4) (6.5.3) (9.5.4)</p> <p>木材、木れんが、ビニル床シート、ゴム床シート、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p>	寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	パターン	防火認定	x	○	○ クリア ○ ｶｰ()		※ なし ○ あり		○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射			合板の種類	規格等	備考	○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ MDF			<p>⑥ ⑫ 2 他の部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <p>3 既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ ビニル床シート等</td> <td>○ 下地モルタルの除去</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 合成樹脂塗床材</td> <td>○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 ※ 改修仕様4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ● 行う ○ 行わない) ○ _____</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修仕様6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 ※ A種(15%以下) ○ B種(20%以下) 造作材 ※ A種(15%以下) ○ B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <p>○ 下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1級 ※ 2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 特等 ※ 1等 ○ 2等</td> <td>※ 10%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ A種 ○ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	工法	施工箇所	○ ビニル床シート等	○ 下地モルタルの除去	※ 図示による ○ _____	○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法	※ 図示による ○ _____	○ フローリング張り床材			○ 床タイル			○ 床組			使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				○ 1級 ※ 2級			使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並			使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				○ 特等 ※ 1等 ○ 2等	※ 10%以下		使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	含水率				※ A種 ○ B種		
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																					
● シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス ● レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (● ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 本締り錠	シリンダー錠: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーハンドル: 7Mニッケル合金、 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 ()																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ グレモン錠	レバーハンドル: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 ()																																																																																																																																																																																																																																																																					
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																																																																																																																																																						
点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																																																																																																																																																																																																						
丁番	ステンレス、(○ 黄銅)																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ ビボットヒンジ	カバー部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																																																																																																																																																					
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き																																																																																																																																																																																																																																																																					
● フロアヒンジ	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ヒンジカバー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ヒンジカバー(ヒンジ型)	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)																																																																																																																																																																																																																																																																						
● ドアクローザー	本体: 7Mニッケル合金 7M部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																																																																																																																						
閉鎖順位調整器	ステンレス、(○ 鋼)																																																																																																																																																																																																																																																																						
● 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 ()																																																																																																																																																																																																																																																																					
上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 7Mストップ	鋼 (加工めっき)、(○ ステンレス)																																																																																																																																																																																																																																																																						
戸当り	亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ あおり止め付き																																																																																																																																																																																																																																																																					
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																					
引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー錠等はステンレス () 木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 ()																																																																																																																																																																																																																																																																					
引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)																																																																																																																																																																																																																																																																					
戸車 (上吊りの場合を除く)																																																																																																																																																																																																																																																																							
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (○ 7Mニッケル合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ																																																																																																																																																																																																																																																																					
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																					
クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																						
適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を越えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																					
手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
材質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																																																																																																																																																																																																																						
材質	めっきの付着量	形状																																																																																																																																																																																																																																																																					
● JIS G 3312	● Z06又はF06を満足するもの ○	● インターロック形 ○ オーバーラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ JIS G 3322	○ AZ90を満足するもの ○																																																																																																																																																																																																																																																																						
種別	種類等	種別	種類等																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ フロートガラス		○ 強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 型板ガラス		○ 熱線吸収ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																					
● 網入板ガラス	PW 6.8	○ 複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 線入板ガラス		○ 熱線反射ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 合わせガラス		○ 倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																					
○		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																																																																																																																																																																																																																																				
● アルミニウム建具	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 鋼製建具																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ ステンレス建具																																																																																																																																																																																																																																																																							
○																																																																																																																																																																																																																																																																							
建具の種類	材質																																																																																																																																																																																																																																																																						
アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-1) ○ グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																						
樹脂製	○ グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																						
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種																																																																																																																																																																																																																																																																						
木製	※ パテ (木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																						
寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	パターン	防火認定																																																																																																																																																																																																																																																																			
x	○	○ クリア ○ ｶｰ()		※ なし ○ あり																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射																																																																																																																																																																																																																																																																					
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ MDF																																																																																																																																																																																																																																																																							
種別	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ビニル床シート等	○ 下地モルタルの除去	※ 図示による ○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法	※ 図示による ○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ フローリング張り床材																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 床組																																																																																																																																																																																																																																																																							
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																		
			○ 1級 ※ 2級																																																																																																																																																																																																																																																																				
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																		
			○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並																																																																																																																																																																																																																																																																				
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																		
			○ 特等 ※ 1等 ○ 2等	※ 10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																			
使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																				

Chapter 6: Interior Renovation Work. Section 1: Construction of wood-based panels. Includes specifications for wood species, moisture content, and panel types like JAS 0360 and JAS 0701.

Chapter 7: Interior Renovation Work. Section 2: Construction of wall and ceiling panels. Includes specifications for gypsum board, wood-based panels, and insulation materials.

Chapter 8: Interior Renovation Work. Section 3: Construction of floor panels. Includes specifications for vinyl tiles, carpet, and floor coatings.

Chapter 9: Interior Renovation Work. Section 4: Construction of wall and ceiling treatments. Includes specifications for wall paper, paint, and ceiling treatments.

⑥	14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)	防火性能・種類・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>施行箇所</th> <th>防火性能</th> <th>品名・規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施行箇所	防火性能	品名・規格			
	施行箇所	防火性能	品名・規格					
	15 天井廻り縁	素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.4) コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.5) せつこうボード面及びその他のボード面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.7)						
16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)	モルタル ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 () 既製目地材 ○ 設ける (形状) 床目地 ○ 設ける ○ 設けない 目地の種類 ※ 押目地 ○ 目地割り ※ 2m程度 ○ 最大目地間隔 ※ 3m程度 ○							
17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)	伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ 壁面 ※ 図示による ○ タイルの試験張り ○ 行わない ○ 行う タイルの見本焼 ○ 行わない ○ 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない							
⑦	18 セルフレベリング 材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)	塗厚 (mm) ○ 10 ○ 15 ○						

⑦	① 塗装材料 (7.1.3)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○	
	② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)	塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ 図示 ○ (表7.2.1)~(表7.2.7)	
	素地	種別	備考
	木部	○ RA種 ※ 不透明塗料塗りの場合はRB種 ○ RC種	
鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種		
亜鉛めっき鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種		
モルタル及び せつこうプラスター面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	
コンクリート面及び ALCパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ● 適用する ○ 適用しない	
せつこうボード及び その他ボード面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種		

⑦	③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2)~(表7.3.7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ○ B種 透明塗料塗りの場合 ○ A種 ※ B種 鉄鋼面 (DP以外) ○ A種 ○ B種 ※ C種 鉄鋼面 (DP) ○ A種 ※ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ○ A種 ○ B種 モルタル及びせつこうプラスター面 (DP) ○ A種 ※ B種 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 ○ A種 ※ B種 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) ○ A種 ○ B種 コンクリート面 (DPのみ) ○ A種 ※ B種 せつこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※ A種 ○ B種 その他のボード面 目地: 継目処理工法以外 ○ A種 ※ B種																																						
	④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>SOP (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え 新規見え掛り</td> <td>○ A種 ※ C種 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EP-G (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え 新規見え掛り</td> <td>○ A種 ※ B種 ※ C種 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>塗替え 新規見え掛り</td> <td>○ A種 ※ B種 ※ A種 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ)による</td> <td>○ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>塗替え 新規</td> <td>※ A種 ○ B種 ※ C種 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>塗替え 新規</td> <td>○ C種 ○ ※ A種 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DP (工程の種類は表7.4.6)</td> <td>塗替え 新規</td> <td>○ B種 ○ -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>○ B種 ○ -</td> <td></td> </tr> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ C種 ○		EP-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○		DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ B種 ※ A種 ○		新規	7.4.2(1)(イ)による	○ A種		亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	塗替え 新規	※ A種 ○ B種 ※ C種 ○		EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え 新規	○ C種 ○ ※ A種 ○		DP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え 新規	○ B種 ○ -		新規	○ B種 ○ -	
	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考																																			
	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ C種 ○																																				
EP-G (工程の種類は表7.4.3)		塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○																																					
DP (工程の種類は表7.4.4)		塗替え 新規見え掛り	○ A種 ※ B種 ※ A種 ○																																					
新規		7.4.2(1)(イ)による	○ A種																																					
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	塗替え 新規	※ A種 ○ B種 ※ C種 ○																																					
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え 新規	○ C種 ○ ※ A種 ○																																					
	DP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え 新規	○ B種 ○ -																																					
	新規	○ B種 ○ -																																						
⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1)~(表7.13.1) <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">SOP</td> <td rowspan="2">合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>木部 新規外部 ※ A種 ○ B種 ○ C種 新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3.工程4は行わない) ○ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">種類 ※ 1種 ○</td> <td>亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種 その他塗替え・新規 ○ A種 ※ B種 ○ C種</td> </tr> <tr> <td>CL クリヤッカー塗り ○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種</td> </tr> <tr> <td>NAD</td> <td>7714樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>○ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>耐候性塗料塗り</td> <td>鉄鋼面 ○ 亜鉛めっき鋼面 ○ コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種 ○ A-2種 ○ B-2種 ○ C-2種 上塗り ○ 1級 ふっ素樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ○ 3級 ポリウレタン系等</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>つや有合成樹脂エポキシペイント塗り</td> <td>コンクリート面、せつこうプラスター面、モルタル面、せつこうボード面、その他ボード面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 しみ止め ○ ※ しみ止めシーラー (B種及びC種の場合)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP</td> <td rowspan="2">合成樹脂エポキシペイント塗り</td> <td>木部 新規 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ※ A種 ○ B種</td> </tr> <tr> <td>UC</td> <td>7714樹脂系775塗り</td> <td>○ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>○ A種 ※ B種</td> </tr> </table>	記号	名称	種別	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 新規外部 ※ A種 ○ B種 ○ C種 新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3.工程4は行わない) ○ C種	鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種	種類 ※ 1種 ○	亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種 その他塗替え・新規 ○ A種 ※ B種 ○ C種	CL クリヤッカー塗り ○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種	NAD	7714樹脂系非水分散形塗料塗り	○ A種 ※ B種	DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面 ○ 亜鉛めっき鋼面 ○ コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種 ○ A-2種 ○ B-2種 ○ C-2種 上塗り ○ 1級 ふっ素樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ○ 3級 ポリウレタン系等	EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り	コンクリート面、せつこうプラスター面、モルタル面、せつこうボード面、その他ボード面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 しみ止め ○ ※ しみ止めシーラー (B種及びC種の場合)	EP	合成樹脂エポキシペイント塗り	木部 新規 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種	鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ※ A種 ○ B種	UC	7714樹脂系775塗り	○ A種 ※ B種	WP	木材保護塗料塗り	○ A種 ※ B種										
記号	名称	種別																																						
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 新規外部 ※ A種 ○ B種 ○ C種 新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3.工程4は行わない) ○ C種																																						
		鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種																																						
	種類 ※ 1種 ○	亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種 その他塗替え・新規 ○ A種 ※ B種 ○ C種																																						
		CL クリヤッカー塗り ○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種																																						
NAD	7714樹脂系非水分散形塗料塗り	○ A種 ※ B種																																						
DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面 ○ 亜鉛めっき鋼面 ○ コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種 ○ A-2種 ○ B-2種 ○ C-2種 上塗り ○ 1級 ふっ素樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ○ 3級 ポリウレタン系等																																						
EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り	コンクリート面、せつこうプラスター面、モルタル面、せつこうボード面、その他ボード面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 しみ止め ○ ※ しみ止めシーラー (B種及びC種の場合)																																						
EP	合成樹脂エポキシペイント塗り	木部 新規 ※ A種 ○ B種 ○ C種 塗替え ○ A種 ※ B種 ○ C種																																						
		鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ※ A種 ○ B種																																						
UC	7714樹脂系775塗り	○ A種 ※ B種																																						
WP	木材保護塗料塗り	○ A種 ※ B種																																						

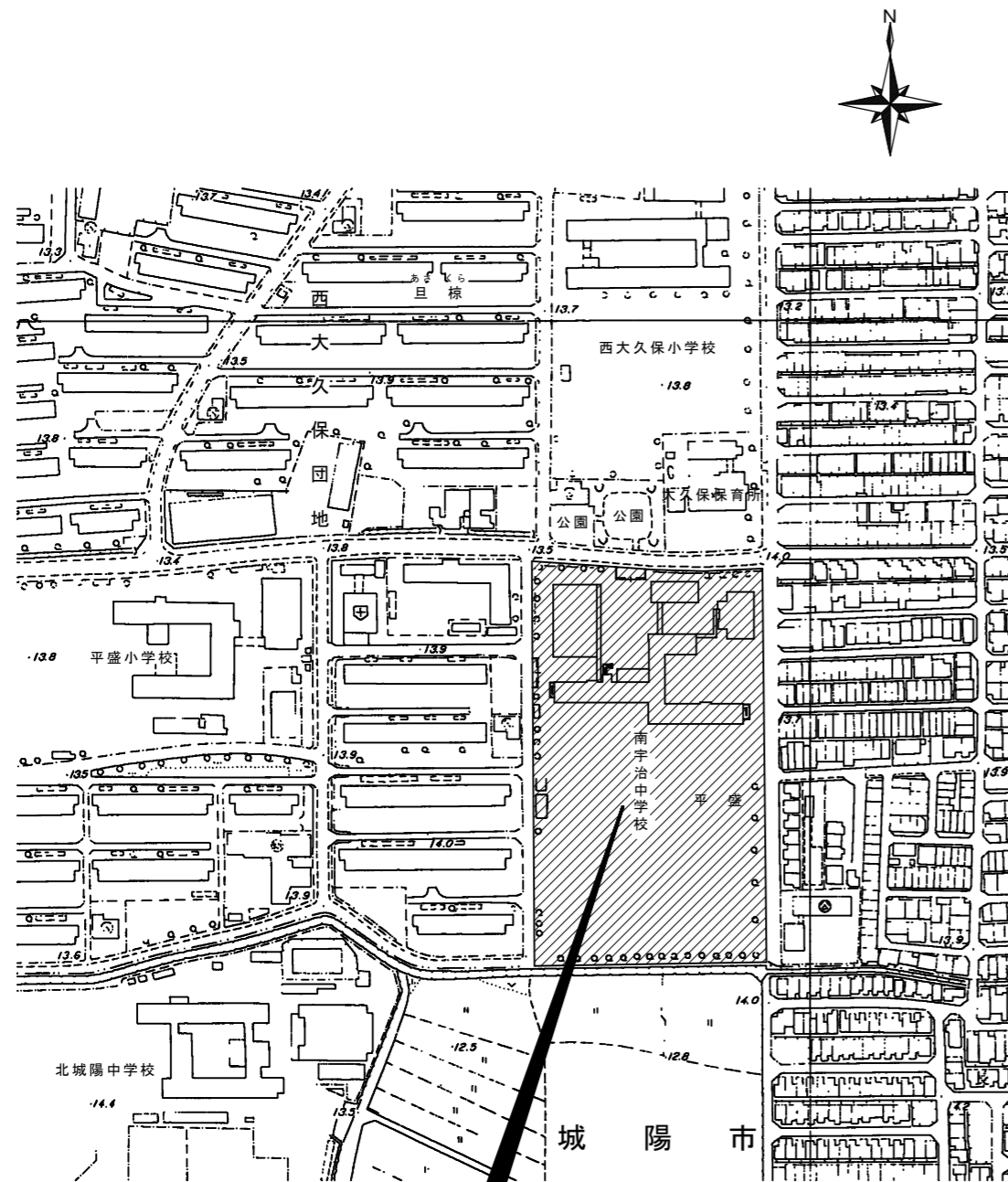
クリヤッカー塗りA種の工程2の運用
 ○ 適用する (着色剤: ○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない
 ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の運用
 ○ 適用する ○ 適用しない
 オイルステイン塗りの工程等
 ○

⑨	3 可動間仕切 (20.2.3)	種別 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 寸法・形状 ○ パネル式 ○ メラミン樹脂又は ○ スタッド式 アクリル樹脂焼付 ○ スリットパネル式 ○ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ パネル操作法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作法 遮音性能 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ○ ハンガーレール及びランナー ※ パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの あと施工アンカー 材質 寸法 引抜耐力試験 ※ 行う																								
	4 移動間仕切 (20.2.4)	表面材 ○ メラミン樹脂系化粧板 ○ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木型 ○ 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆ ドアエッジの材質 ※ トイレブース製造所の仕様による ○																								
	5 トイレブース (20.2.5)	○ SUS304 (表面処理 ※ HL程度 ○) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※ (表14.2.2) による種別 ○) 種 ○ アルミニウム 表面処理 (※ (表14.2.1) による種別 (○) 種) 色合等 ○ 標準色 () ○ 特注色 ()																								
	6 手すり (20.2.6)	手すりの握り部分 <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付場所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 集成材</td> <td>○ クリアラッカー</td> <td>○ 35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(材種:)</td> <td>○</td> <td>○ 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ビニル製</td> <td></td> <td>○ 35程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考	○ 集成材	○ クリアラッカー	○ 35程度			(材種:)	○	○ 45程度			○ ビニル製		○ 35程度					○ 45程度	
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考																						
○ 集成材	○ クリアラッカー	○ 35程度																								
(材種:)	○	○ 45程度																								
○ ビニル製		○ 35程度																								
		○ 45程度																								
⑩	7 階段滑り止め (20.2.7)	材種 ○ ステンレス製 (SUS304) 幅 ○ 約35mm ○ 形状 ○ ビニルタイヤ入り 両端フック付 ○ あり (○ ビニル ○ SUS304) 取付工法 ※ 接着工法 ○ 埋込み工法																								
	8 黒板及び ホワイトボード (20.2.9)	区分 種類 色彩 備考 ○ 黒板 ※ 焼付け ○ 鋼製黒板 ※ 緑 ○ 曲面 ○ 黒板 ○ スクリーン付引分け ○ ホワイトボード ○ ほうろう白板 ※ 白 ○ 曲面 ○ スクリーン付引分け 額縁金属 ○ アルミ製 (表面処理の種類 ○ B-2 ○ B-1) 品質・規格																								
	9 鏡 (20.2.10)	厚さ (mm) ※ 5 ○																								

⑩	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 ※ 図示による (市販品 ○ ステンレス製 径 30mm ○) ○ なし 法令に基づく表示 ※ 非常用出入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>色</th> <th>書体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>● 5</td> <td>● アクリル板</td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td>● 丸</td> <td>● UV印刷</td> <td>● 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○) 寸法 (mm) ○ 50×250 ○ 60×250 ○ 図示による ピクトグラフ (便所、重いす、階段等) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 寸法 (mm) ○ 150×150 ○ 図示による 案内板 (館内、各階、便所) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>色</th> <th>書体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td>○ 丸</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○) 寸法 (mm) ○ 600×600 ○ 100×600 ○ 200×200 ○ 図示による 館名板等 品質・規格	厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式	● 5	● アクリル板	○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型		○	○ アルミ板	● 丸	● UV印刷	● 持出型		厚さ(mm)	材質	印刷等の種別	取付け形式	備考	○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型		○	○ アルミ板	○	○ 持出型		厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式	○ 5	○ アクリル板	○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型		○	○ アルミ板	○ 丸	○	○ 持出型	
	厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式																																															
	● 5	● アクリル板	○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																
	○	○ アルミ板	● 丸	● UV印刷	● 持出型																																																
厚さ(mm)	材質	印刷等の種別	取付け形式	備考																																																	
○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型																																																		
○	○ アルミ板	○	○ 持出型																																																		
厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式																																																
○ 5	○ アクリル板	○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																	
○	○ アルミ板	○ 丸	○	○ 持出型																																																	
11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリップ止め加工 ※ あり ○ なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※ (表14.2.2) による種別 (※ C種 ※ 種))																																																				
12 ブラインド (20.2.14)	形式 種類 スラットの材質 スラット幅 (mm) ボックス・レールの材質 ○ 横形 ※ ギヤ式 ※ 7714合金 ※ 25 ※ 鋼製 ○ コード式 ○ 35 ○ ○ 縦形 ※ 2本操作コード式 ○ 7714アルミ ○ 80 ※ 7714合金製 ○ 1本操作コード式 ○ 加工アルミ ○ 100																																																				
⑪	13 ロールスクリーン (20.2.15)	操作方法 スクリーンの材質 その他の材料 幅・高さ 取付箇所 品質等 ○ スプリング式 ○ ガラス繊維製 ※ 製造所の仕様 ○ 図示による ○ コード式 ○ 合成・天然繊維製 ○ ○ 電動式 ○ 木製																																																			
	14 カーテン (20.2.16)	取付箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用きり地の ひだの種類 <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きり地の</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	取付箇所	形式	開閉操作方法	カーテン用きり地の	ひだの種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																										
	取付箇所	形式	開閉操作方法	カーテン用きり地の	ひだの種類																																																
	○	○	○	○	○																																																
○	○	○	○	○																																																	
○	○	○	○	○																																																	
○	○	○	○	○																																																	
15 カーテンレール (20.2.16)	材料 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ○ ステンレス ○ 形式 ● 片引き ● 引分け (贈幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 ○ C型 ○ D型 ※ 角型 強さによる区分 ※ 10-90 ○ 仕上げ ※ アルマイト ○																																																				
⑫	16 ブラインドボックス カーテンボックス	○ 図示による ○ 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) ○ 90×150 ○ 150×80 ○ 120×80 ○ 表面処理 ○ C-1 (無着色) ○ C-2 (着色)																																																			
	17 くつふきマット	材質 ● 塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) ○ 硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ○ ○ ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)																																																			
	18 鋼製書架及び棚	種類 規格等 JISによる種類 ○ 鋼製書架 ※ JIS S 1039の規格による ○ 1種 ○ 2種 ○ 3種 ○ 鋼製物品棚 ○ 法務省型 ○ 4種 ○ 5種 ○ 6種																																																			
	19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 ※ 図示による ※ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ※																																																			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																			
ユニット及びその他の工事	20 掲示板	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">枠の材質</th> <th>表面の材質</th> <th>照明器具</th> <th>施設</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>○屋内</td> <td>○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○屋外</td> <td>○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)</td> <td></td> <td>○あり ○なし</td> <td>○あり ○なし</td> <td></td> </tr> </table>	枠の材質		表面の材質	照明器具	施設	品質・規格	○屋内	○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)		—	—		○屋外	○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)		○あり ○なし	○あり ○なし		舗装工事	③ アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>表層(mm)</th> <th>基層(mm)</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>50</td> <td></td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> </table> <p>アスファルト ● 再生アスファルト (● 60~80 ○ 80~100) ○ ストレートアスファルト</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区分</th> <th>● 一般地域</th> <th>○ 寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> <p>施工</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ● 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ● 行う ○ 行わない</p> <p>構成</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>設計基準強度(N/㎡)</th> <th>スランプ(cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する</p> <p>目地</p> <p>注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ 種類 ○ 突合せ目地 ○ 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ _____ 間隔 ○ 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ○ 3m程度ごと ○ _____ コンクリート版厚さの試験 ※ 行う</p>	舗装の種類	表層(mm)	基層(mm)	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	50		※顔料混入加熱アスファルト混合物	区分	● 一般地域	○ 寒冷地域	表層	● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)	コンクリートの種類	部位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/㎡)	スランプ(cm)						8 砂利敷き (22.9.2)	<p>通路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする</p> <p>種類 ● 熔融式 ○ ペイント式 幅(cm) ● 15 ○ _____</p>																																										
	枠の材質		表面の材質	照明器具	施設	品質・規格																																																																																					
	○屋内	○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)		—	—																																																																																						
	○屋外	○7×12×14mm製 (B-2) ○スチルス製 (SUS304)		○あり ○なし	○あり ○なし																																																																																						
	舗装の種類	表層(mm)	基層(mm)	カラー舗装の種類																																																																																							
	※アスファルト舗装	50		※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																							
	区分	● 一般地域	○ 寒冷地域																																																																																								
	表層	● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																								
コンクリートの種類	部位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/㎡)	スランプ(cm)																																																																																							
21 カウンター	品質・規格 _____		⑪ 舗装工事	⑨ 白線引き																																																																																							
22 洗面カウンター	材 種 ○メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材)○人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) ○約450 ○約600 ○_____																																																																																										
⑬ 流し台ユニット	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>部品寸法(mm)</th> <th>規格</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td>●流し台</td> <td>W900×D600×H850</td> <td>○優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>○コンロ台</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>○吊戸棚</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>高さ 約500 mm</td> </tr> <tr> <td>○水切り棚</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>ステンレス製1段式</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	部品寸法(mm)	規格	仕様	●流し台	W900×D600×H850	○優良住宅部品	トラップ付き	○コンロ台		○優良住宅部品	バックガード有り	○吊戸棚		○優良住宅部品	高さ 約500 mm	○水切り棚		○優良住宅部品	ステンレス製1段式	○				4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)																																																																	
種類	部品寸法(mm)	規格	仕様																																																																																								
●流し台	W900×D600×H850	○優良住宅部品	トラップ付き																																																																																								
○コンロ台		○優良住宅部品	バックガード有り																																																																																								
○吊戸棚		○優良住宅部品	高さ 約500 mm																																																																																								
○水切り棚		○優良住宅部品	ステンレス製1段式																																																																																								
○																																																																																											
24 非常用救助袋等	※ 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 ○ 傾斜式 ○ 垂直式 品質・規格 _____																																																																																										
25 鍵箱	市販品 形式 ※ 釣下式 ○ 差込式 (○ 30 ○ 60 ○ 120 ○ _____) 組用(_____) 個																																																																																										
26 車止め	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○上下式額内蔵型 (○スプリング付き)</td> <td>○スチルス製(SUS304)</td> <td>○φ76.3 t=2.0</td> <td>○6L+700</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○φ114.3 t=2.5</td> <td>○6L+850</td> </tr> </table> <p>基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度</p>	形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	○上下式額内蔵型 (○スプリング付き)	○スチルス製(SUS304)	○φ76.3 t=2.0	○6L+700		○	○φ114.3 t=2.5	○6L+850	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)																																																																													
形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																								
○上下式額内蔵型 (○スプリング付き)	○スチルス製(SUS304)	○φ76.3 t=2.0	○6L+700																																																																																								
	○	○φ114.3 t=2.5	○6L+850																																																																																								
27 フェンス	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>表面仕上げ</th> <th>種類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>○垂鉛めつき ○樹脂塗装</td> <td>○メッキメッキ ○ステンレス</td> <td>○片開き</td> </tr> <tr> <td>○ビニル被覆 ○</td> <td>○ホワイトメッキ ○</td> <td>○両開き</td> </tr> </table>	表面仕上げ	種類	門扉の仕様	○垂鉛めつき ○樹脂塗装	○メッキメッキ ○ステンレス	○片開き	○ビニル被覆 ○	○ホワイトメッキ ○	○両開き																																																																																	
表面仕上げ	種類	門扉の仕様																																																																																									
○垂鉛めつき ○樹脂塗装	○メッキメッキ ○ステンレス	○片開き																																																																																									
○ビニル被覆 ○	○ホワイトメッキ ○	○両開き																																																																																									
28 防煙垂れ壁	<p>○ 固定式</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス</td> <td>※ 6.8</td> <td>※ 500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>○ 線入り磨き板ガラス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 可動式</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※ 不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※ 500 ○ 800 ○</td> <td>ガイドレール ※ 固定式(壁押込型) ○ 可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>※ 回転降下式</td> <td>鋼板制又はアルミ製</td> <td>※ 500 ○ 800 ○</td> <td>表面仕上げ ※ 天井材張り ○</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置(埋込型)</p>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	○ 線入り磨き板ガラス	○	○	○	種類	材質	高さ(mm)	備考	※ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ※ 固定式(壁押込型) ○ 可動式(天井収納型)	※ 回転降下式	鋼板制又はアルミ製	※ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ※ 天井材張り ○	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>部位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系7777混合物</td> <td>添加材 ○着色骨材 ○自然石</td> <td>○車路</td> <td>○歩行者用通路</td> </tr> <tr> <td>結合材 ○7777</td> <td>○石油樹脂(添加量 _____)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7777混合物等の抽出試験</td> <td>○適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の厚さ</td> <td>_____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 常温系ニート工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 常温系塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>着色部の下部</td> <td>舗装の平坦性 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____ 表層の厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 開粒度7777混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない</p>	種	類	部位	配合その他	※ 加熱系7777混合物	添加材 ○着色骨材 ○自然石	○車路	○歩行者用通路	結合材 ○7777	○石油樹脂(添加量 _____)	○	○	7777混合物等の抽出試験	○適用する ※ 適用しない			舗装の厚さ	_____ mm			○ 常温系ニート工法				○ 常温系塗布工法				着色部の下部	舗装の平坦性 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装				※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度																														
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																																								
※ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																																																																																								
○ 線入り磨き板ガラス	○	○	○																																																																																								
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																																								
※ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ※ 固定式(壁押込型) ○ 可動式(天井収納型)																																																																																								
※ 回転降下式	鋼板制又はアルミ製	※ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ※ 天井材張り ○																																																																																								
種	類	部位	配合その他																																																																																								
※ 加熱系7777混合物	添加材 ○着色骨材 ○自然石	○車路	○歩行者用通路																																																																																								
結合材 ○7777	○石油樹脂(添加量 _____)	○	○																																																																																								
7777混合物等の抽出試験	○適用する ※ 適用しない																																																																																										
舗装の厚さ	_____ mm																																																																																										
○ 常温系ニート工法																																																																																											
○ 常温系塗布工法																																																																																											
着色部の下部	舗装の平坦性 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装																																																																																										
	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度																																																																																										
1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	<p>本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。</p> <p>路床の構成</p> <p>○ 凍上抑制層 厚さ ○ 図示による ○ _____ ○ 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 ○ 図示による ○ 150mm ○ _____ 歩道部 ○ 図示による ○ 50mm ○ _____</p> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ○ 行う ○ 行わない</p> <p>盛土に用いる材料 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1)</p> <p>路床安定処理 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 (表22.2.1)</p> <p>種類 ○ 地盤改良材 () ○ 高炉セメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号</p> <p>添加量 _____ kg/m³</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※ 行う(埋戻し部、盛土部) ○ 行わない</p>	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<p>○ コンクリート平板舗装</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板(N)</td> <td>○ カラー平板(C)</td> <td>○ 300角</td> <td>※ 60</td> <td>※ 砂</td> </tr> <tr> <td>○ 洗出平板(W)</td> <td>○ 凝石(S)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ モルタル</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>○ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>面げ強度(N/mm²)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック</td> <td>車路</td> <td></td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 凍上抑制ブロック</td> <td></td> <td></td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック</td> <td>歩行者用通路</td> <td></td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td>○ _____</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 80</td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 補修ブロック</td> <td>-</td> <td></td> <td>○ 60</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂</p> <p>○ 凝石舗装</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 花崗岩</td> <td></td> <td>○ 80~100</td> <td>○ うろこ張り</td> <td>○ コンクリート版</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>○ _____</td> <td></td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> <td>○ 777777混合物</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ _____</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p>	種	類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地	※ 普通平板(N)	○ カラー平板(C)	○ 300角	※ 60	※ 砂	○ 洗出平板(W)	○ 凝石(S)	○	○	○ モルタル	種類	部位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	面げ強度(N/mm ²)	色彩及び表面加工等	※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品	○ 凍上抑制ブロック			○ _____	○ _____		○ 透水性ブロック	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○ _____				○ 80	○ _____	○ _____	○ 補修ブロック	-		○ 60						※ 80						○ 100			種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	工法	基層	基層の厚さ(mm)	○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70	○ _____		○ _____	○ _____	○ 777777混合物	※ 50						○ _____	
種	類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地																																																																																							
※ 普通平板(N)	○ カラー平板(C)	○ 300角	※ 60	※ 砂																																																																																							
○ 洗出平板(W)	○ 凝石(S)	○	○	○ モルタル																																																																																							
種類	部位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	面げ強度(N/mm ²)	色彩及び表面加工等																																																																																						
※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品																																																																																						
○ 凍上抑制ブロック			○ _____	○ _____																																																																																							
○ 透水性ブロック	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○ _____																																																																																						
			○ 80	○ _____	○ _____																																																																																						
○ 補修ブロック	-		○ 60																																																																																								
			※ 80																																																																																								
			○ 100																																																																																								
種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	工法	基層	基層の厚さ(mm)																																																																																						
○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70																																																																																						
○ _____		○ _____	○ _____	○ 777777混合物	※ 50																																																																																						
					○ _____																																																																																						
2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	<p>路盤の厚さ _____ 150 mm</p> <p>材料 ● 再生クラッシュラン (RC-40, 30, 20) ○ クラッシュラン (C-40, 30, 20) ○ クラッシュ鉄鋼スラグ (CS-40)</p> <p>路盤締固め度の試験 ※ 行う</p>																																																																																										

株式会社 コム・キューブ 一級建築士事務所 一級建築士 第311729号 内田 陽介	施設名 南宇治中学校 工事名 南宇治中学校配膳室設置工事	図名 建築工事 縮尺 建築改修工事特記仕様書7	図面 56 枚の内 No. A-09
---	---------------------------------	----------------------------	-----------------------

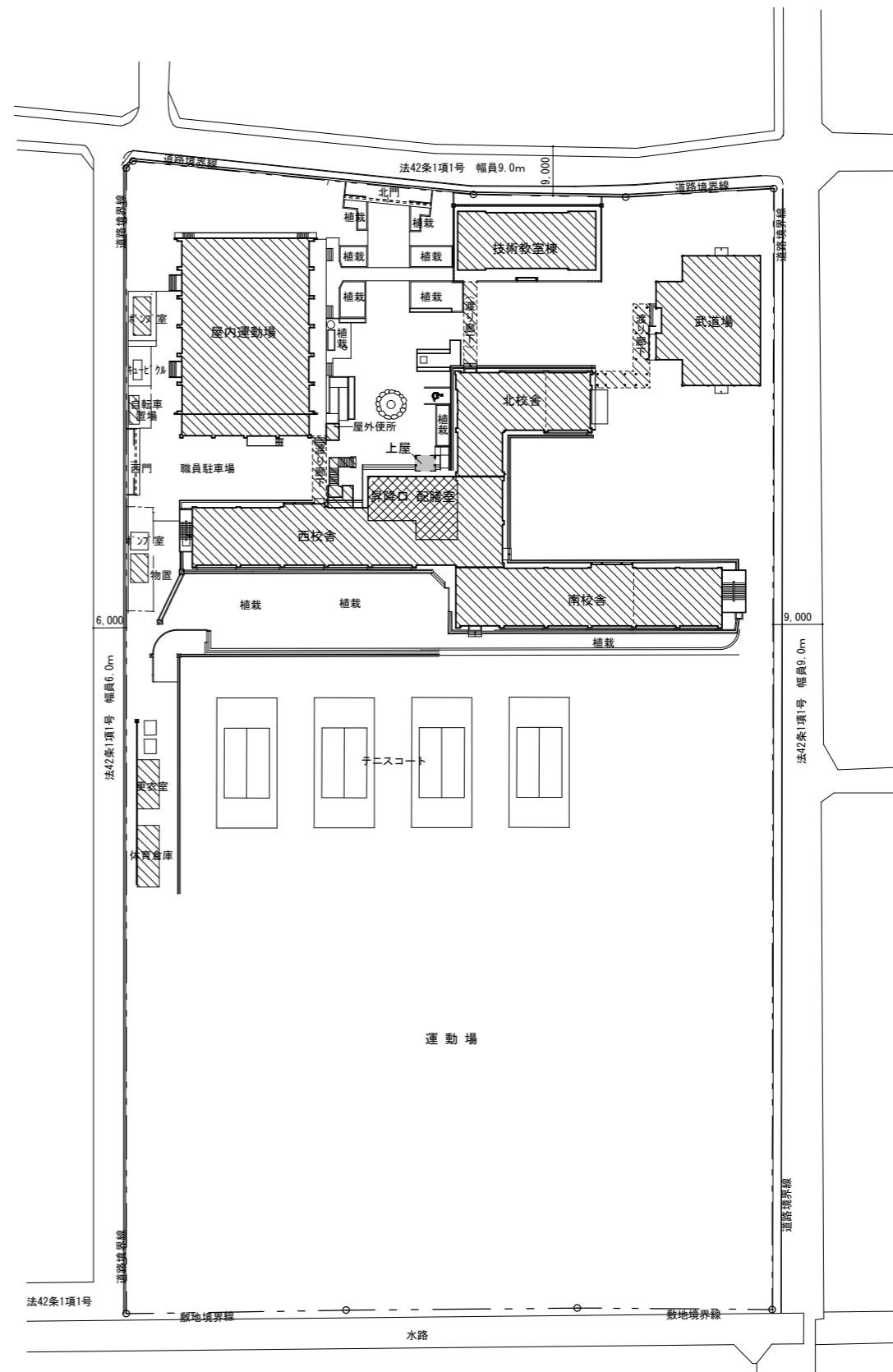


工事場所：宇治市大久保町平盛31番地の5

付近見取図 1/2500

【敷地概要】

用途地域：第二種中高層住居専用地域
 (容積率200% ・ 建ぺい率60%)
 高度地区：第二種高度地区
 防火地域：準防火地域
 景観規制：G：市街地・田園・山麓・山間地区



配置図 1/800

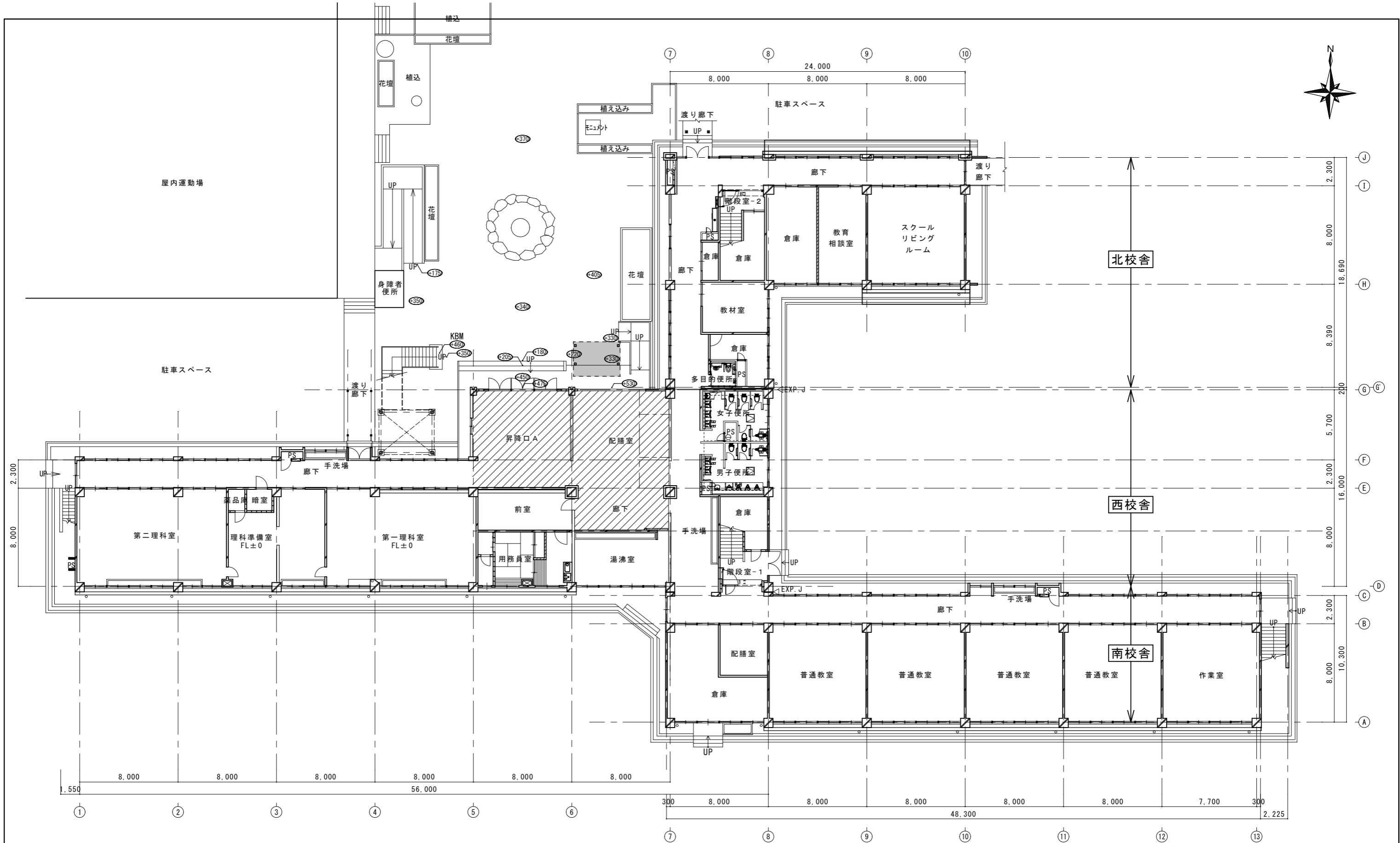
凡例	
	既存建築物を示す
	増築建築物を示す
	今回工事場所を示す

株式会社 コム・キューブ 一級建築士事務所
 一級建築士 第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日

施設名 南宇治中学校
 工事名 南宇治中学校配膳室設置工事

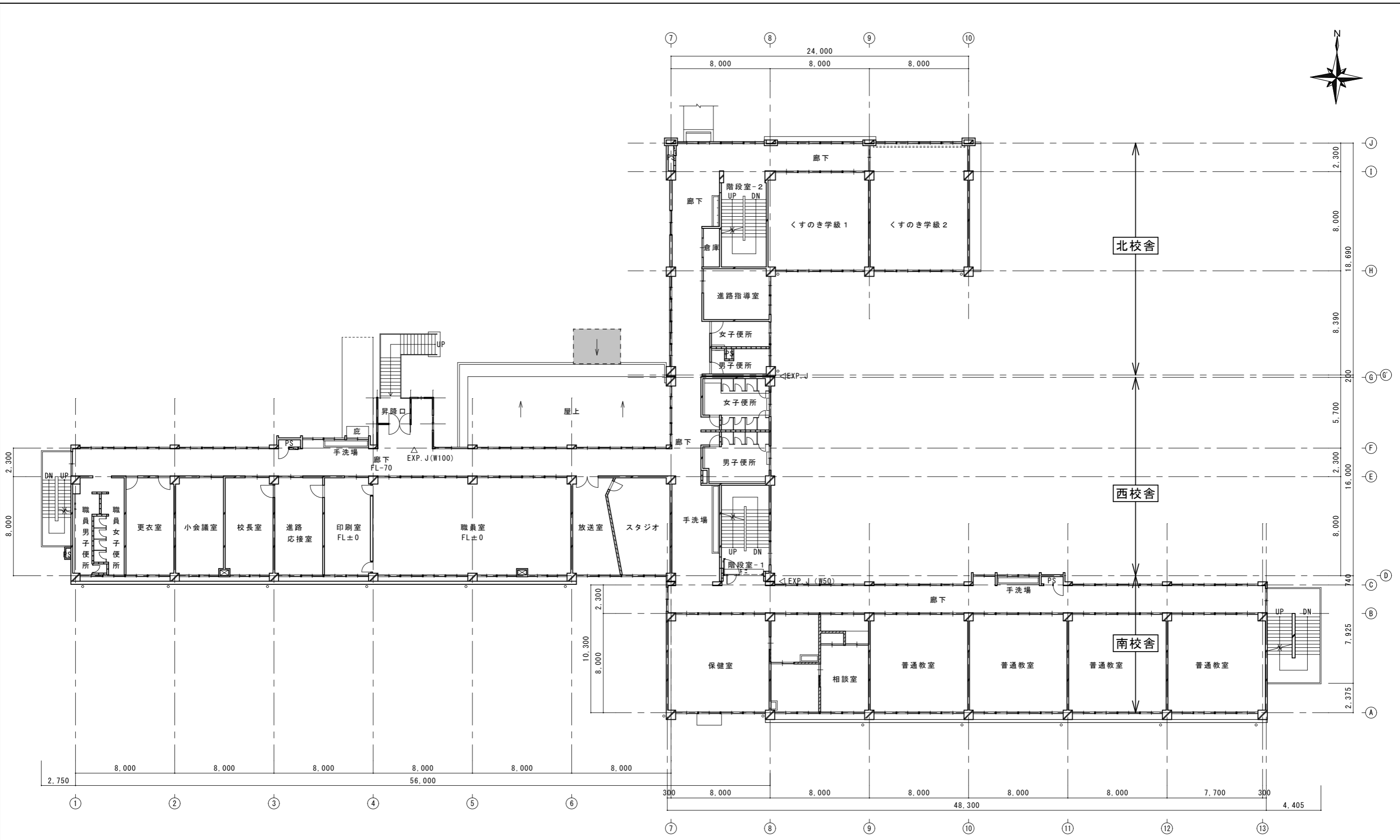
図名 付近見取図・配置図
 縮尺 1/800・1/2500

図面 56 枚の内
 No. A-10



1階平面図 1/200

凡 例	
	今回工事場所を示す
	増築建築物を示す
	KBM=設計GL+460 ※KBM(職員玄関用階段:最下段)
	数値は設計GLからの高低差を示す。
	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す。 設計1階廊下レベル=設計GL+530



2階平面図 1/200

凡 例	
	増築建築物を示す

株式会社 コム・キューブ 一級建築士事務所 一級建築士 第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日	施設名	南宇治中学校	図名	【現況・撤去／改修】校舎2階平面図	図面	56 枚の内
	工事名	南宇治中学校配膳室設置工事	縮尺	1/200	No.	A-12

【現況】昇降口A 内部仕上表

部位	仕上	下地
床高	設計GL+530=KBM+70(実測KBM+15~+70)	
天井高	H2.650	
天井	PB t=9 EP塗装	(一部撤去) LGS (一部撤去)
梁型	—	—
柱型	コンクリート打ち放し補修の上、EP塗装	(存置) RC (存置)
壁・腰壁(東西北面)	モルタル押えの上、EP塗装	(存置) RC(東西面)・CB(北面) (存置)
壁・腰壁(南面)	強化PB t=9.5+21 の上EP塗装	(存置) LGS65(南面) (存置)
廻り縁	塩ビ製	(存置) — (存置)
巾木	モルタル押えの上 EP塗装	(存置) RC (存置)
床	モルタル押えの上 塗床仕上	(存置) 土間コンクリート (存置)

【現況】昇降口B 内部仕上表

部位	仕上	下地
床高	設計GL+530=KBM+70(実測KBM+70~+110)	—
天井高	H2.650	—
天井	PB t=9.5 EP塗装	(撤去) LGS (撤去)
梁型	—	—
柱型	モルタル押えの上、EP塗装	(存置) RC (存置)
壁・腰壁(北面)	モルタル押えの上、EP塗装	(撤去) CB (撤去)
壁・腰壁(東西南面)	モルタル押えの上、EP塗装	(存置) RC (存置)
廻り縁	塩ビ製	(撤去) — (撤去)
巾木(北面)	モルタル押えの上 EP塗装	(撤去) CB (撤去)
巾木(東西南面)	モルタル押えの上 EP塗装	(存置) RC (存置)
床	モルタル押えの上 塗床仕上	(存置) 土間コンクリート (存置)

特記事項

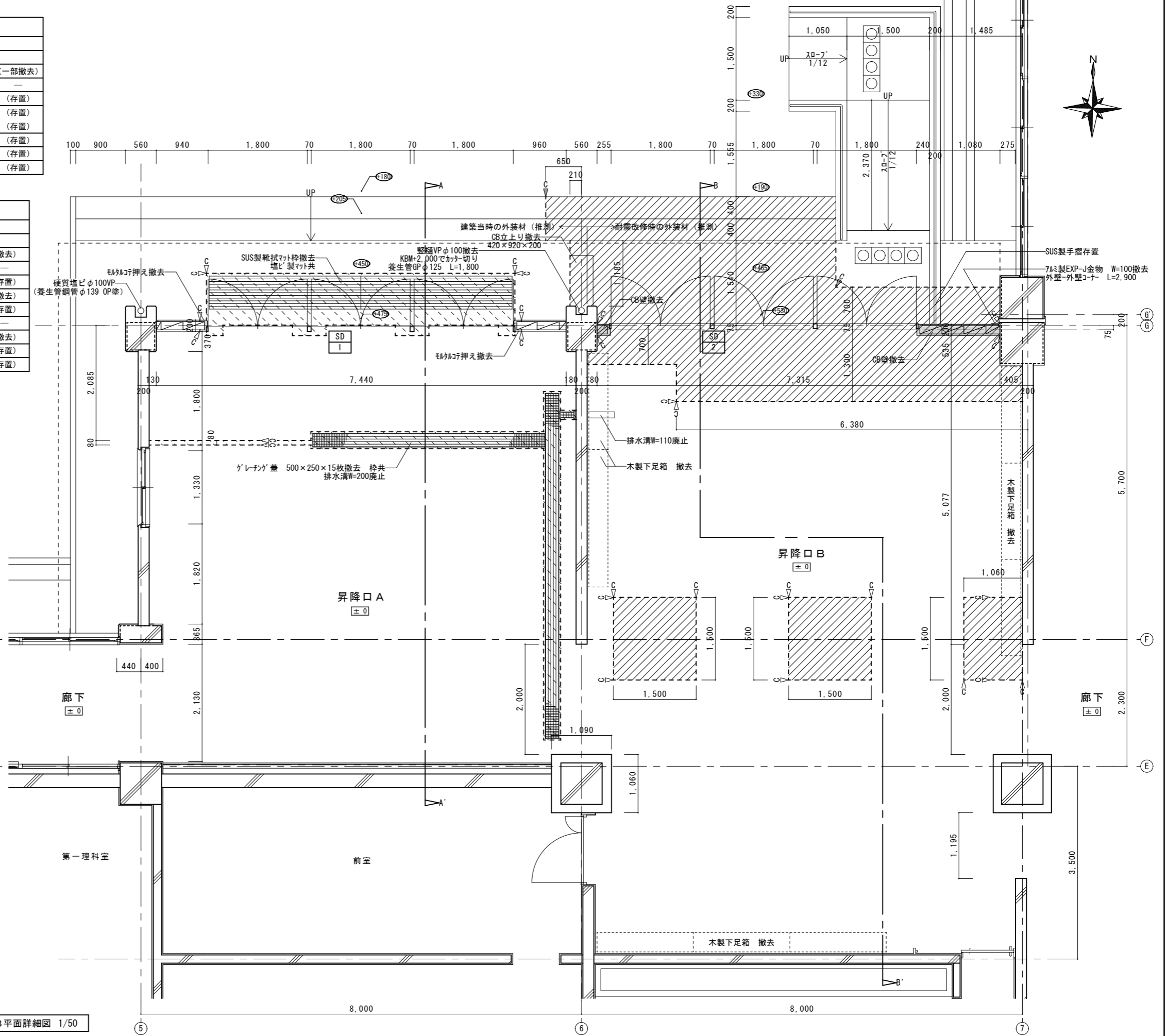
今回工事に関わる部分の校舎外壁、及び庇裏の仕上塗材(上塗材・下地調整材共)については、成分分析調査済みであり、石棉を含有していないことを確認済み。

凡例	
	屋外階段・土間スラブ撤去範囲を示す。周囲カッター切り
	床仕上撤去範囲を示す (モルタル・金物共)
	壁、壁仕上撤去範囲を示す (モルタル、コンクリートブロック)
	カッター切りを示す
	数値は設計GLからの高低差を示す
	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530

撤去下足箱一覧

1,750×350×1,620×1台	木製
2,495×350×1,620×1台	木製
1,750×350×1,620×3台	木製
1,750×350×1,620×3台	木製

【現況・撤去】1階昇降口A・B平面詳細図 1/50



【改修】昇降口A → 生徒用昇降口 内部仕上表

部位	仕上
床高	設計GL+530=KBM+70(実測KBM+15~+70)
天井高	H2.650
天井	下地調整の上 EP塗装替
梁型	—
柱型	下地調整の上 EP-G塗装替
壁・腰壁	下地調整の上 EP-G塗装替 下地調整の上 EP-G塗装替
廻り縁	現況のまま
巾木 踏込昇降口	下地調整の上 珪矽樹脂系塗床 t=2 コーナ部分:シーリング新設 ビニル巾木
床	下地調整材C-2の上 ビニル床シート t=2新設 ※水勾配を調整すること 踏込部分:下地調整の上 珪矽樹脂系塗床t=2新設

【改修】昇降口B → 配膳室 内部仕上表

部位	仕上
床高	設計GL+530
天井高	H2.650
天井	LGS下地の上 化粧せつこうボード t=9.5
梁型	—
柱型	珪矽樹脂モルタルの上 化粧珪矽板 t=6張り
壁・腰壁(北面南)	LGS下地、強化PBT=15 2枚張りの上 化粧珪矽板 t=6張り
壁・腰壁(東西面)	珪矽樹脂モルタルの上 化粧珪矽板 t=6張り
廻り縁	塩ビ製
巾木(北面)	下地調整の上 珪矽樹脂系塗床 t=2 コーナー部分:シーリング新設
巾木(東西南面)	下地調整の上 珪矽樹脂系塗床 t=2 コーナー部分:シーリング新設
床	下地調整材C-2の上 珪矽樹脂系塗床 t=2

【改修】昇降口A・B → 廊下 内部仕上表

部位	仕上
床高	設計GL+530
天井高	H2.650
天井	⑤-⑥間 下地調整の上 EP塗装替 ⑥-⑦間 下地調整の上 EP塗装替 / LGS下地の上 PB t=9.5 EP塗装
梁型	—
柱型	下地調整の上 EP-G塗装替
壁・腰壁(北面)	LGS下地、強化PBT=15 2枚張りの上 EP-G塗装
壁・腰壁(東西南面)	下地調整の上 EP-G塗装替
廻り縁	⑥-⑦間 塩ビ製
巾木	ビニル巾木 H=100
床	下地調整材C-2の上 ビニル床シート t=2貼り

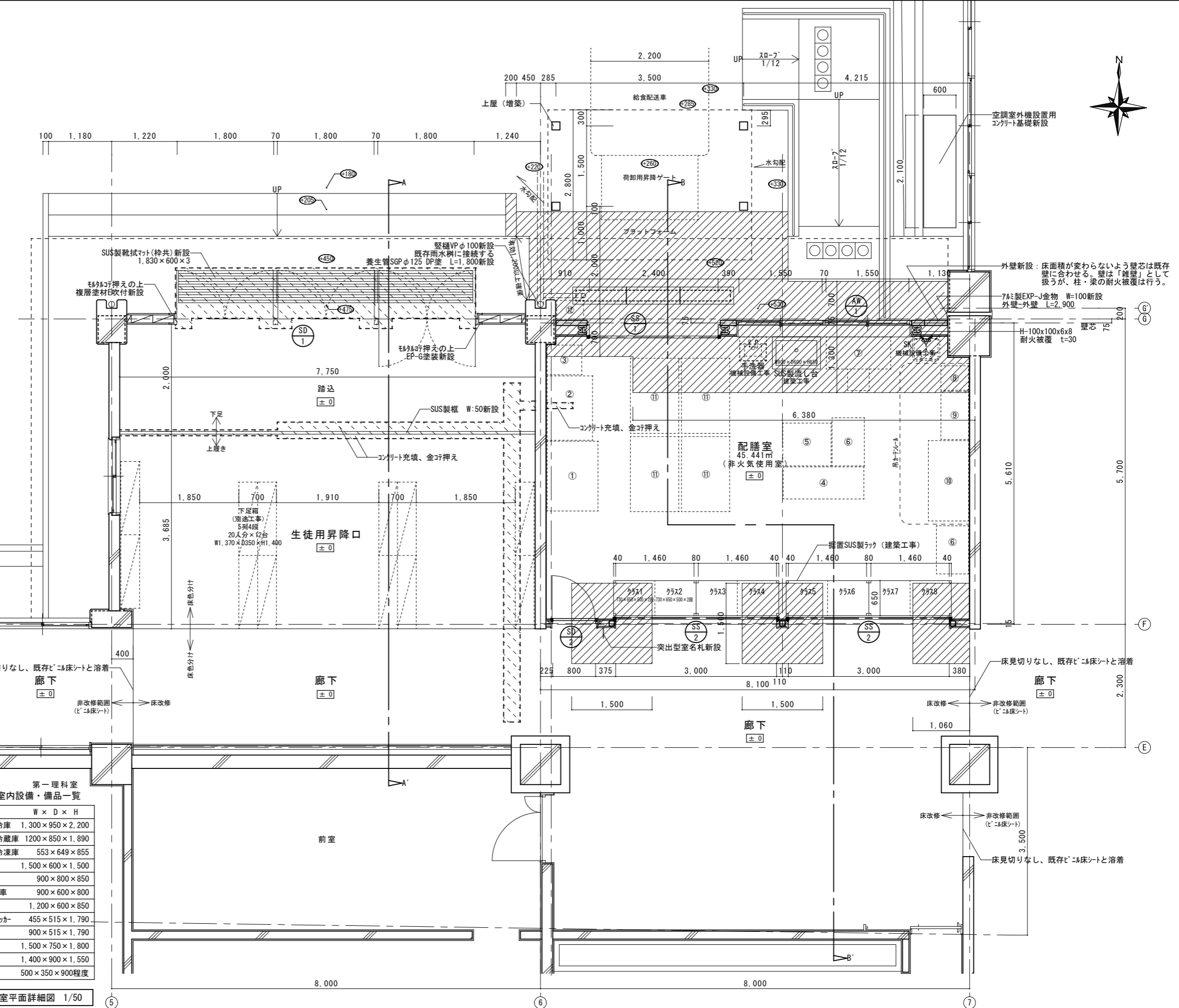
特記事項
昇降口・廊下の天井及び壁の仕上は準不燃材料以上とすること。
(50m超・排煙無窓の居室からの避難経路になっているかどうか不明である為)

F通り、G通りの新設壁は「雑壁」として取り扱う。

塗り床は配膳車(約500kg)の走行と次亜塩素酸ナトリウム液による消毒に耐え得るよう、高強度・高耐久の製品とする。参考:ABC商会ケラトE ベース防滑工法

換気計算
有効換気面積 0.775×1.51×2=2.325㎡
室面積 8.10×5.61=45.441㎡
2.325×20=46.50>45.441㎡
∴法第28条による居室の換気を満たす。

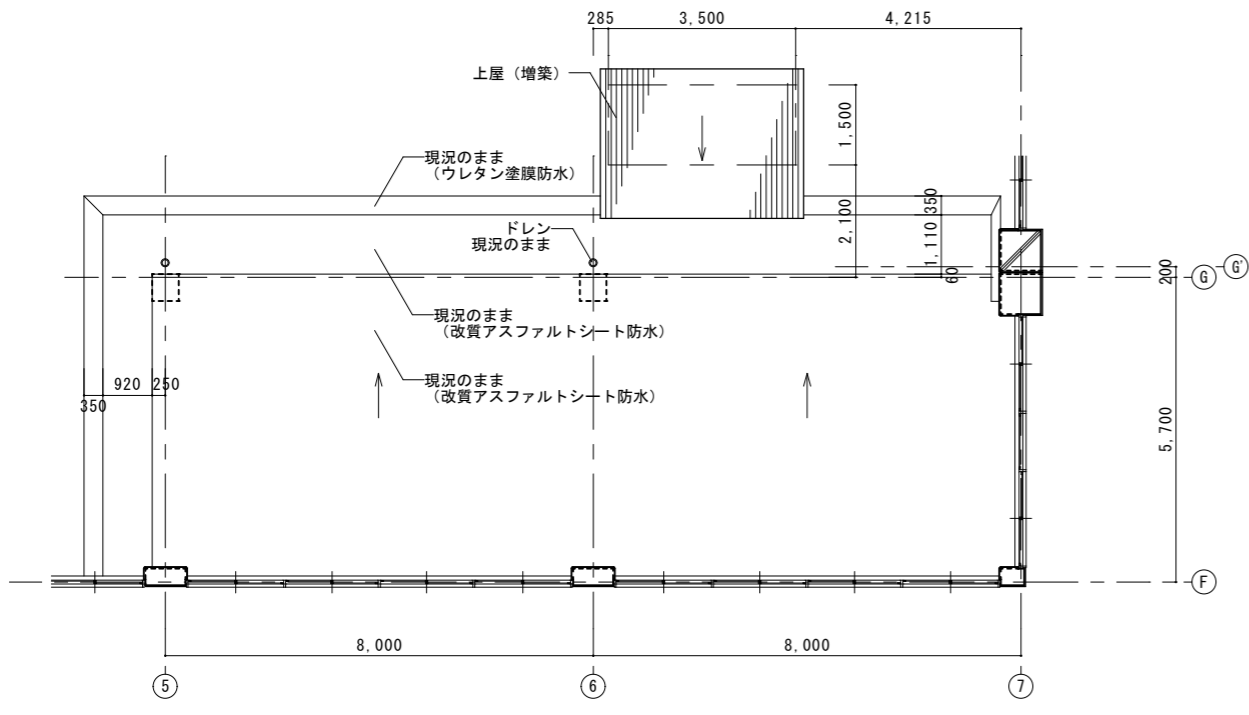
凡例	
	土間スラブ、フラットフォームの新設範囲を示す
	床仕上新設範囲を示す (モルタル・金物共)
	壁、壁仕上新設範囲を示す (モルタル、ALC)
***	数値は設計GLからの高低差を示す
***	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530
※配膳室内の設備・備品は、SUS製流し台、SUS製ラック、SK、手洗器を本工事とし、牛乳保冷庫、デザート冷蔵庫、検査用冷蔵庫、パンラック、作業台、L型運搬車、机、清掃用ロッカー、ロッカー、戸棚、コンテナ、下足箱は別途工事とする	



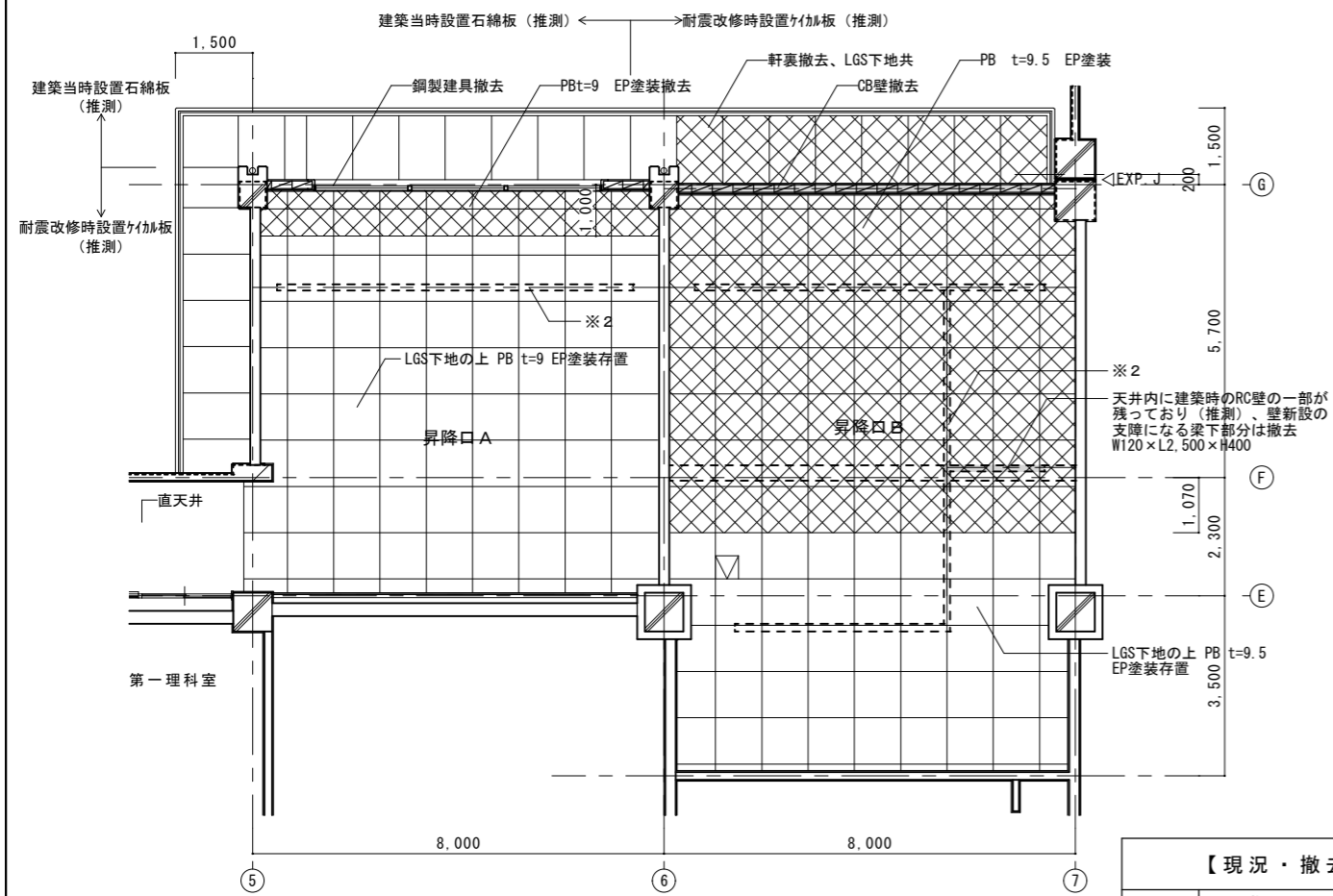
第一理科室
参考:配膳室内設備・備品一覧

番号	種類	W×D×H
①	牛乳保冷庫	1,300×950×2,200
②	デザート冷蔵庫	1200×850×1,890
③	検査用冷蔵庫	553×649×855
④	パンラック	1,500×600×1,500
⑤	作業台	900×800×850
⑥	L型運搬車	900×600×800
⑦	机	1,200×600×850
⑧	清掃用ロッカー	455×515×1,790
⑨	ロッカー	900×515×1,790
⑩	戸棚	1,500×750×1,800
⑪	コンテナ	1,400×900×1,550
⑫	下足箱	500×350×900程度

【改修】1階生徒用昇降口・配膳室平面詳細図 1/50



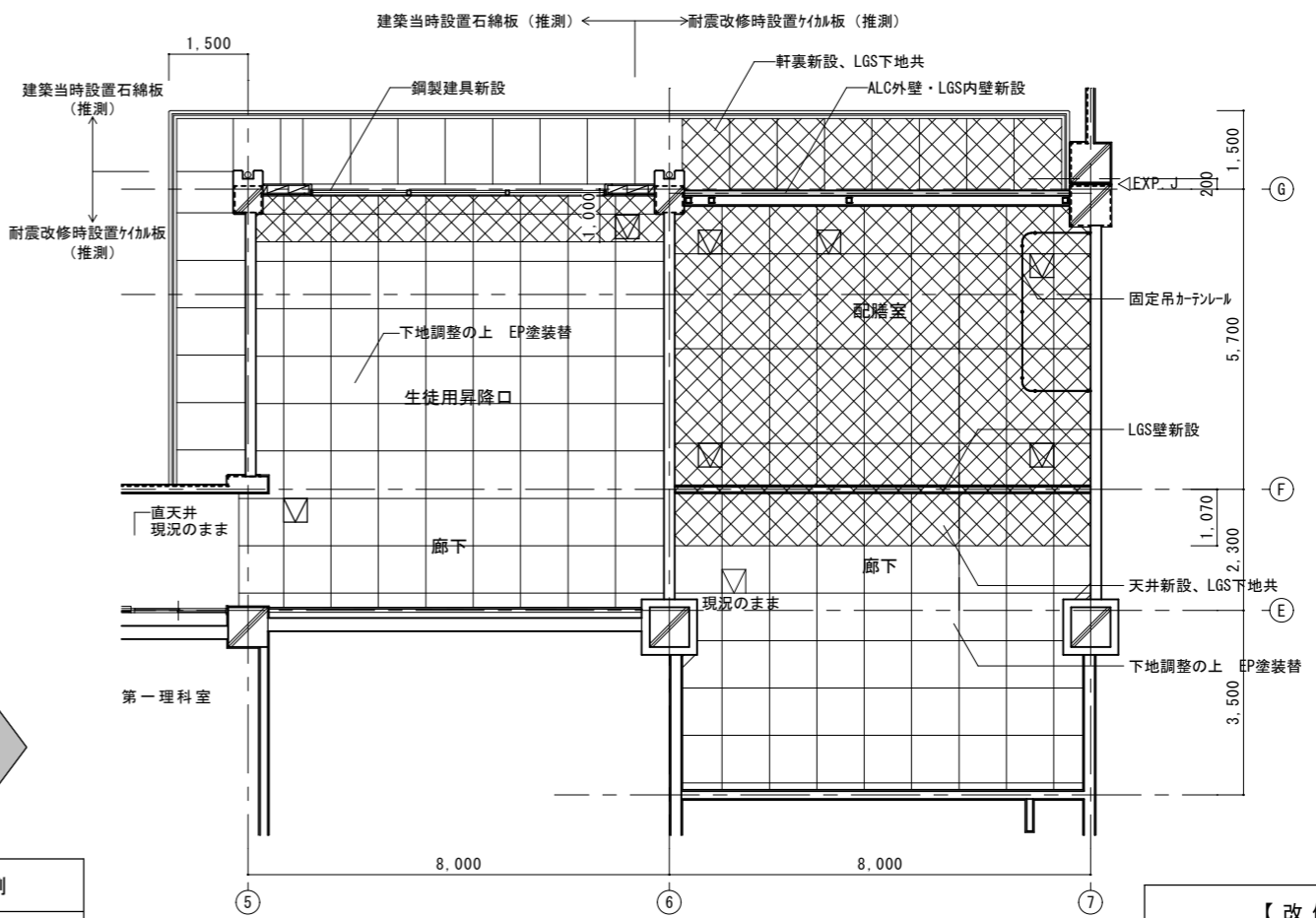
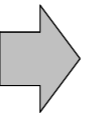
【現況・撤去/改修】昇降口屋根伏図 1/100



【現況・撤去】天井伏図 1/100

【現況・撤去】凡例

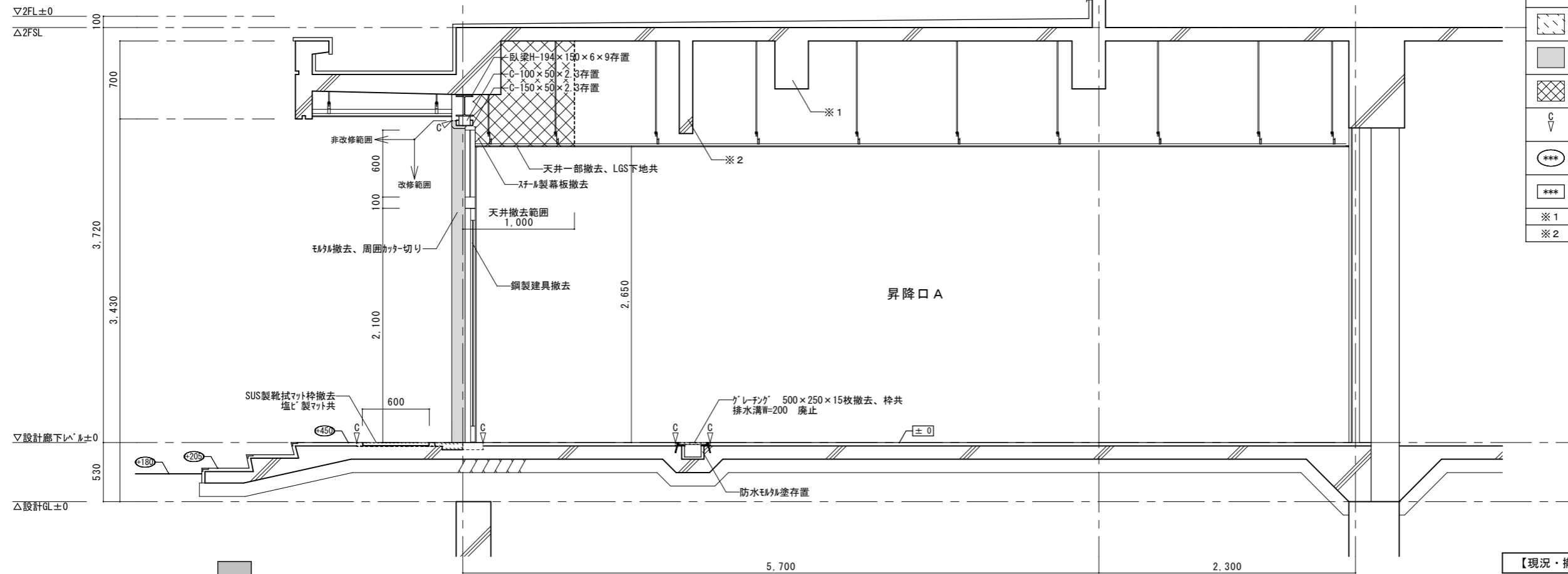
	天井撤去 (LGS下地共) 範囲を示す。
	壁、壁仕上撤去範囲を示す。 (モルタル、コンクリート垂れ壁、コンクリートブロック)
	天井点検口を示す。 7mm製450角存置
※2	建築時のRC壁の一部が残っている。



【改修】天井伏図 1/100

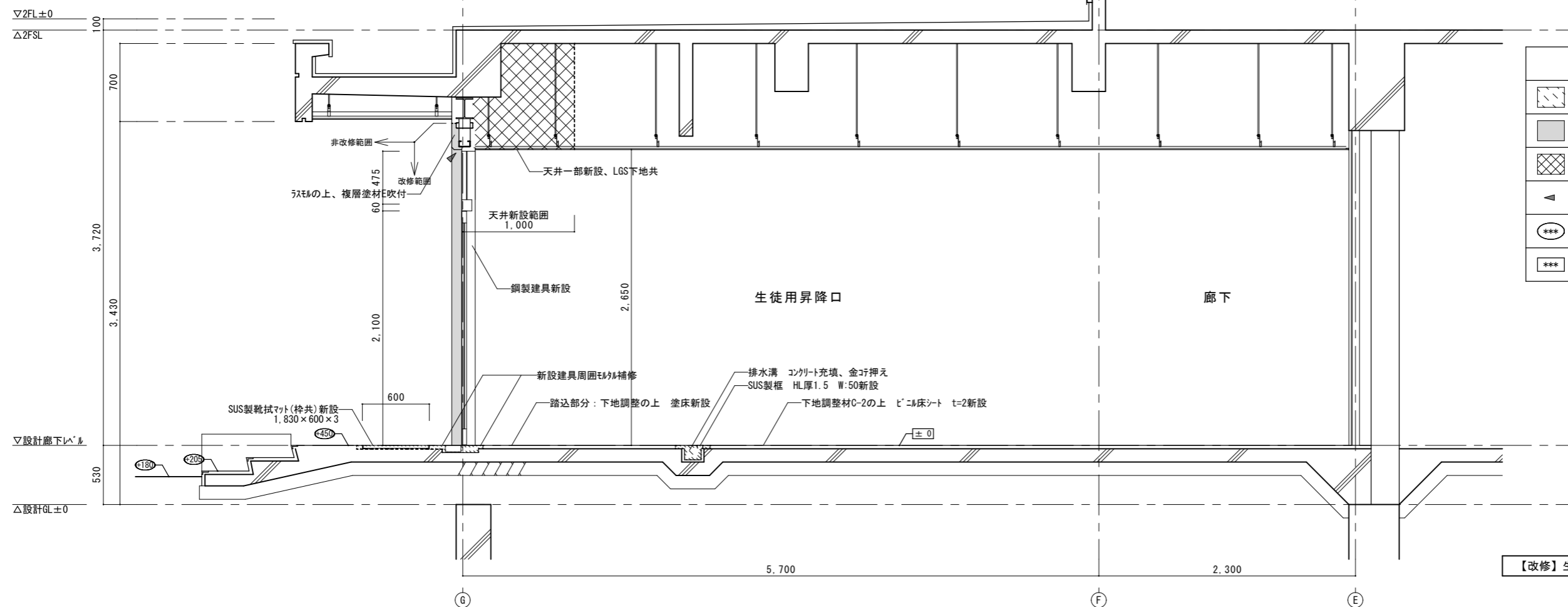
【改修】凡例

	天井新設 (LGS下地共) 範囲を示す。
	天井点検口を示す。 7mm製450角×7 新設
	壁、壁仕上新設範囲を示す。 (モルタル、ALC)



	床仕上撤去範囲を示す (モルタル・金物共)
	壁、壁仕上撤去範囲を示す (モルタル、コンクリートブロック)
	天井撤去 (LGS下地共) 範囲を示す
	カッター切りを示す
	数値は設計GLからの高低差を示す
	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530
※1	2B1:300×550、詳細な位置は不明
※2	建築時のRC壁の一部が残っている

【現況・撤去】昇降口 A A-A' 断面詳細図 1/30



	床仕上新設範囲を示す (モルタル・コンクリート・金物共)
	壁、壁仕上新設範囲を示す (モルタル)
	天井新設 (LGS下地共) 範囲を示す
	シーリング (MS-2) 新設を示す
	数値は設計GLからの高低差を示す
	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530

【改修】生徒用昇降口 A-A' 断面詳細図 1/30

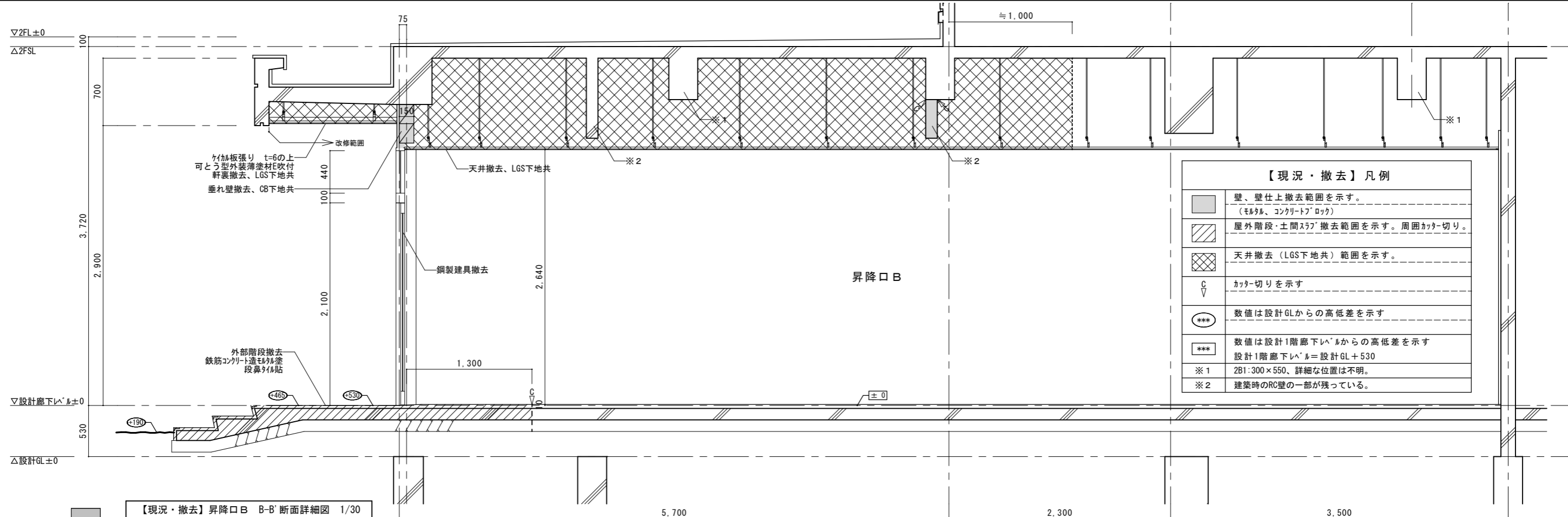
株式会社 コム・キューブ 一級建築士事務所
一級建築士 第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日

施設名 南宇治中学校
工事名 南宇治中学校配膳室設置工事

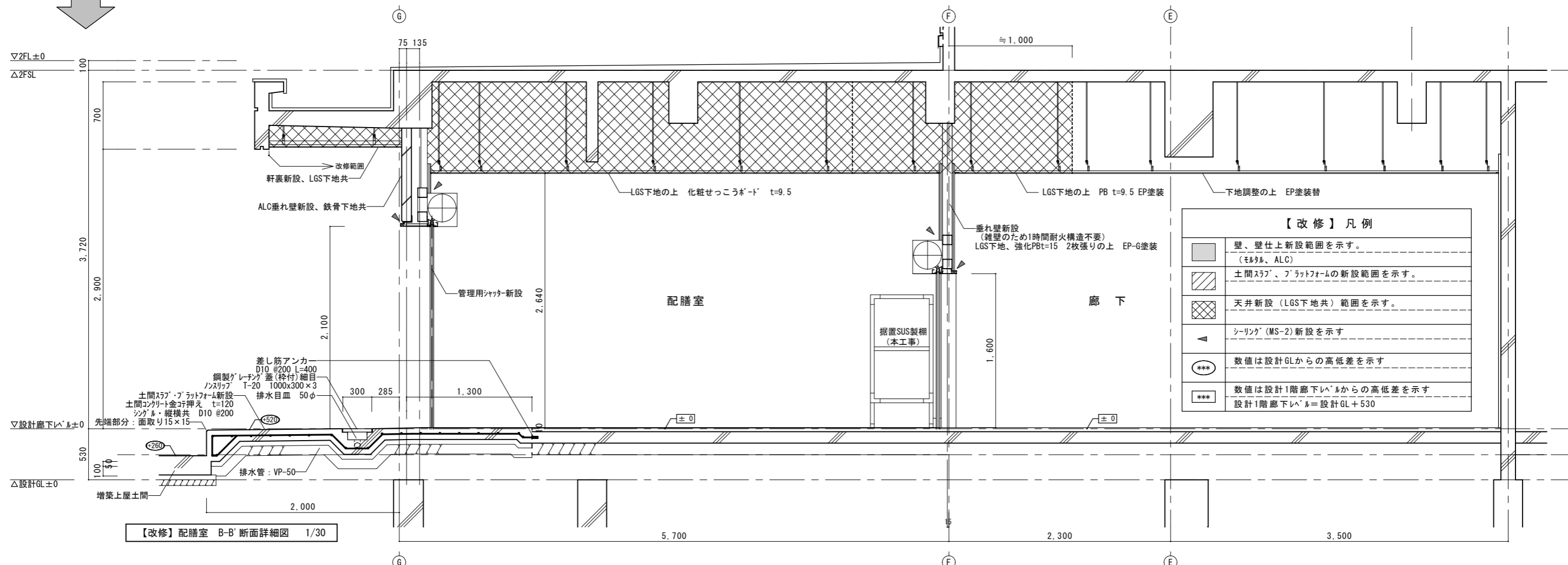
図名
縮尺

【現況・撤去/改修】
断面詳細図1 (昇降口A→生徒用昇降口)
1/30

図面 56 枚の内
No. A-16



【現況・撤去】昇降口B B-B'断面詳細図 1/30




【改修】配膳室 B-B'断面詳細図 1/30

【現況・撤去】昇降口A・B 外部仕上表

部位	仕上	下地
柱型	合板型枠打ち 7mm吹付	RC
外壁(⑤-⑥間北面)	珪藻土毛引き吹付	CB
外壁(⑥-⑦間北面)	可とう型外装薄塗材E吹付	CB
外壁(西面)	可とう型外装薄塗材E吹付	RC
庇鼻・庇裏	合板型枠打ち 7mm吹付	RC
軒裏 <small>(新築改修時設置部分 撤去は図示による)</small>	ケイカル板張り t=6の上 可とう型外装薄塗材E吹付	LGS
軒裏 <small>(建築時設置部分 撤去は図示による)</small>	石綿板底呂張り 7mm吹付	LGS
巾木	珪藻土押え H=300	RC
階段床	コンクリート金コ押し、段鼻 磁器質タイル張り	土間コンクリート t=120
ホーチ床	コンクリート金コ押し	土間コンクリート t=120
フロア床	珪藻土押えの上 塗仕上げ、点状タイル300角	土間コンクリート t=120
フロア手すり	支柱φ60 SUS製HL #800 手すりSUS製HL φ38	—






【改修】生徒用昇降口・配膳室 外部仕上表

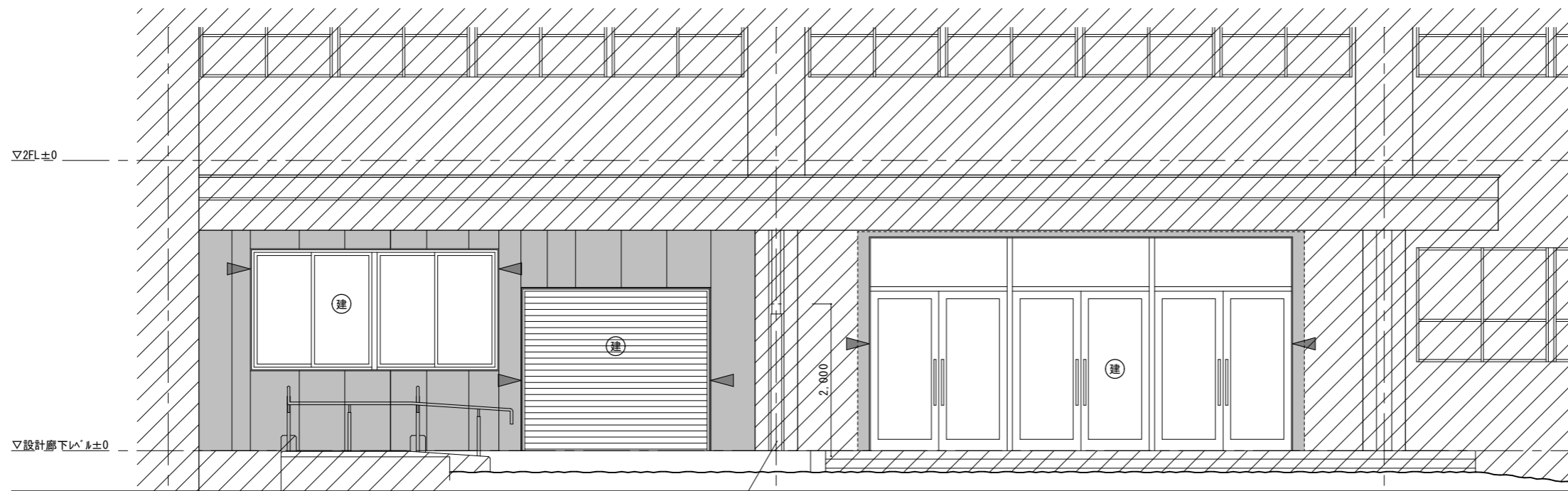
部位	仕上
柱型	現況のまま
外壁(⑤-⑥間北面)	現況のまま
外壁(⑥-⑦間北面)	ALC板 t=100の上 複層塗材E吹付
外壁(西面)	現況のまま
庇鼻・庇裏	現況のまま
軒裏 <small>(新築改修時設置部分 撤去は図示による)</small>	LGS下地 ケイカル板張り t=6の上 可とう型外装薄塗材E吹付
軒裏 <small>(建築時設置部分 撤去は図示による)</small>	現況のまま
巾木	現況のまま
階段床	土間コンクリート t=120 コンクリート金コ押し
ホーチ床	土間コンクリート t=120 コンクリート金コ押し
フロア床	現況のまま
フロア手すり	現況のまま

特記事項
 : 石綿含有成型板を示す








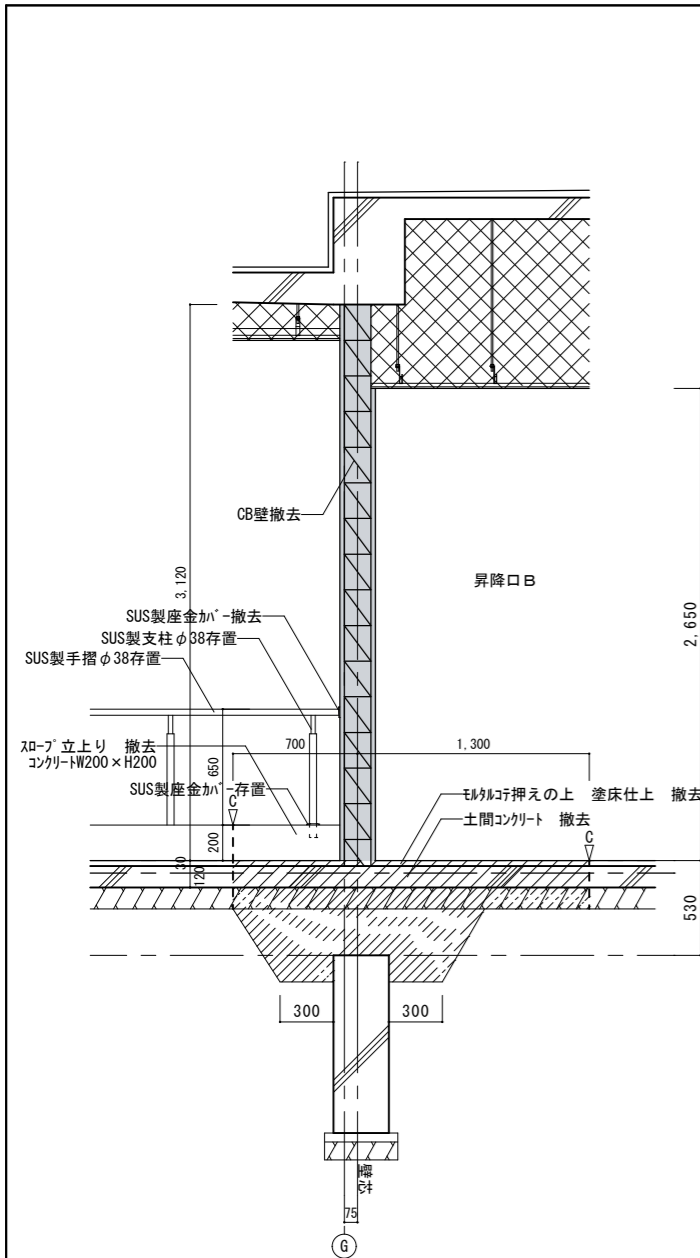
KBM+2,000でカッター切り
 縦樋VPφ100撤去
 養生管GPφ125 L=1,800
 【現況・撤去】北立面図 1/50

	非改修部を示す
	壁、壁仕上撤去範囲を示す (モルタル、コンクリートブロック)
	カッター切りを示す
	建具撤去を示す
	縦樋(軒樋・掴み金物共)撤去を示す



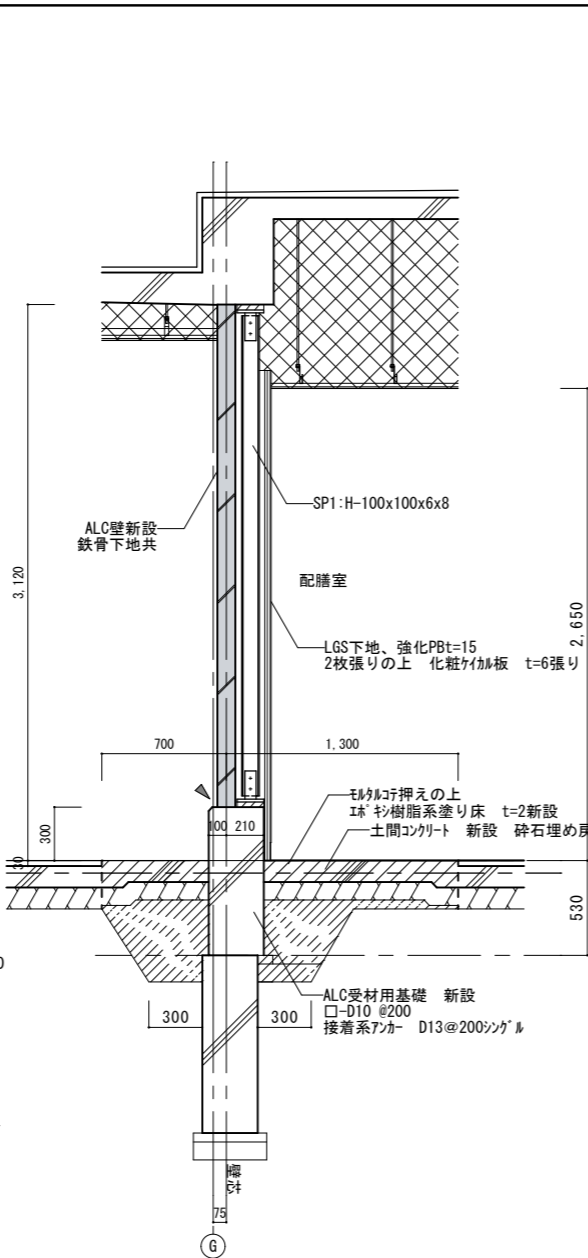
縦樋VPφ100新設
 養生管SGPφ125 DP塗 L=1,800新設
 【改修】北立面図 1/50

	非改修部を示す
	壁、壁仕上新設範囲を示す。 (モルタル、ALC)
	シーリング(MS-2)新設を示す
	建具新設を示す
	縦樋(掴み金物共)新設を示す



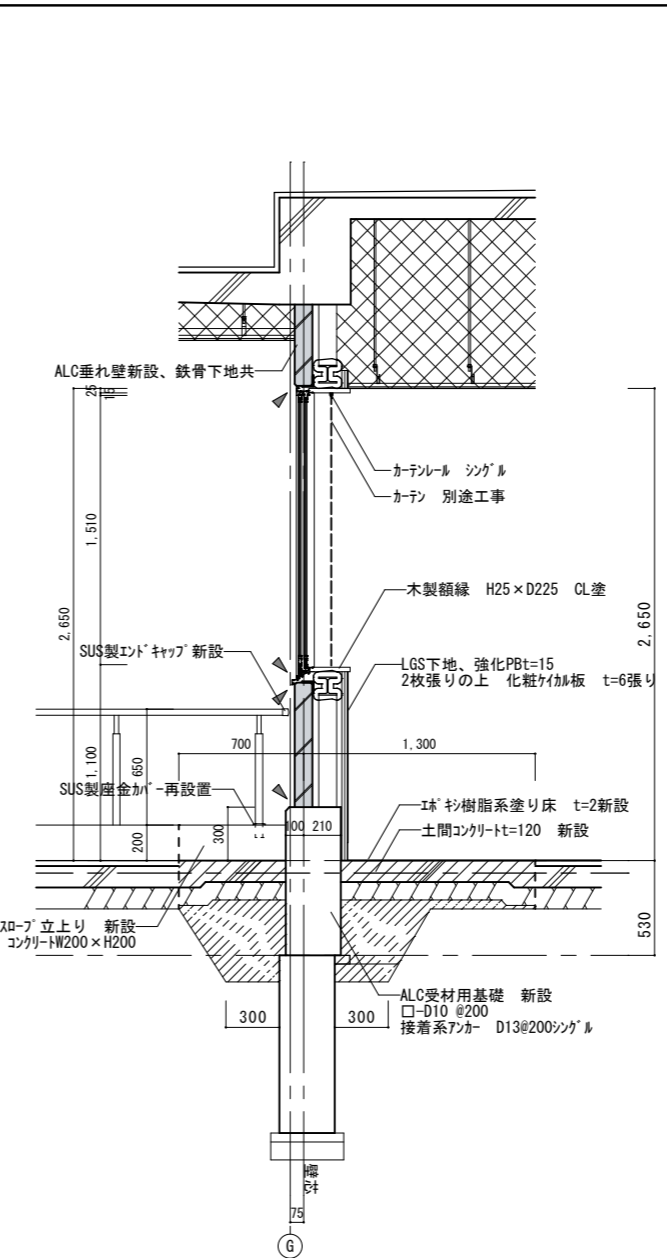
【現況・撤去】昇降口B断面詳細図 1/30

※ 手摺、支柱、座金共に傷めないようCB壁を撤去すること。



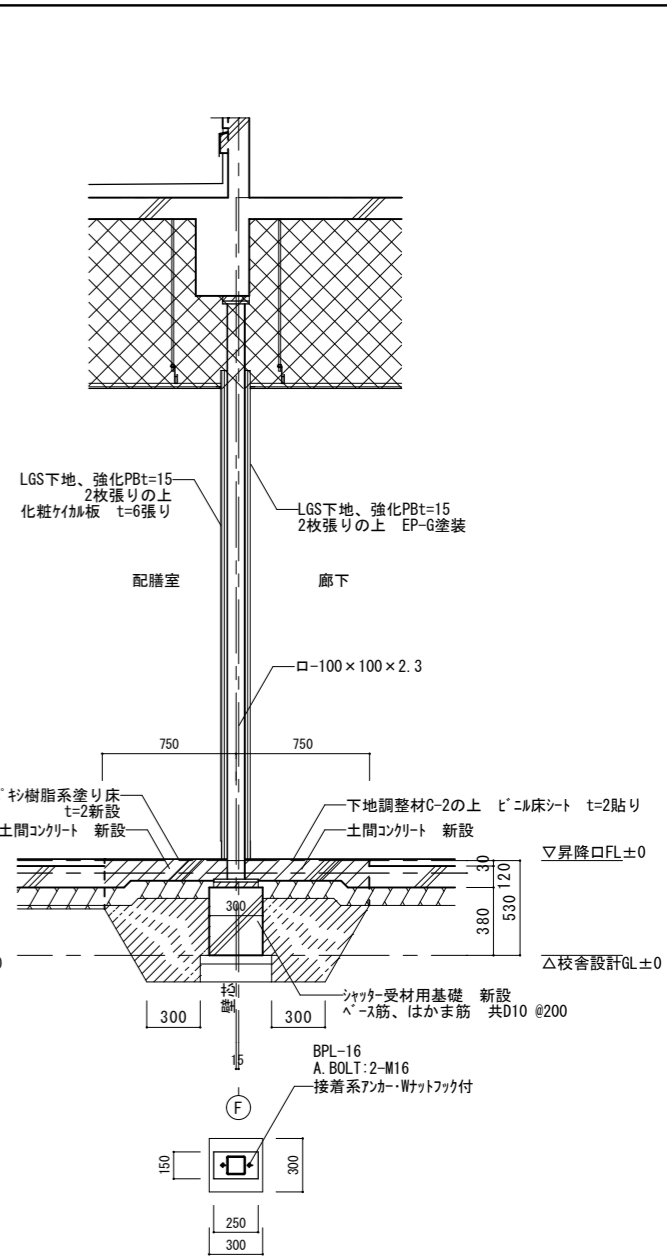
【改修】配膳室断面詳細図 1/30

壁部



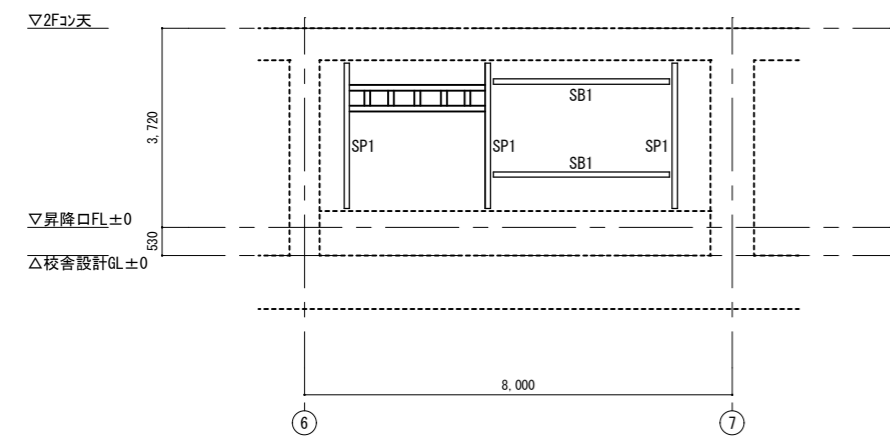
【改修】配膳室断面詳細図 1/30

開口部



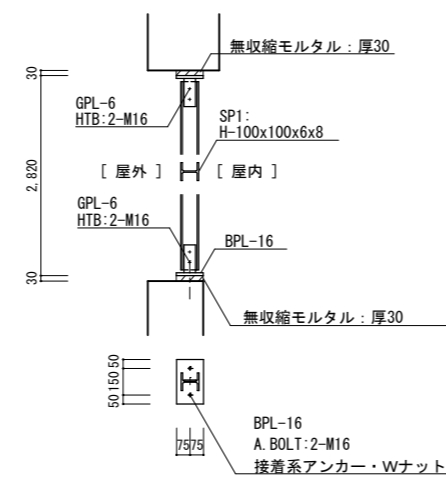
【改修】配膳室断面詳細図 1/30

壁部



ALC受け材配置図 1/100

※SP1は強軸をRC架構の面外方向に配置すること
※シャッター取付材は部分詳細図を参照すること



ALC受け材詳細図 1/30

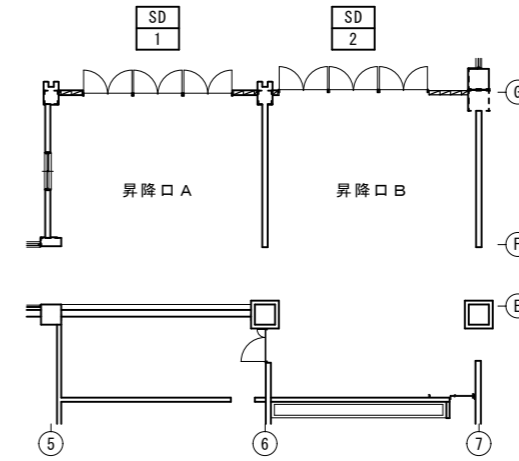
【現況・撤去】凡例	
	壁、壁仕上撤去範囲を示す。 (モルタル、コンクリートブロック)
	屋外階段・土間スラブ撤去範囲を示す。
	天井撤去(LGS下地共)範囲を示す。
	掘削範囲を示す
	カット切りを示す

【改修】凡例	
	壁、壁仕上新設範囲を示す。 (モルタル、ALC)
	土間スラブ、フラットフォームの新設範囲を示す。
	天井新設(LGS下地共)範囲を示す。
	埋め戻し範囲を示す
	シーリング(MS-2)新設を示す

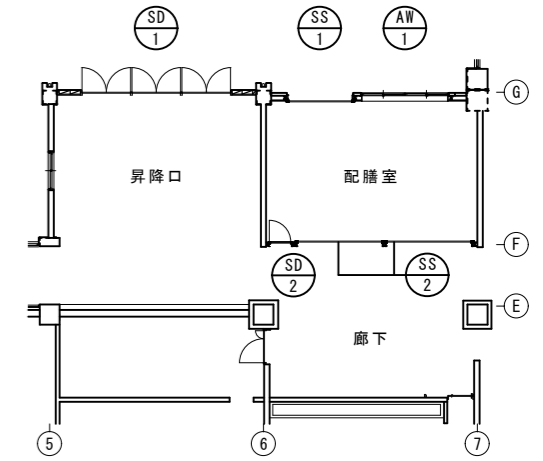
現況・撤去

記号・形式・数量	SD 1	鋼製 3連両開き戸・欄間FIX窓	1	SD 2	鋼製 3連両開き戸・欄間FIX窓	1
姿図 (内観)						
▽昇降口FL						
枠見込 扉厚	枠見込：100		扉見込：40	枠見込：100		扉見込：40
硝子	PW6.8			PW6.8		
仕上	OP塗			SOP塗		
建具金物	707-ヒンジ、シリンダ-錠（内部サムターン）、SUS製棒状取手			707-ヒンジ、シリンダ-錠（内部サムターン）、SUS製棒状取手		
位置	昇降口A			昇降口B		
備考	戸当り、フラス落し			戸当り、フラス落し		

ガラス凡例	
PW	網入透明ガラス



【現況・撤去】昇降口建具配置図



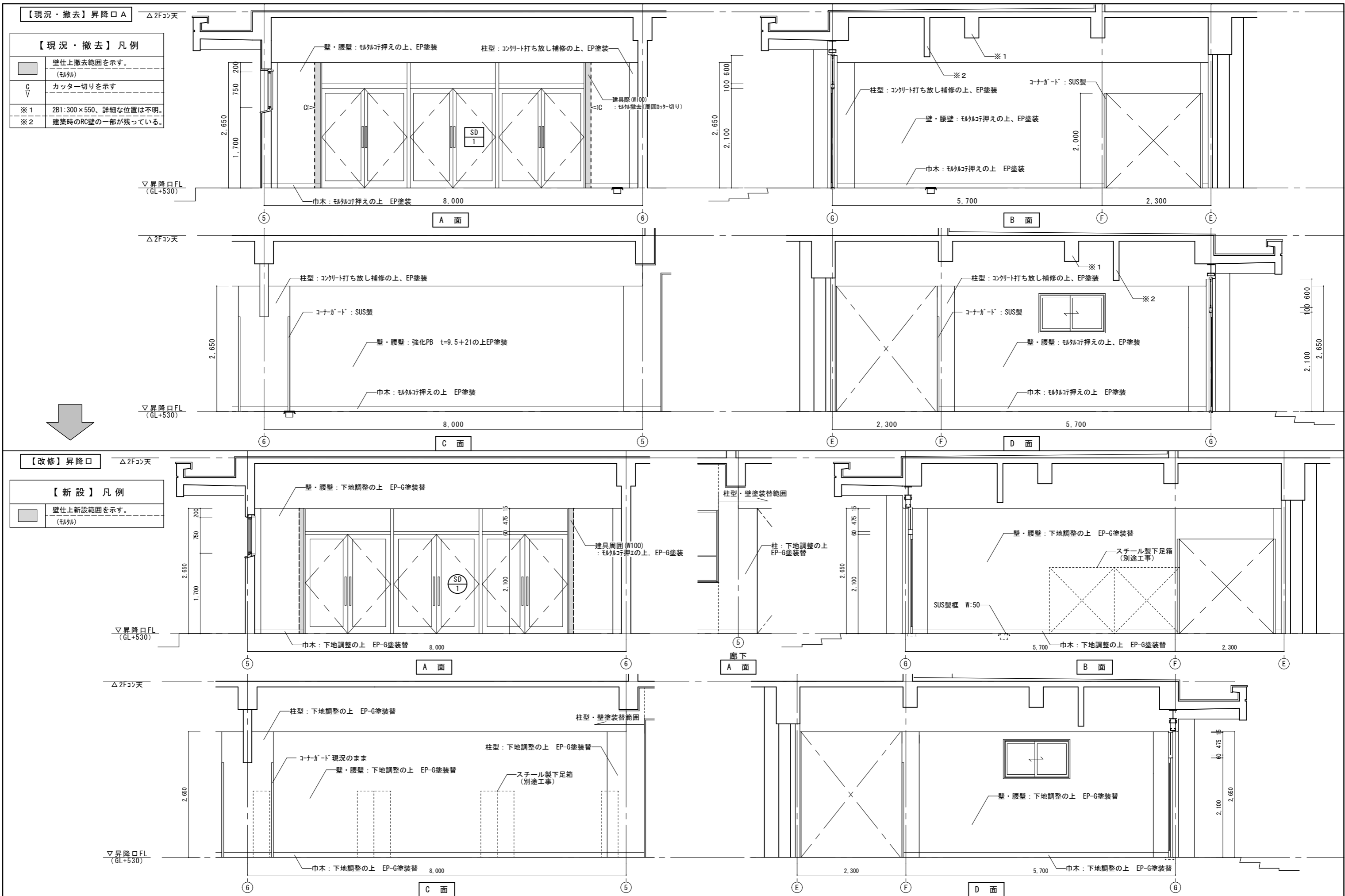
【改修】昇降口・配膳室 建具配置図

改修

記号・形式・数量	SD 1	鋼製 3連両開き戸・欄間FIX窓	1	SS 1	鋼製 手動軽量シャッター 正巻き 屋外用 露出納まり	1	SS 2	鋼製 手動軽量シャッター 正巻き 屋内用 露出納まり	1	AW 1	7&M製 2連引違い窓	1	SD 2	鋼製 片開き戸	1
姿図 (内観)															
配膳室FL ▽昇降口FL				自由開き											
枠見込 扉厚	枠見込：120		扉見込：40	枠見込：39		扉見込：—	枠見込：39		扉見込：—	枠見込：70		枠見込：186	扉見込：40		
硝子	PW6.8			—			—			PW6.8		PW6.8			
仕上	焼付塗装			高耐食カー鋼板 スラット厚0.5			カー鋼板 スラット厚0.5			電解着色（シルバー）		化粧鋼板			
建具金物	707-ヒンジ（1か所自由開き、3か所共ストップ機能付）、シリンダ-錠（内部サムターン）、SUS製引棒 フラス落し、SUS製査擋 その他付属金物一式			専用錠、専用フック棒			専用錠、専用フック棒			クレセント、戸車、7&M製水切、SUS製網戸 その他付属金物一式		レバーハンドル、シリンダ-錠（内部サムターン）、丁番、ドアローザ- 戸当り 他付属金物一式			
位置	昇降口			配膳室			配膳室			配膳室		配膳室			
備考	引棒同士が干渉しないよう調整すること									木製額縁CL塗		木製額縁CL塗			

特記事項 【共通】
 ・製作に先立ち、納まり等を調整した施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。
 ・配入寸法は、概略寸法であり、詳細は施工図作成の上、決定する。
 ・ハンドル、引手の取付高さは、特記なき限り床面より900mm程度とする。
 ・上記を含む錠前などの取付高さは監督員との協議による。
 ・シリンダ-錠は全てマスター付（錠は既存のマスターに合わせる）とする。

ガラス凡例	
PW	網入透明ガラス



株式会社 コム・キューブ 一級建築士事務所
一級建築士 第311729号 内田 陽介 R6年 1月 31日

施設名 南宇治中学校
工事名 南宇治中学校配膳室設置工事

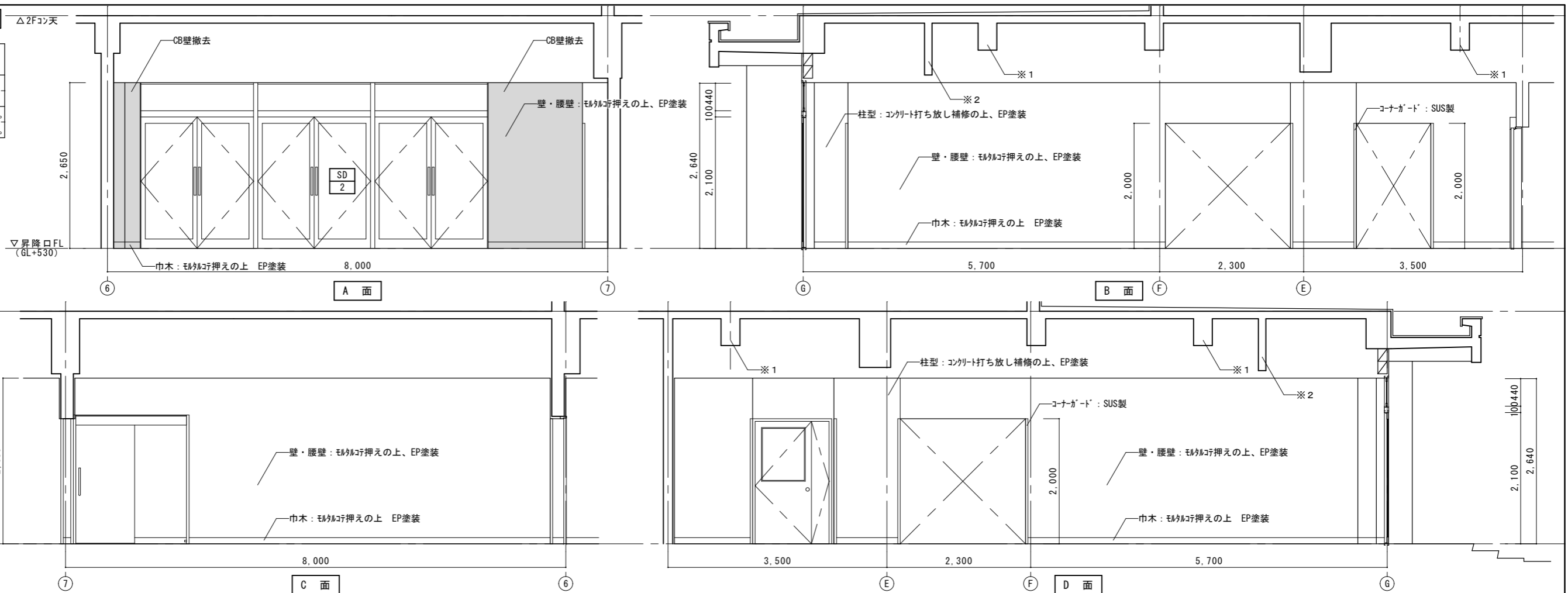
図名 【現況・撤去/改修】
展開図1 (昇降口A→1生徒用昇降口)
縮尺 1/50

図面 56枚の内
No. A-21

【現況・撤去】昇降口B・廊下

【現況・撤去】凡例

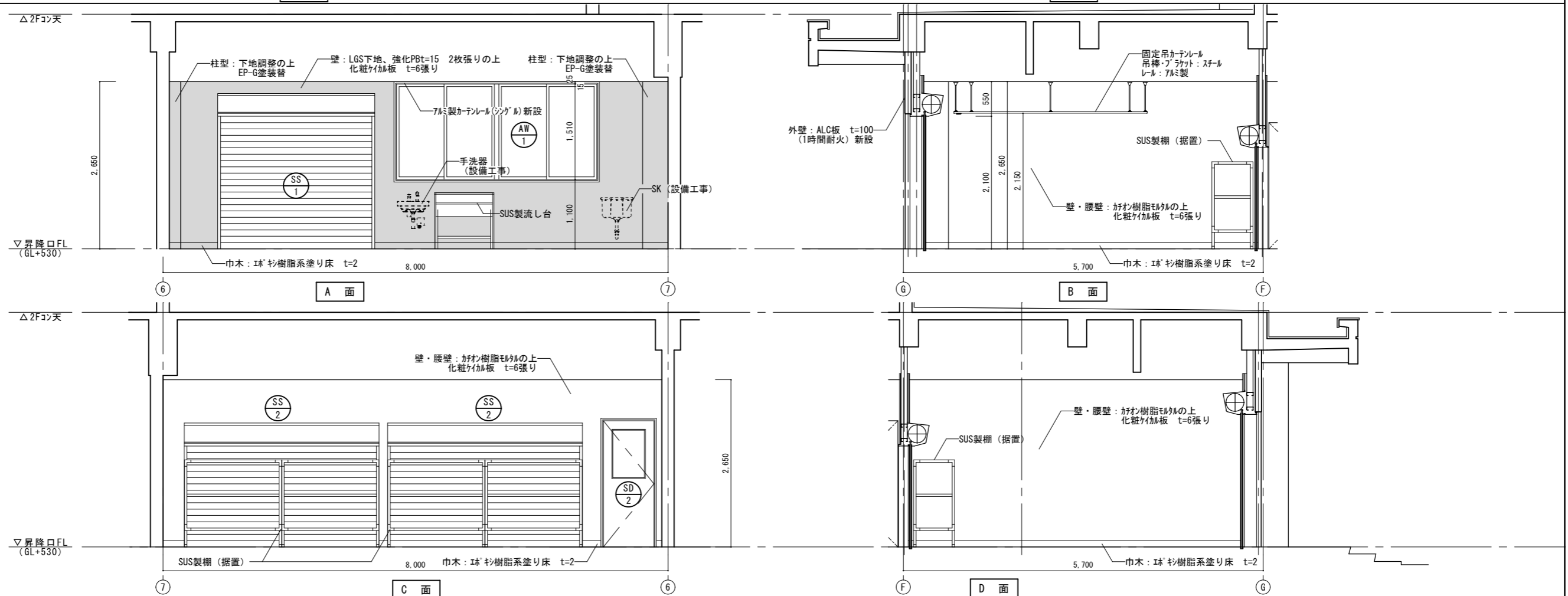
	壁、壁仕上撤去範囲を示す。 (モルタル、コンクリートブロック)
※1	2B1:300×550、詳細な位置は不明。
※2	建築時のRC壁の一部が残っている。



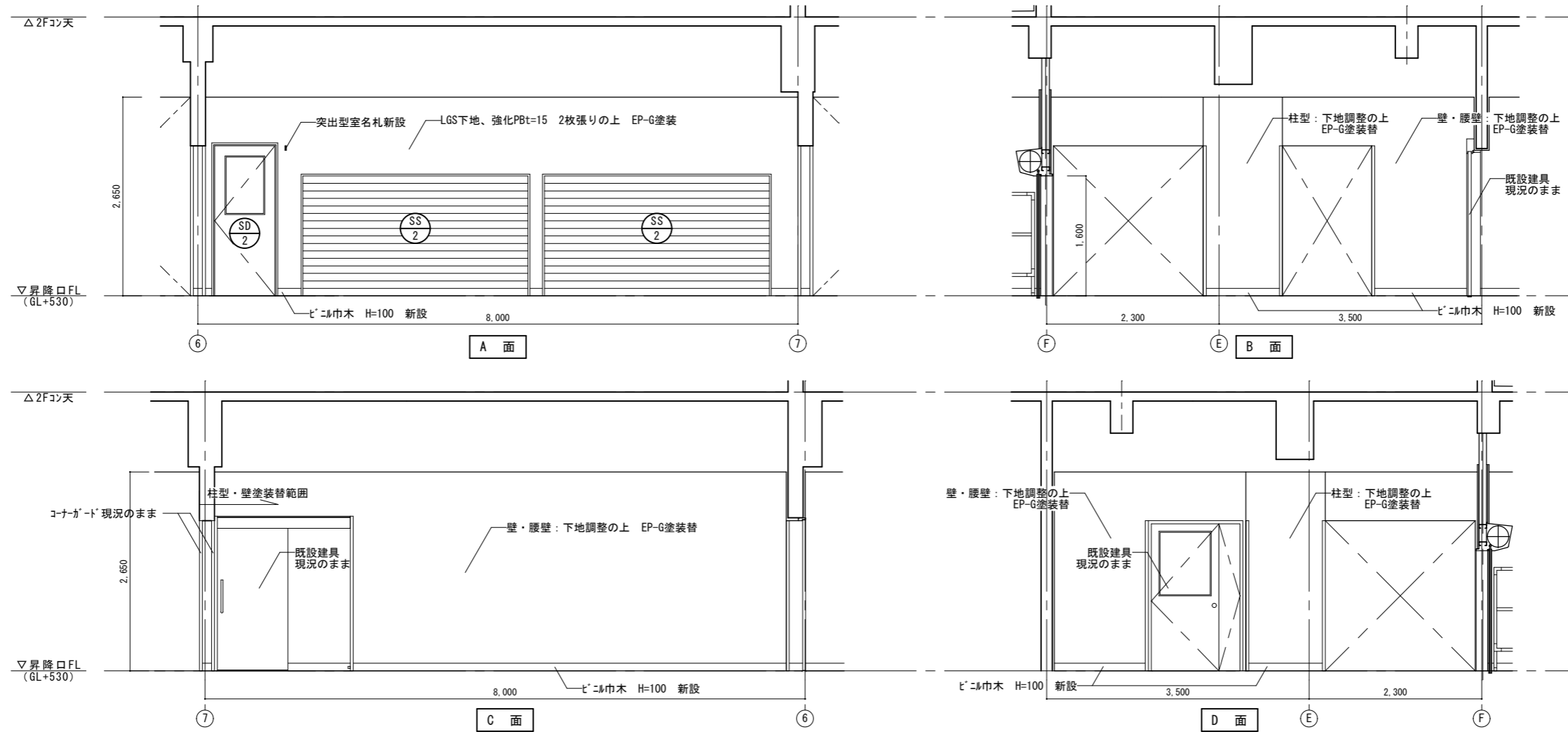
【改修】配膳室

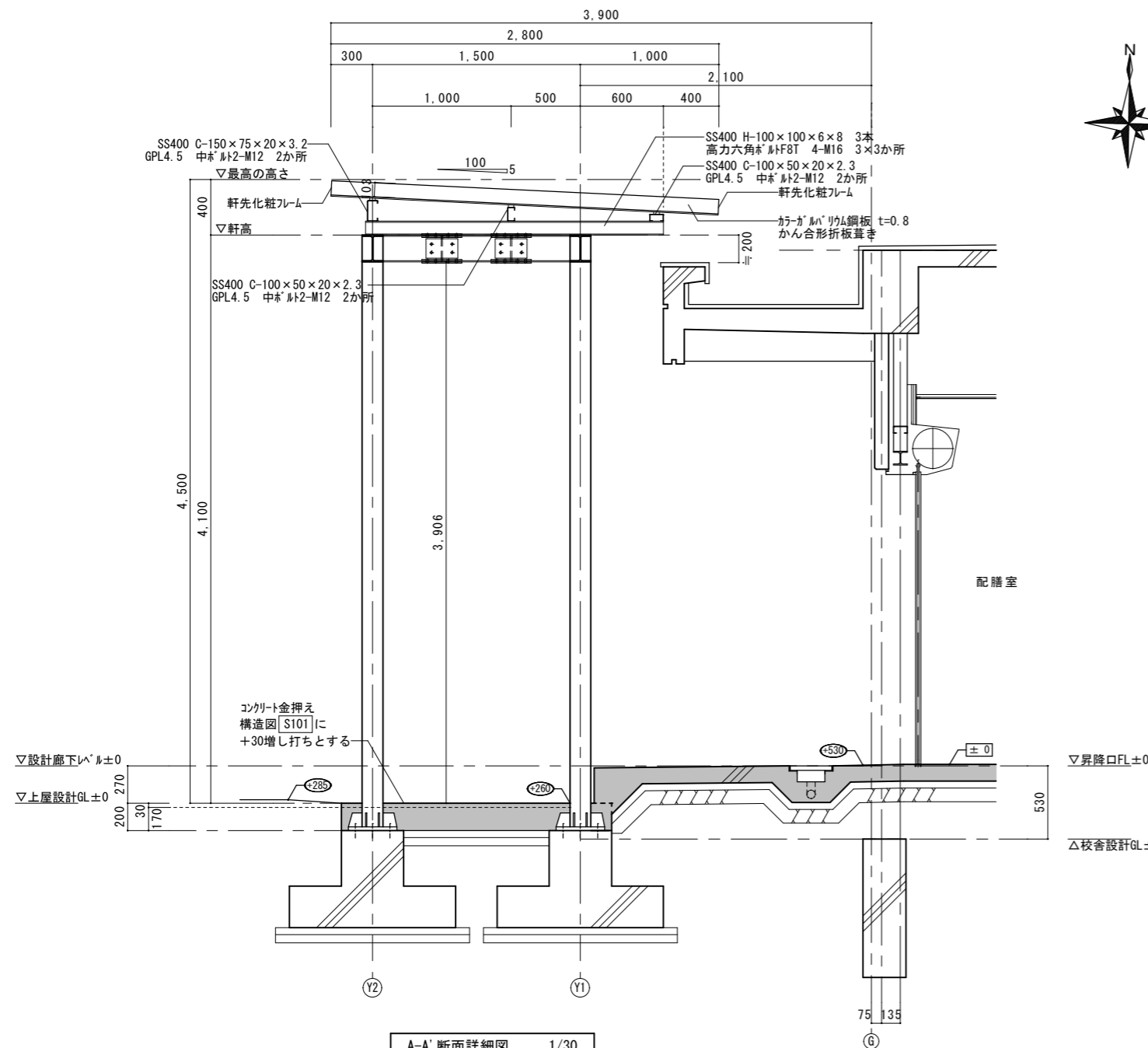
【新設】凡例

	壁新設範囲を示す。 (ALC)
--	--------------------

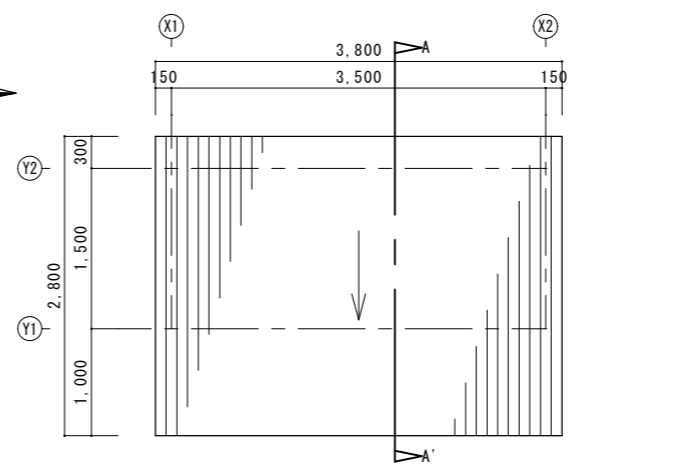


【改修】廊下

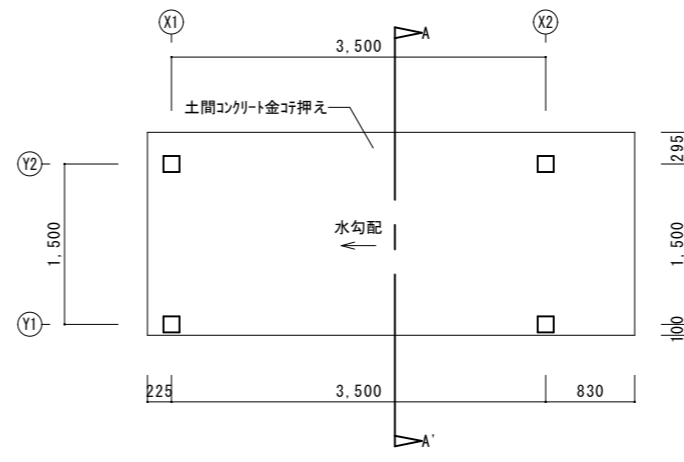




A-A' 断面詳細図 1/30



屋根伏図 1/50

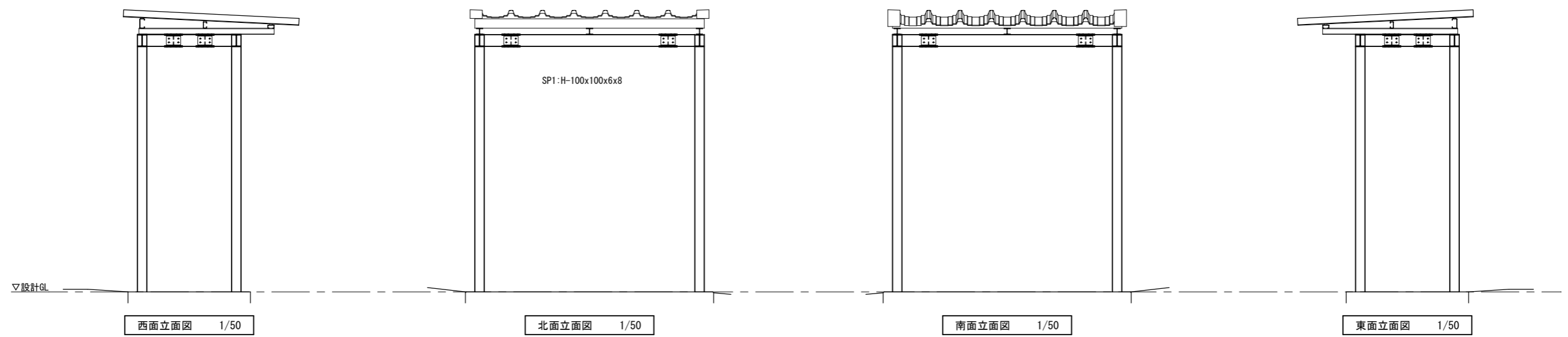


平面図 1/50

求積図		1/100
建築面積求積	$3.50 \times 0.80 = 2.80$	建築面積 2.80㎡
※荷捌き場の上屋で、奥行は5m以下である		
床面積求積	通行の用途のみであるため、0.00㎡。	
	床面積	0.00㎡

外部仕上表	
部位	仕上
屋根	カラガリウム鋼板 t=0.8 かん合形折板葺き 山高103
柱・梁	ケラハ 水切り:カラガリウム鋼板 t=0.8 曲げ加工
床	鉄骨造:溶融亜鉛メッキの上 DP塗り ※構造図参照
	床
	コンクリート金押し

凡例	
	土間コンクリート新設、梁天端増し打ち部分を示す
	数値は設計GLからの高低差を示す
	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530

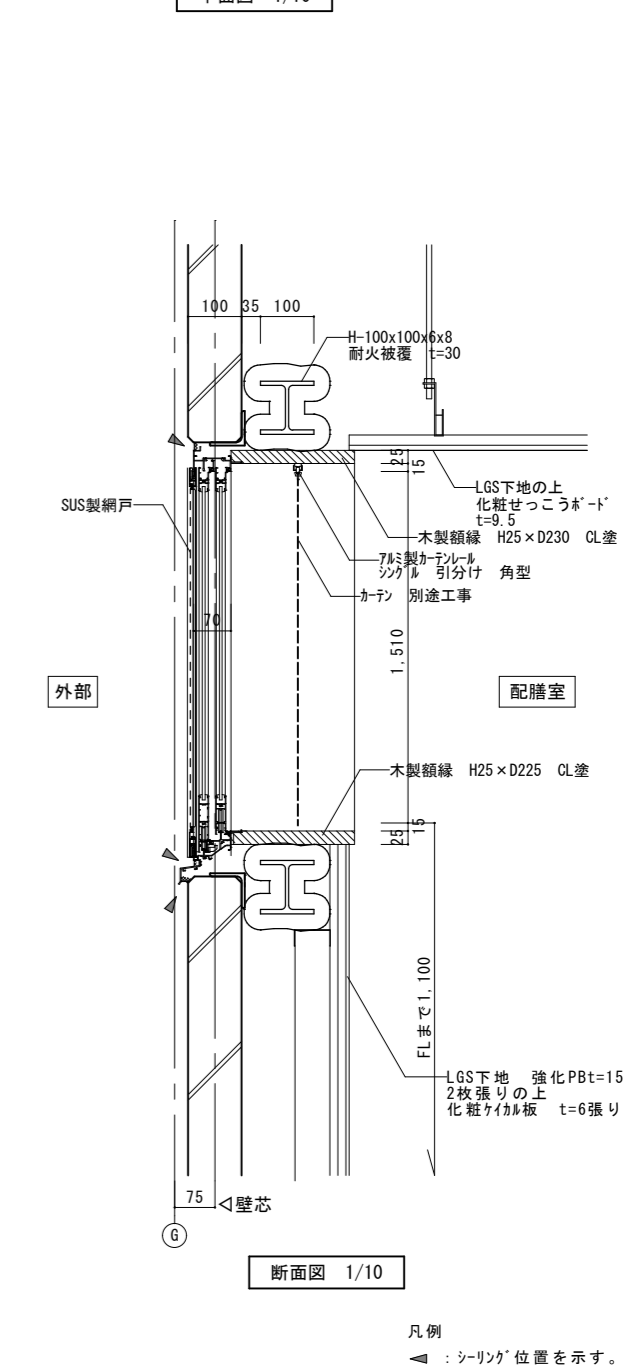
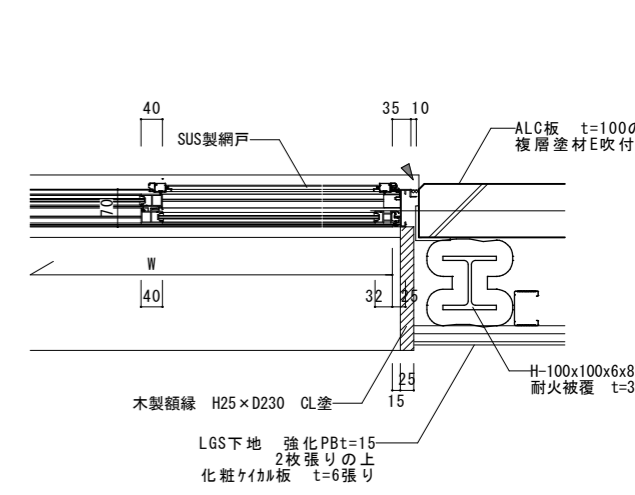
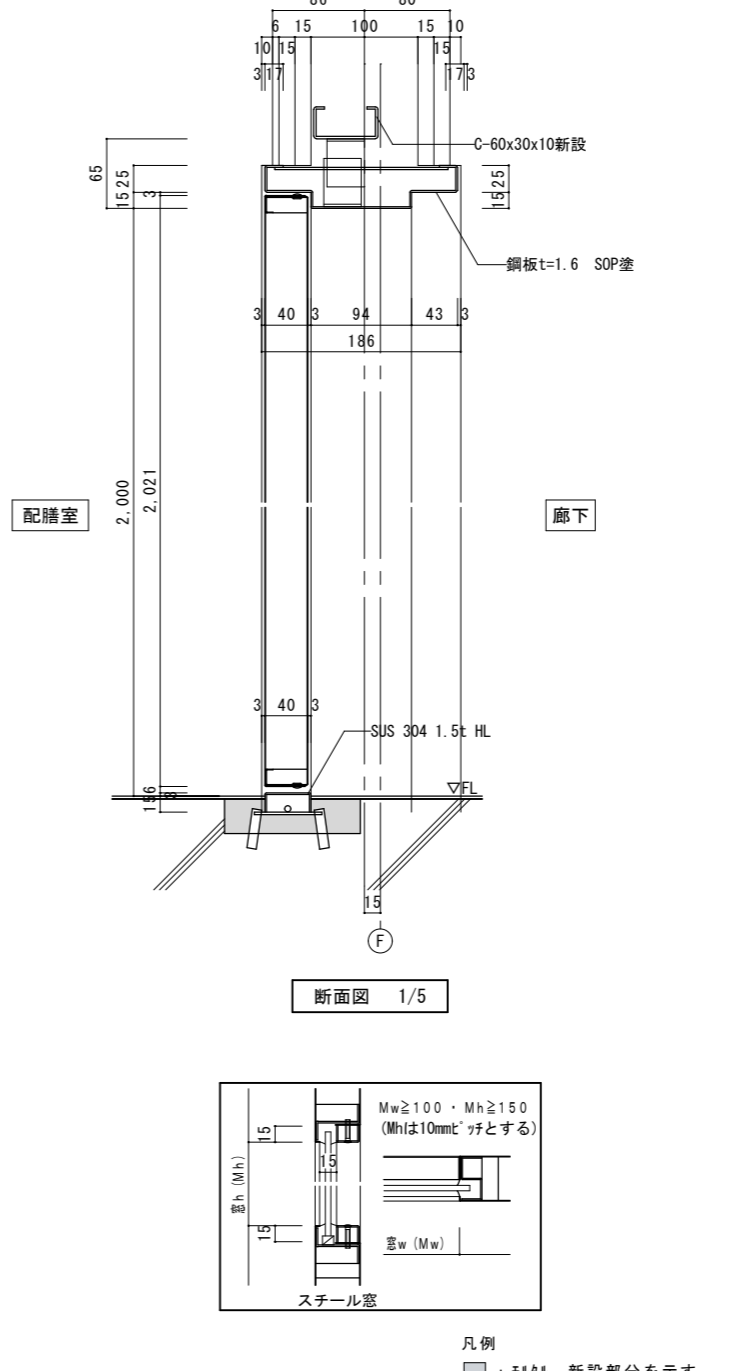
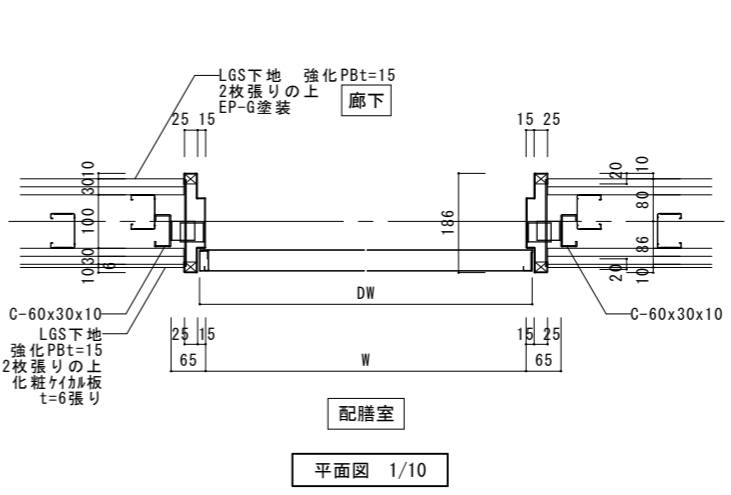
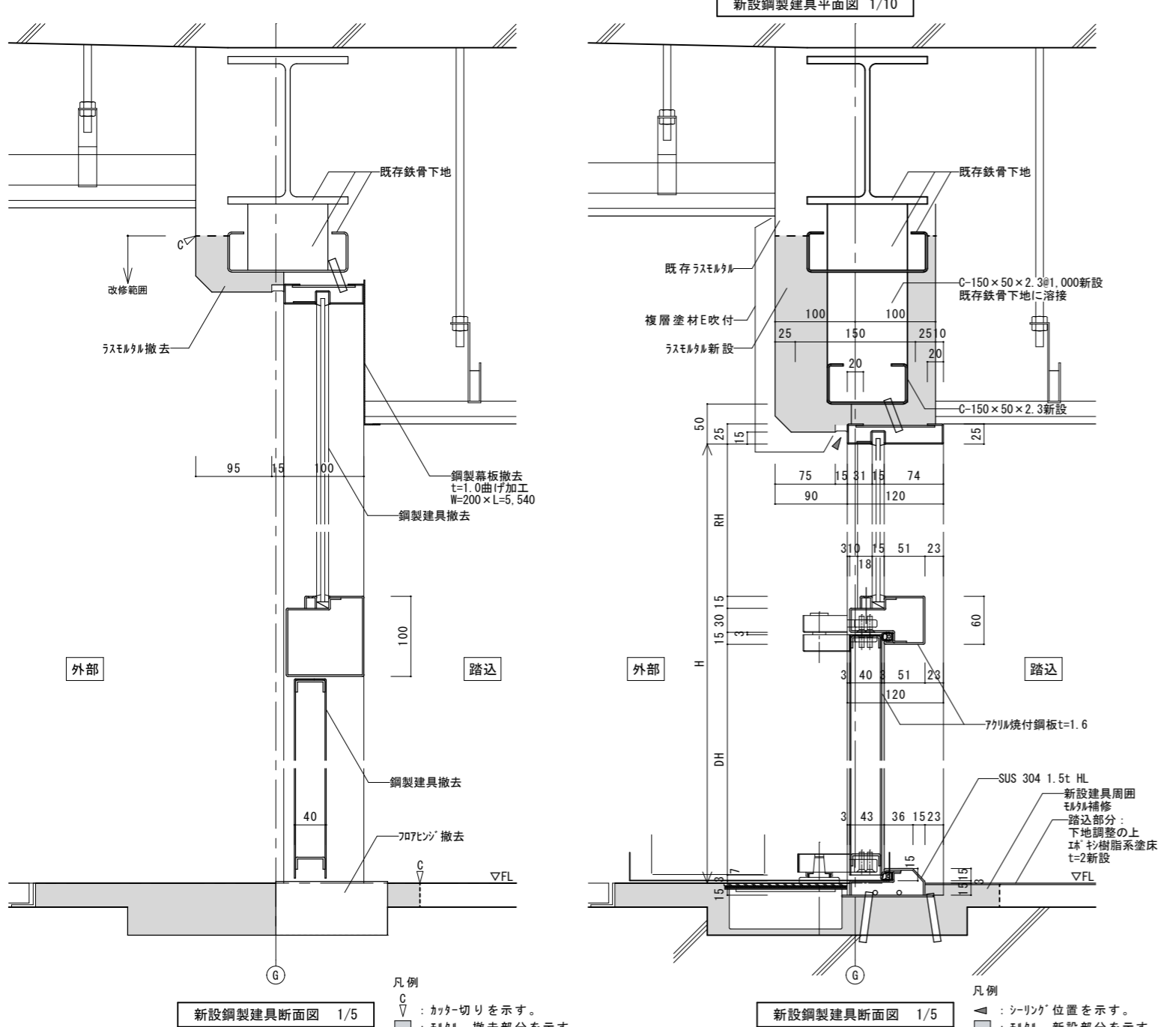
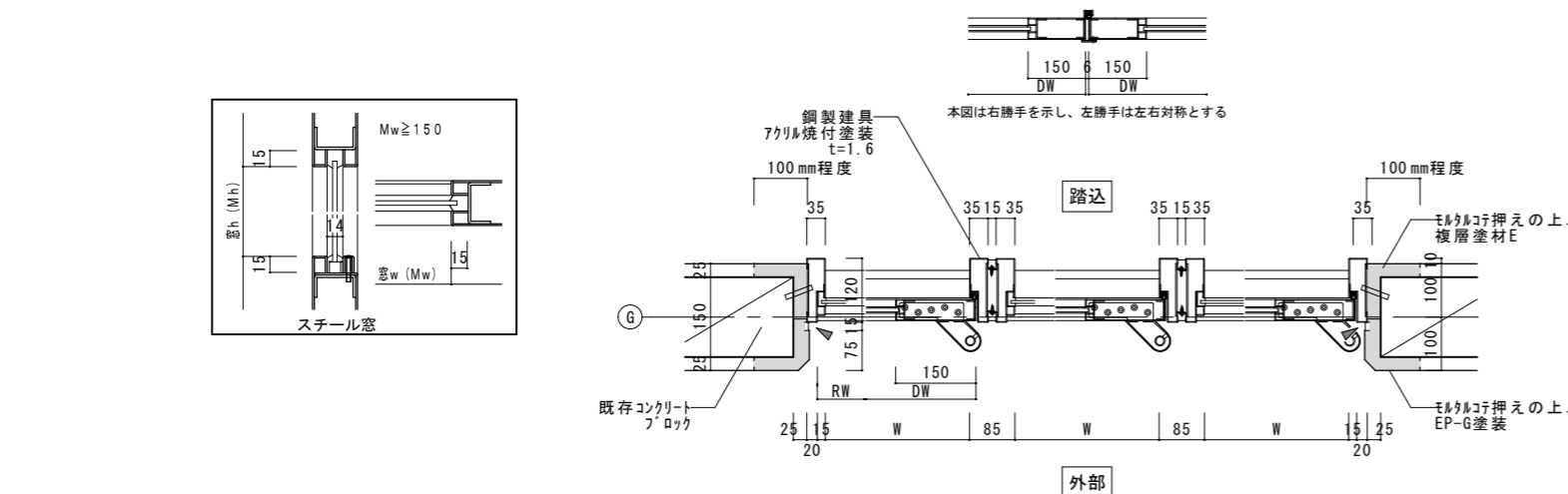


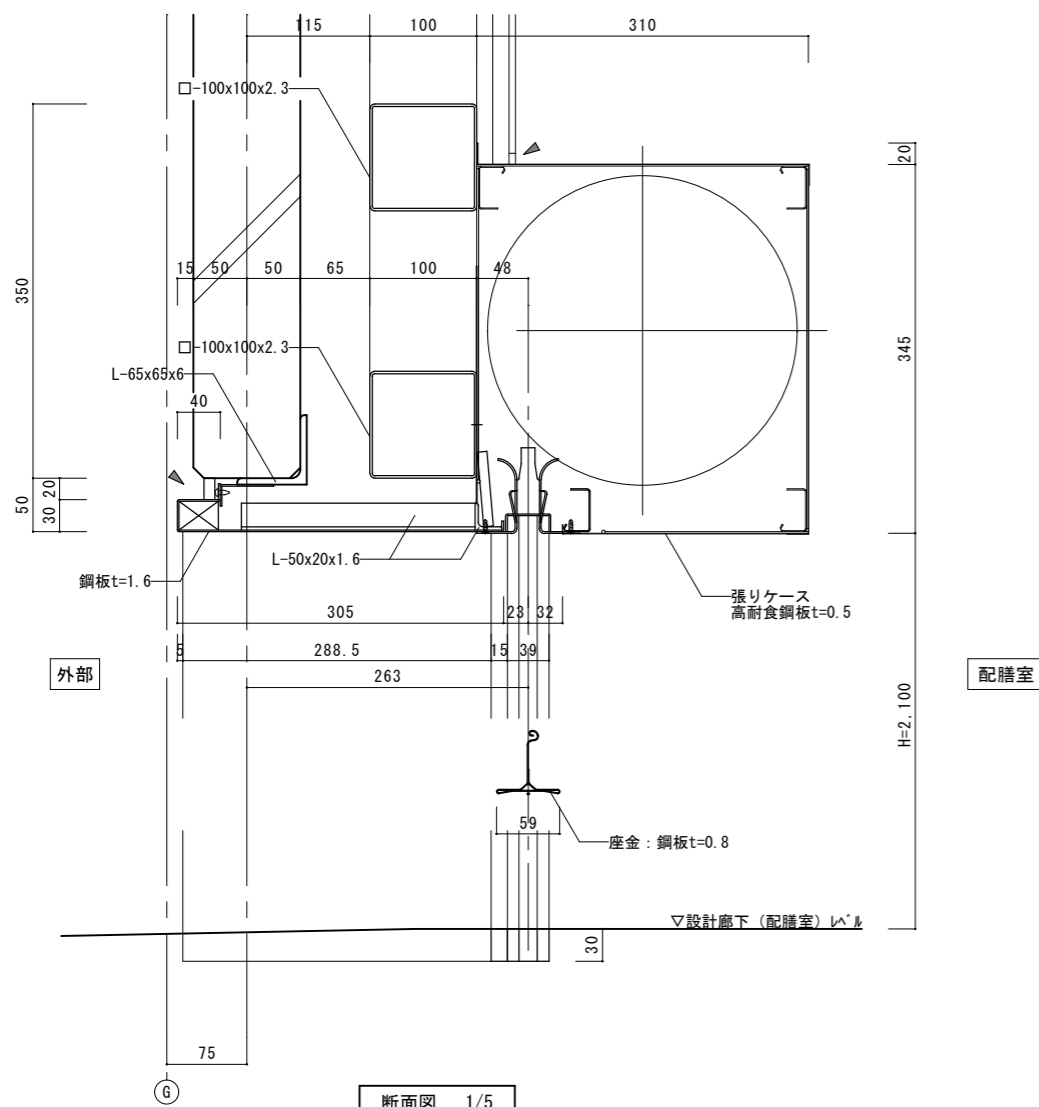
西面立面図 1/50

北面立面図 1/50

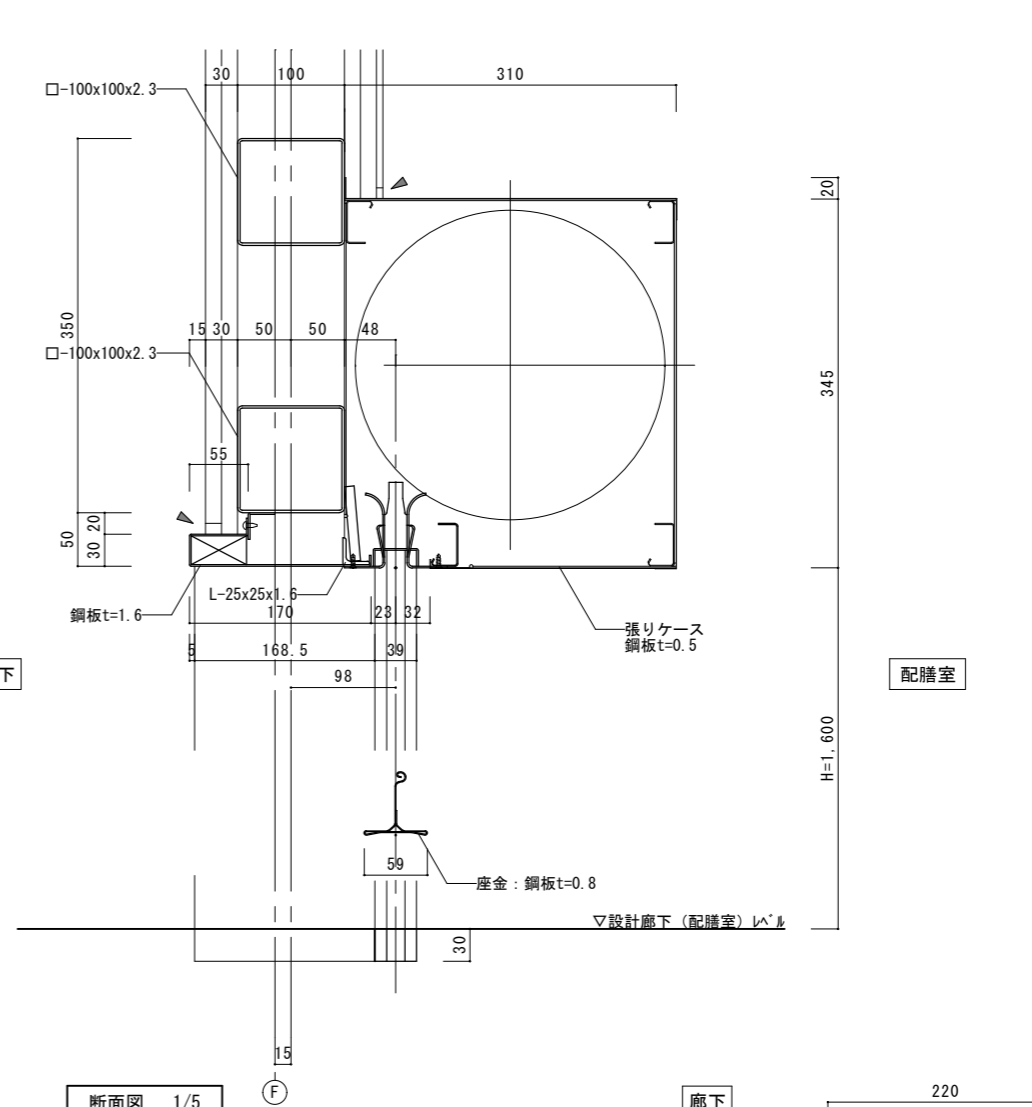
南面立面図 1/50

東面立面図 1/50

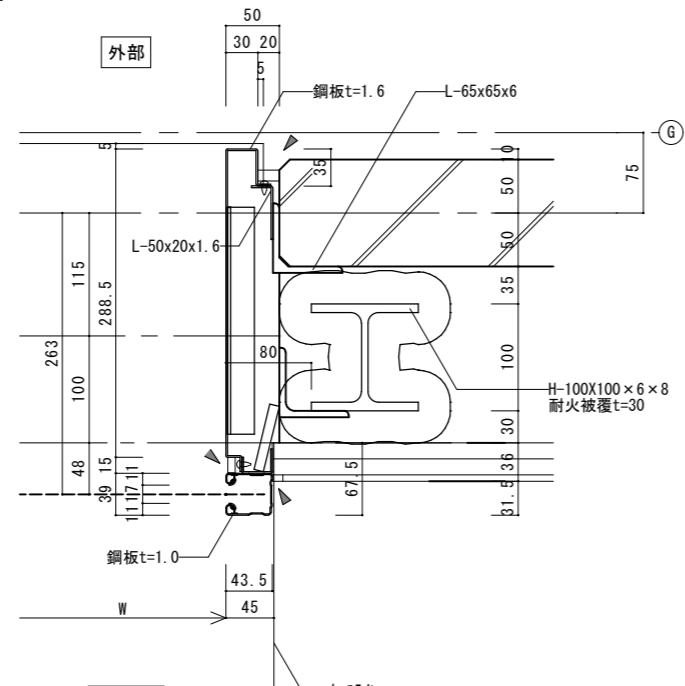
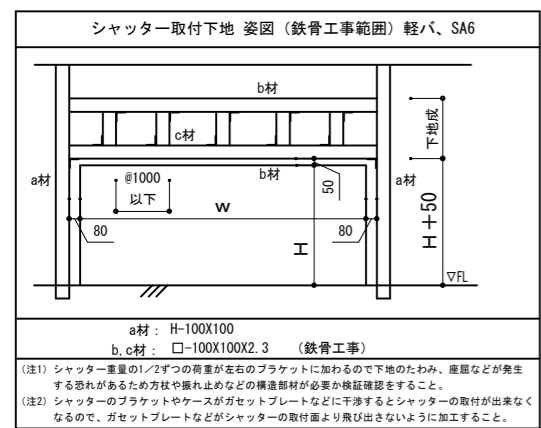




断面図 1/5

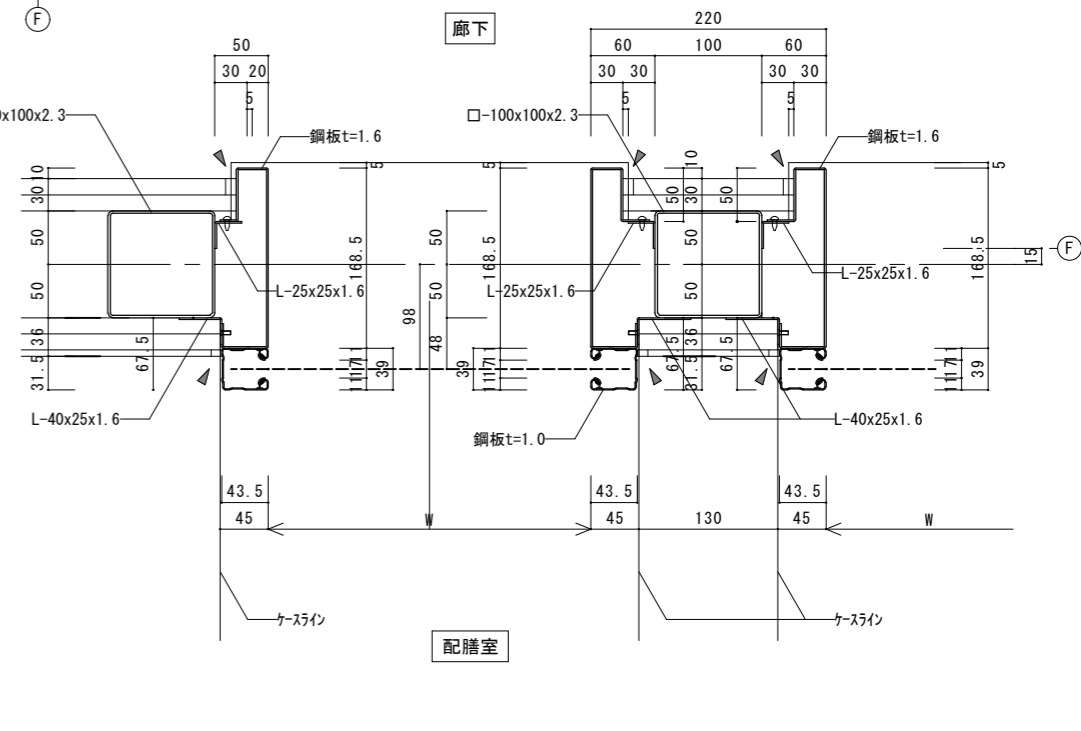
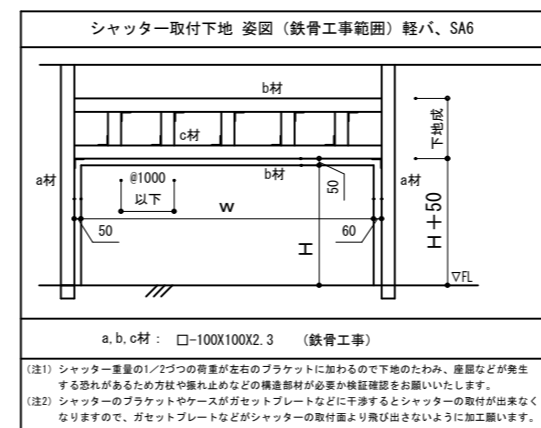


断面図 1/5

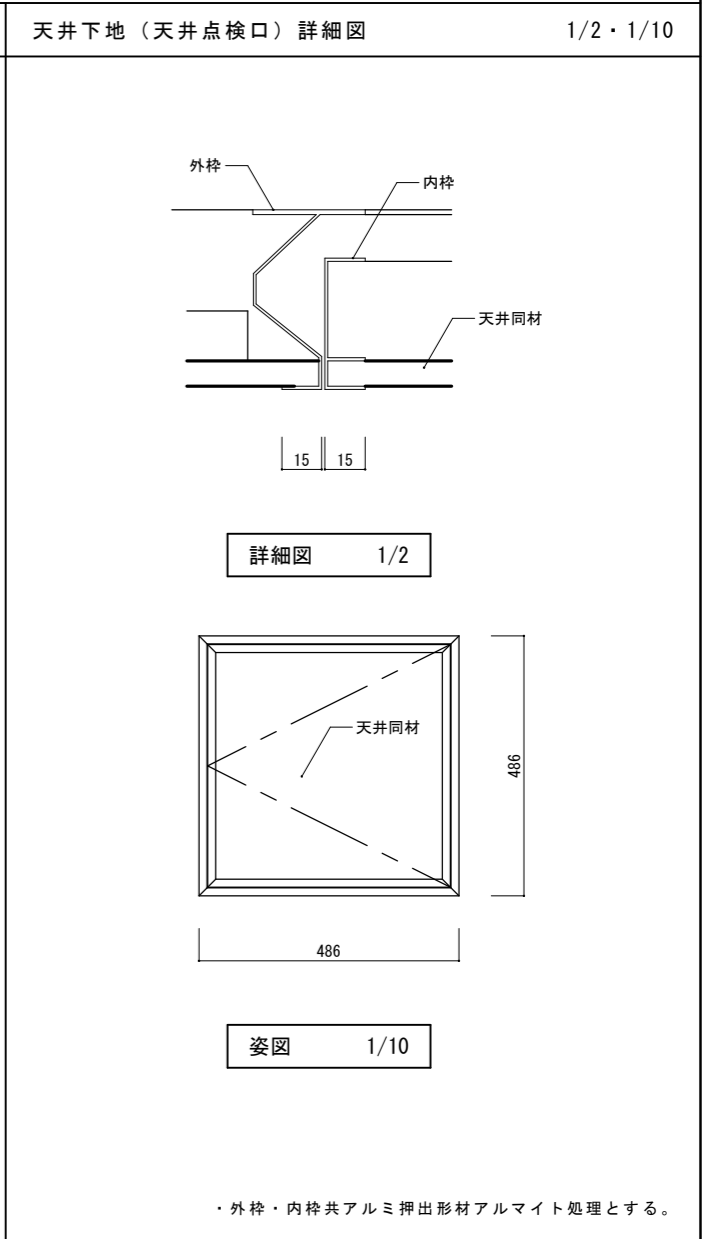
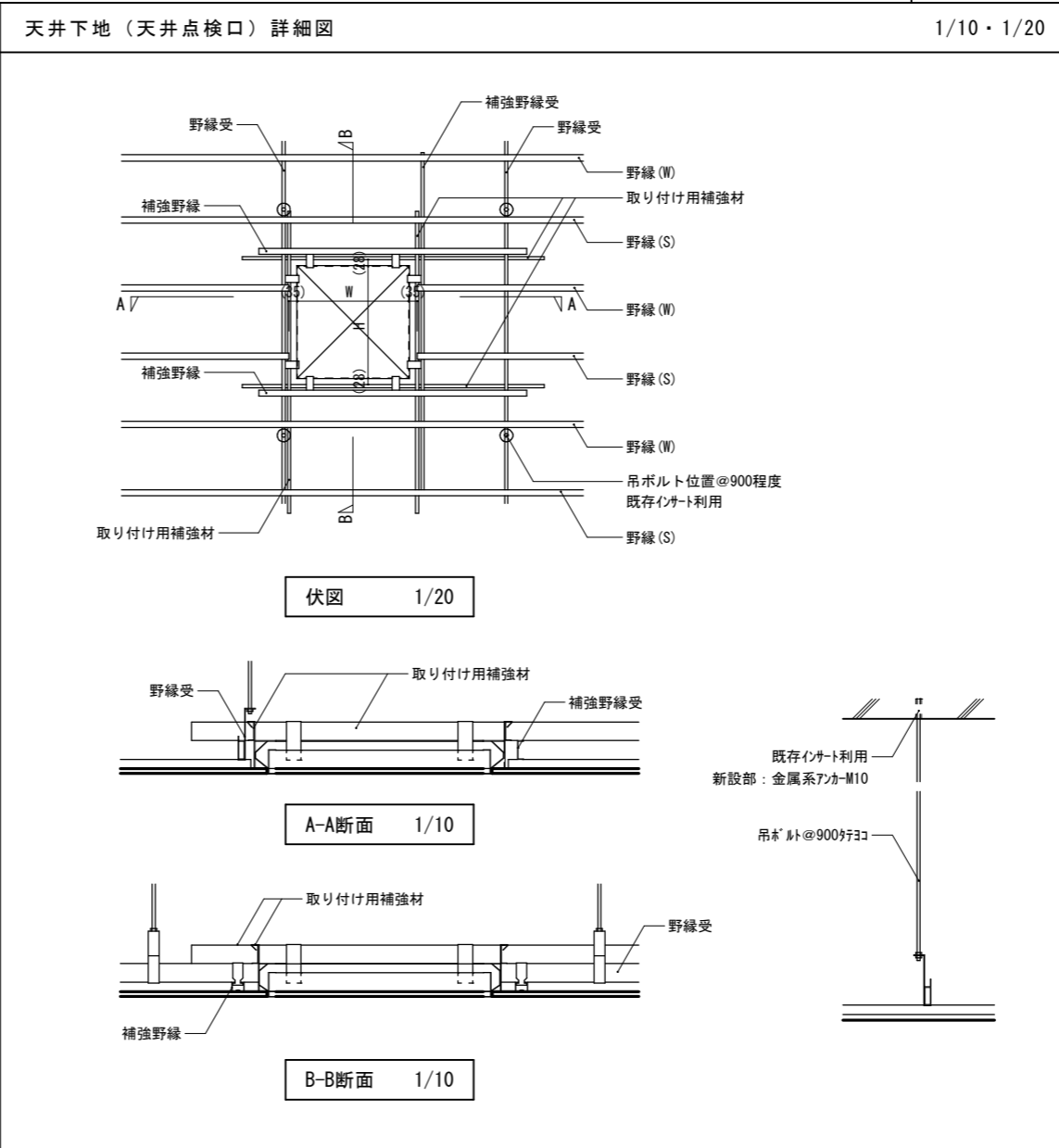
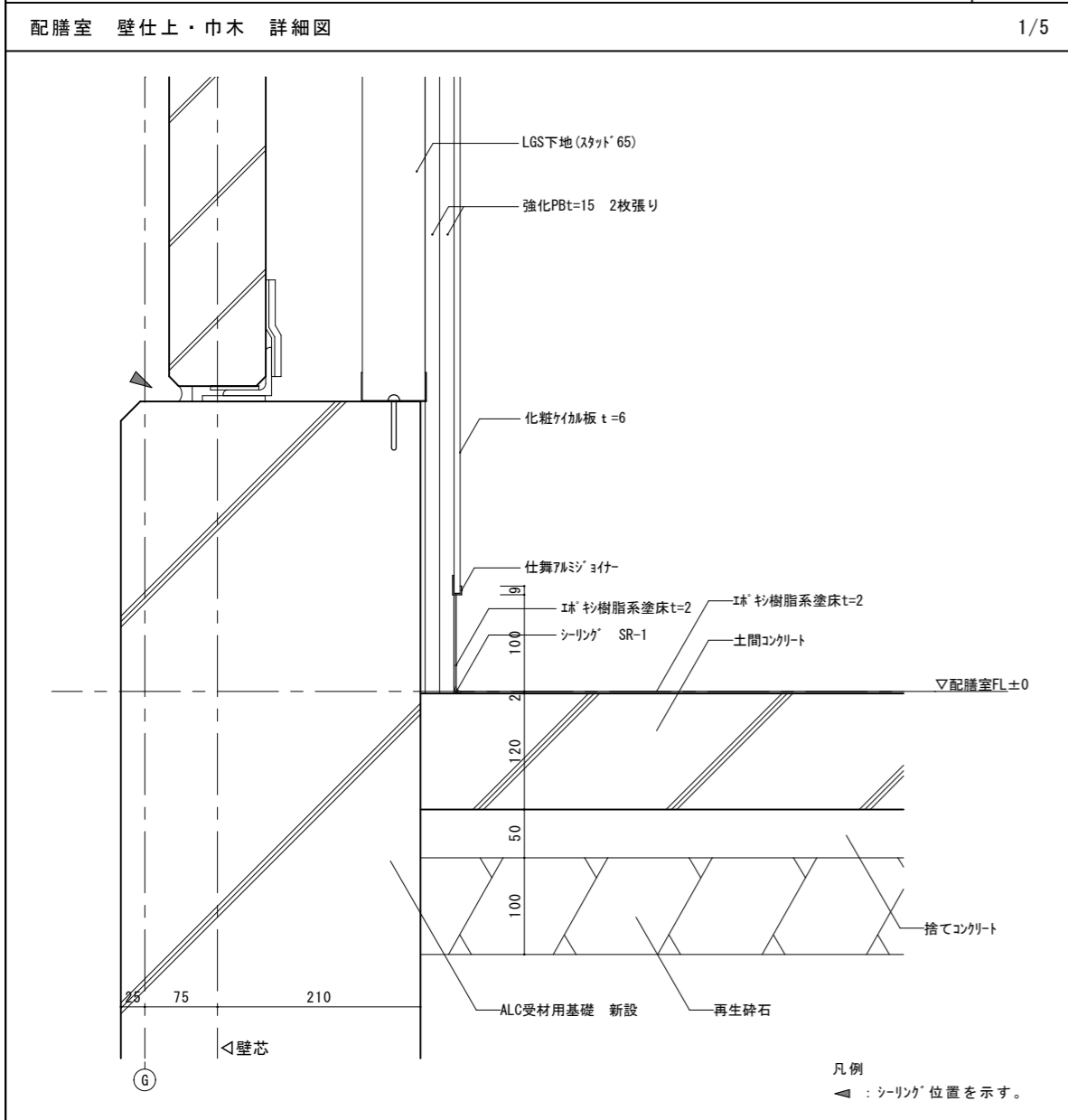
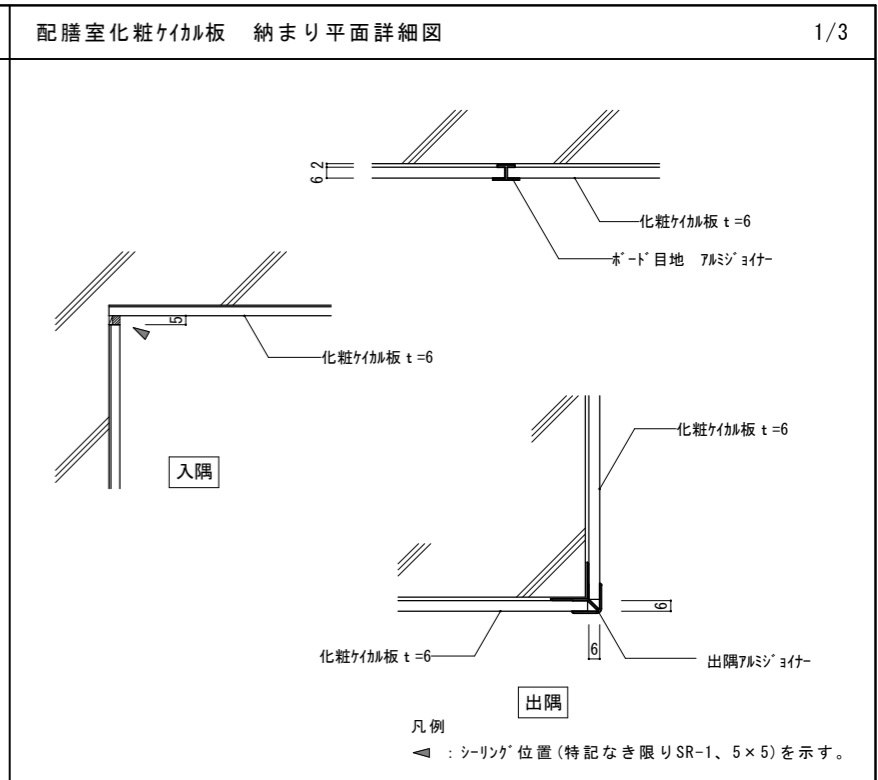
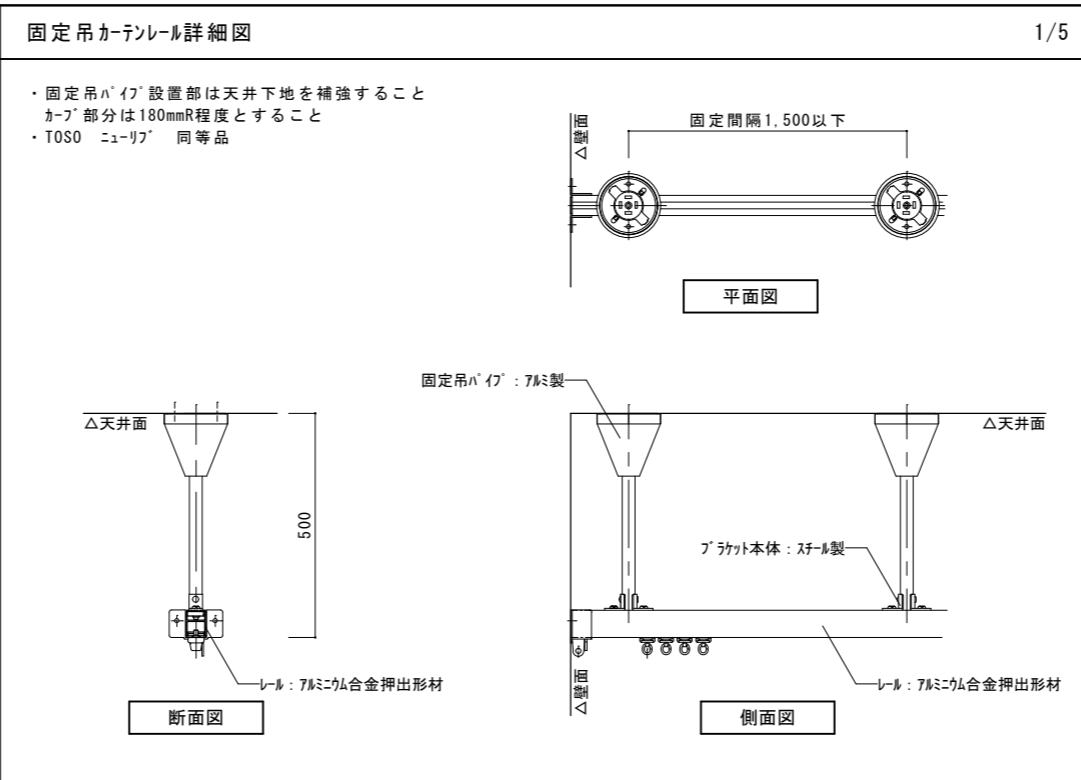
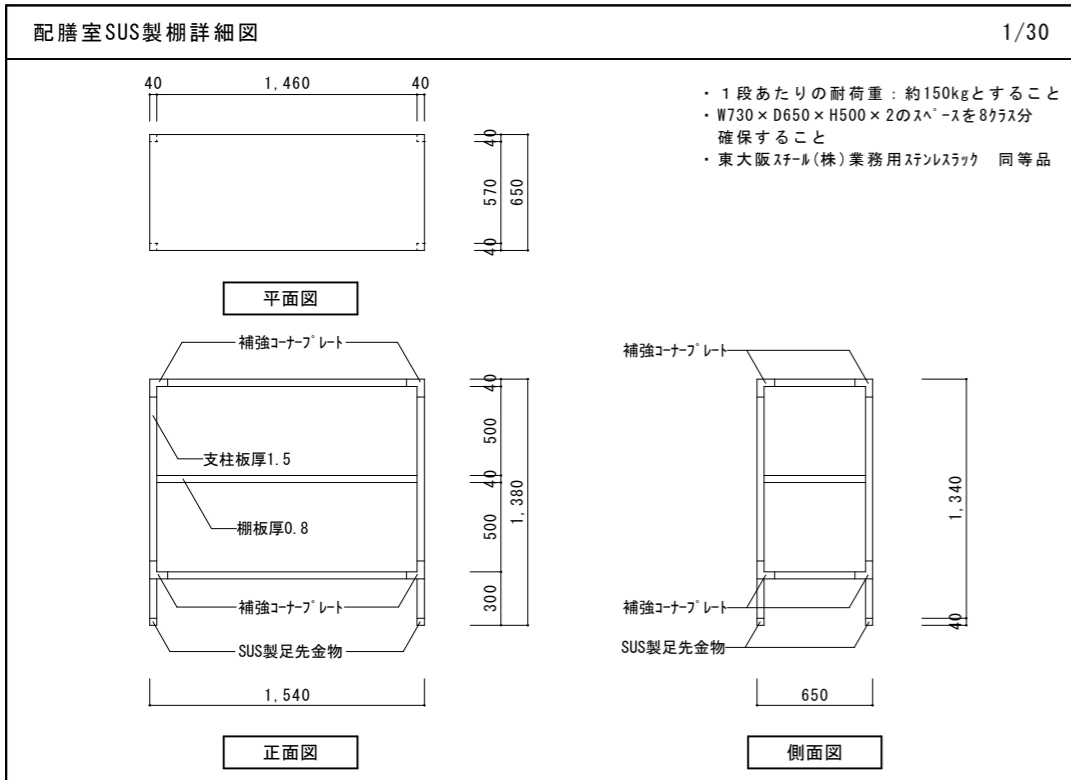


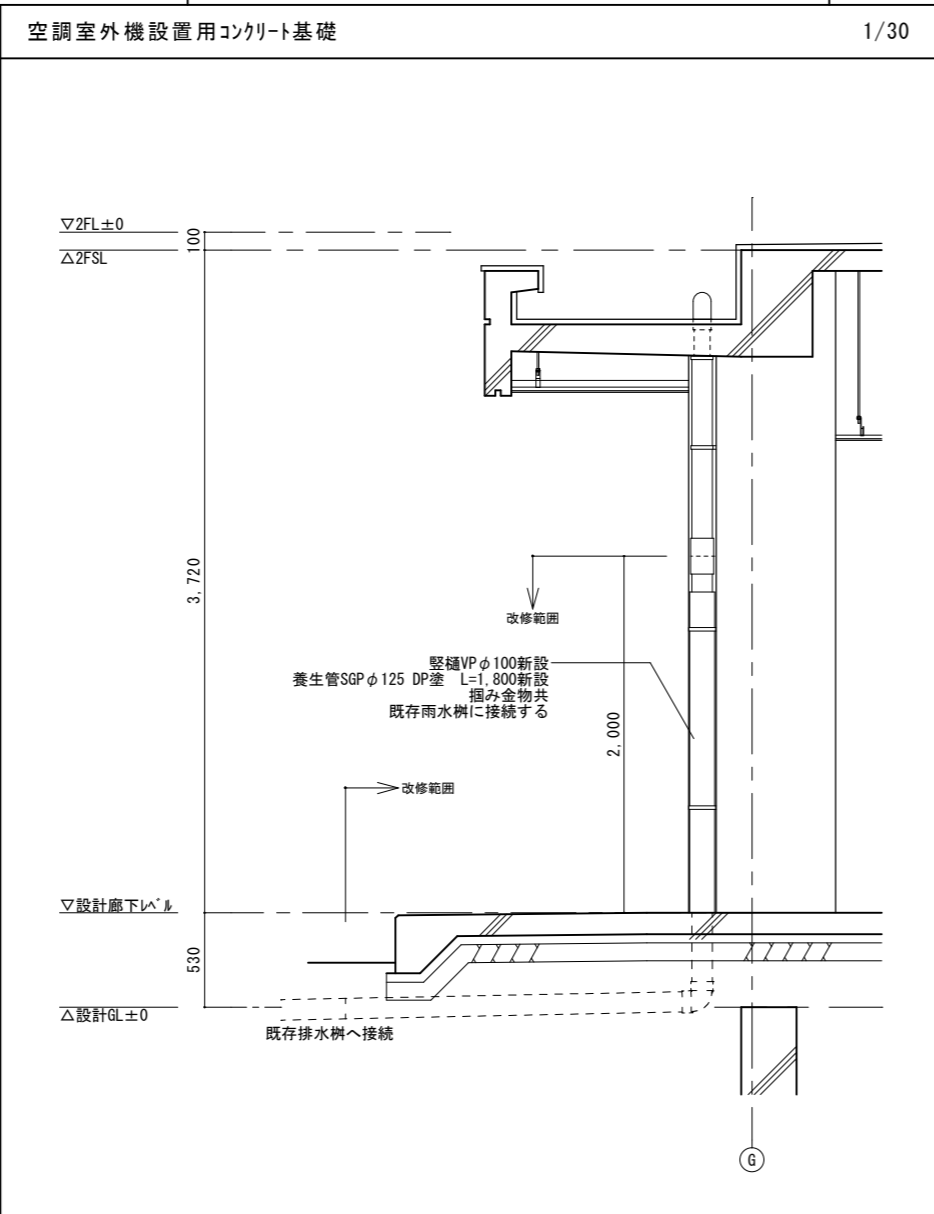
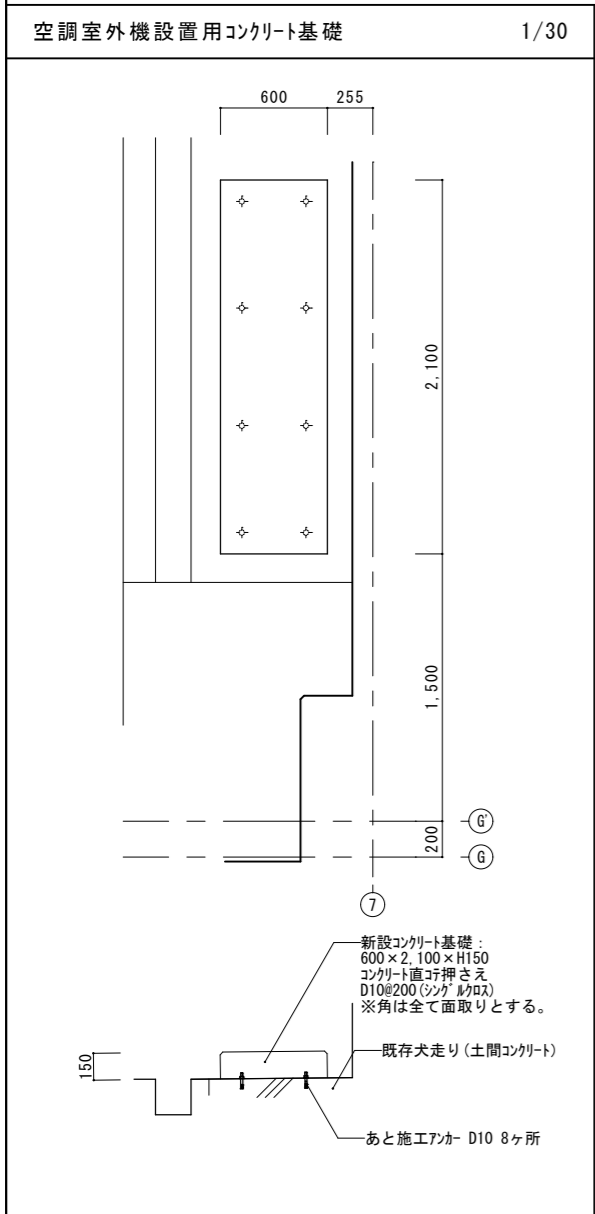
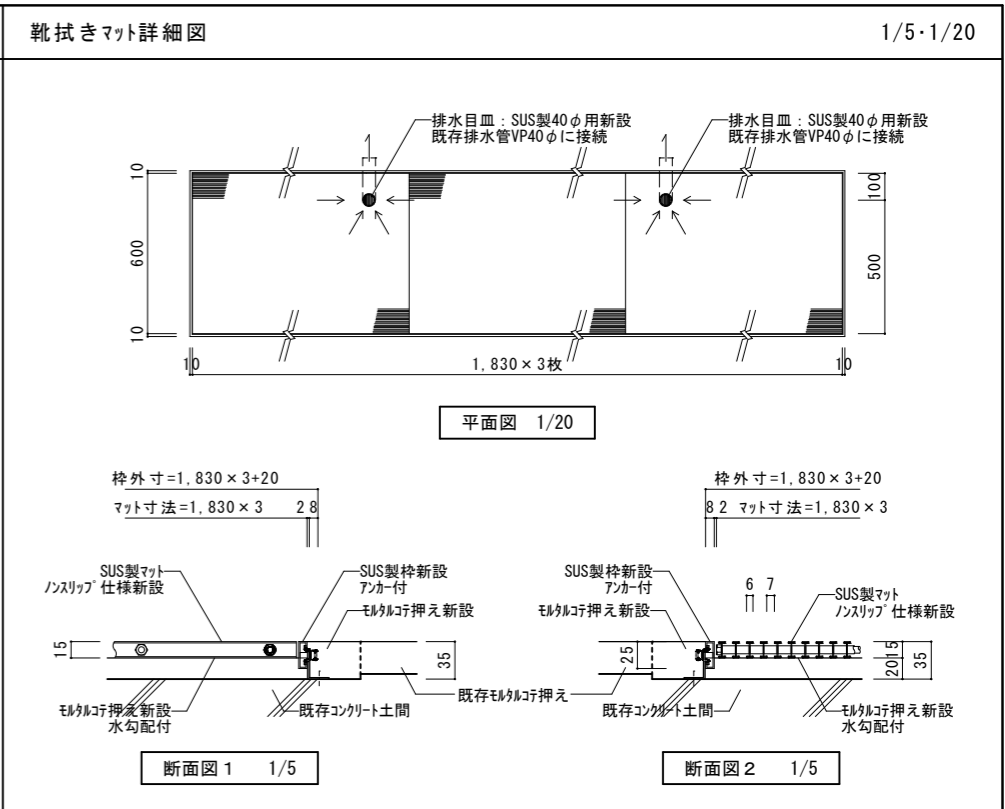
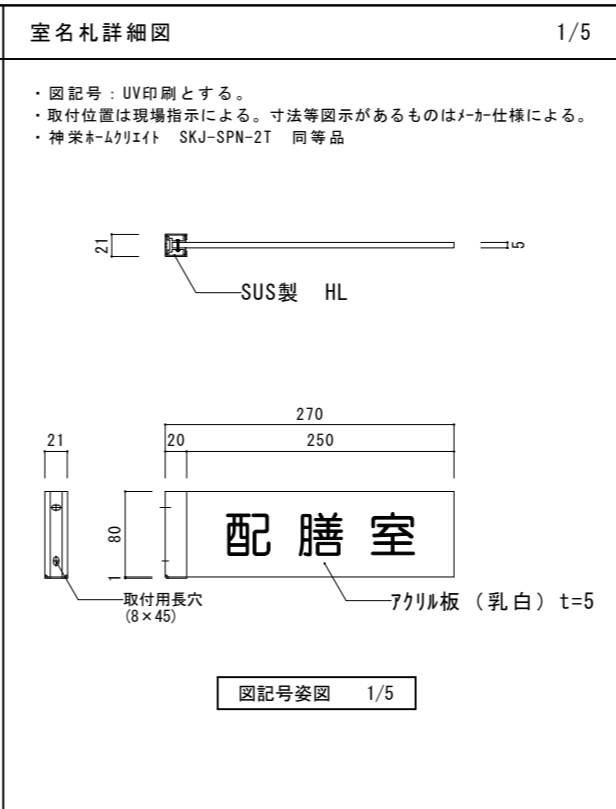
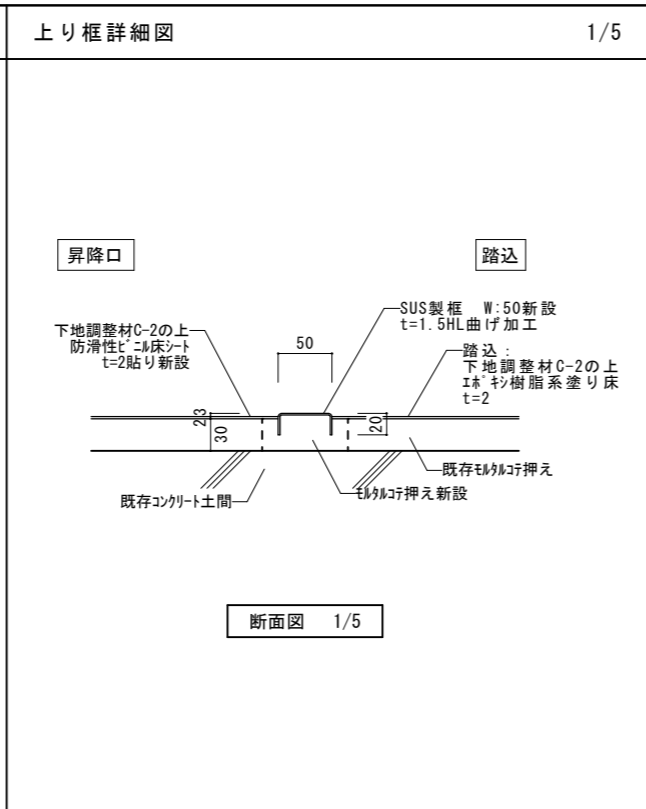
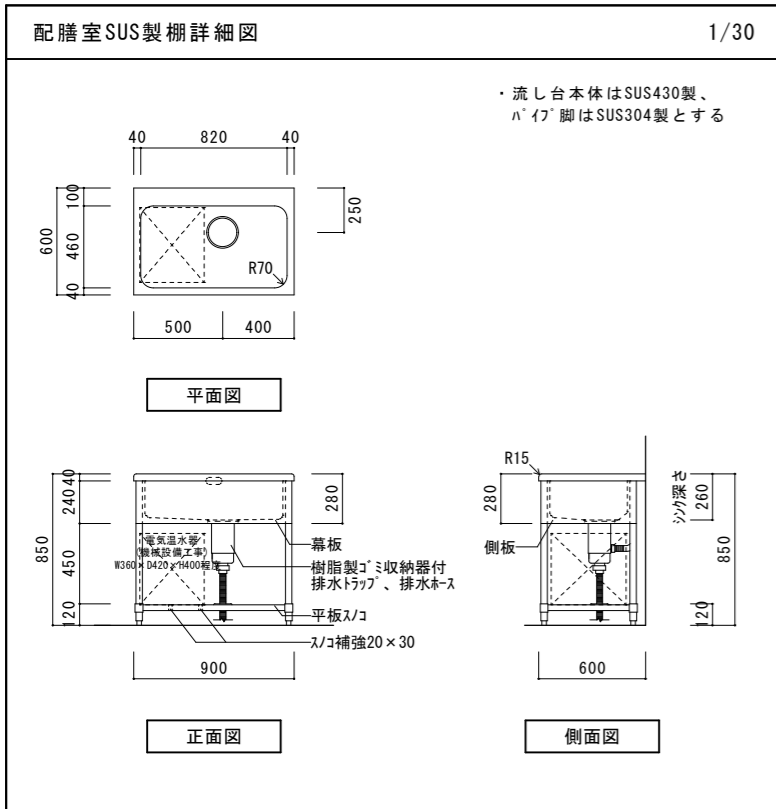
平面図 1/10

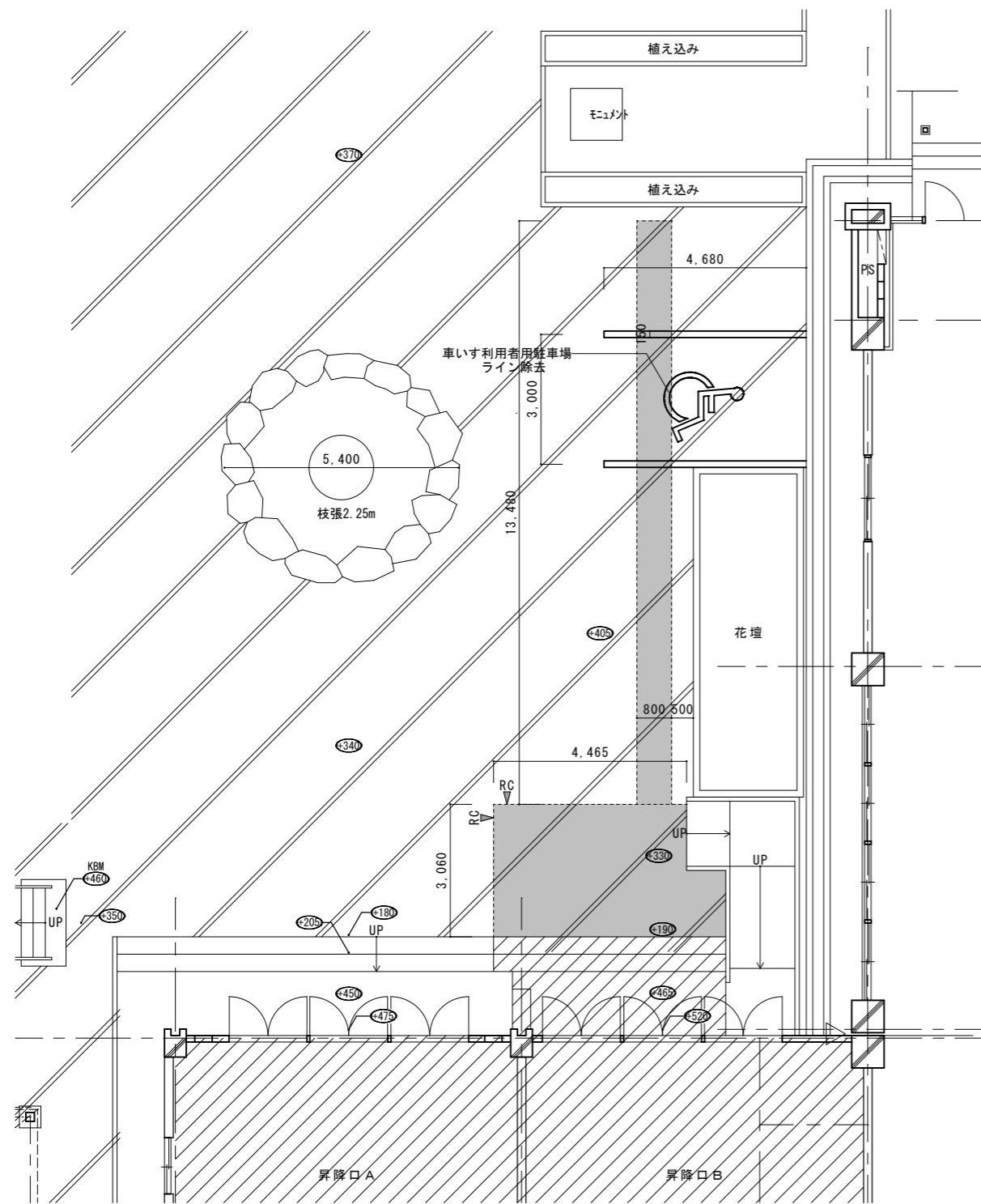
凡例
◀ : シーリング位置を示す。



平面図 1/10

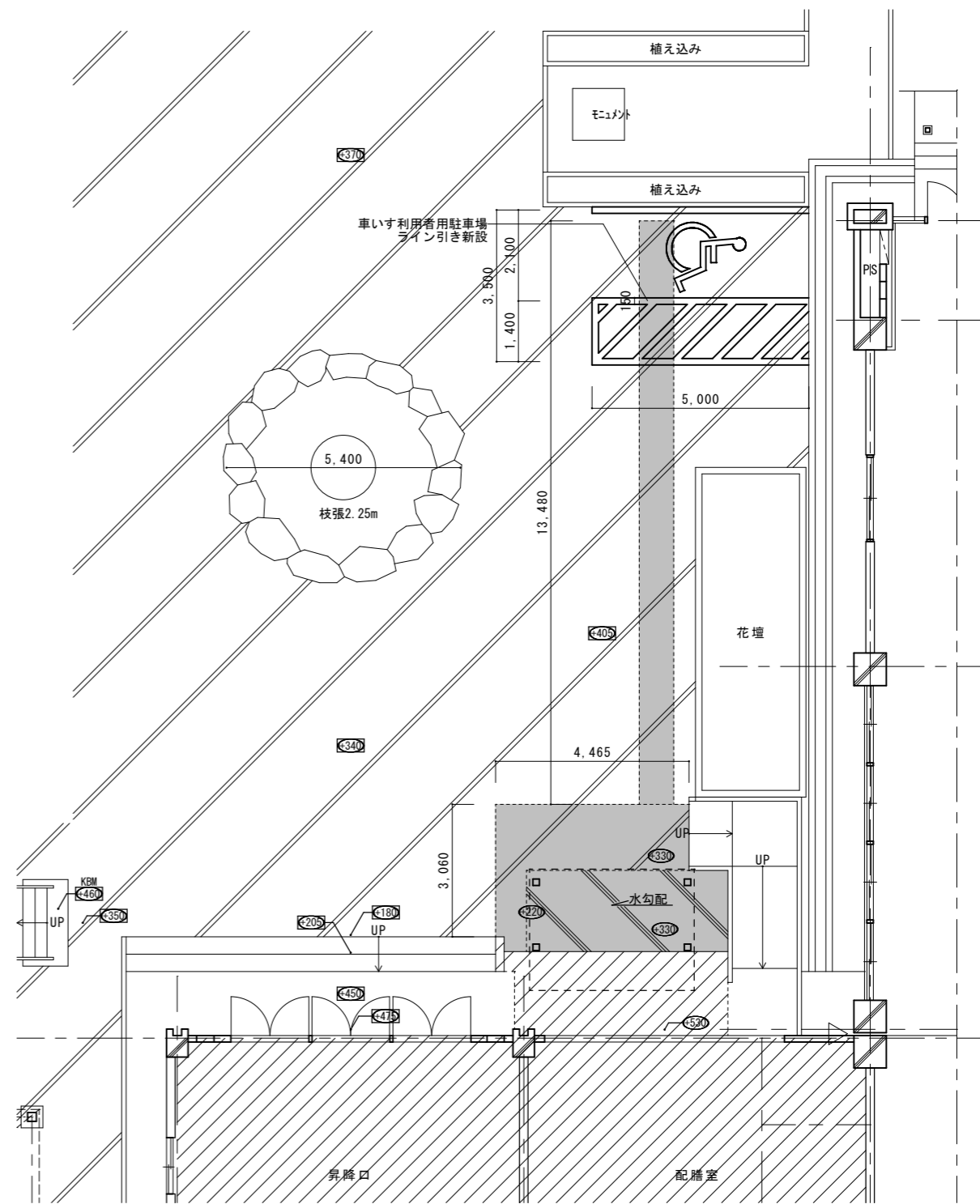






【現況・撤去】外構図 1/100

凡例	
***	数値は設計GLからの高低差を示す
***	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530
■	撤去範囲を示す。
▨	アスファルト舗装 範囲を示す。
▨	校舎の工事範囲を示す。
RC V	ロードカッター切りを示す。

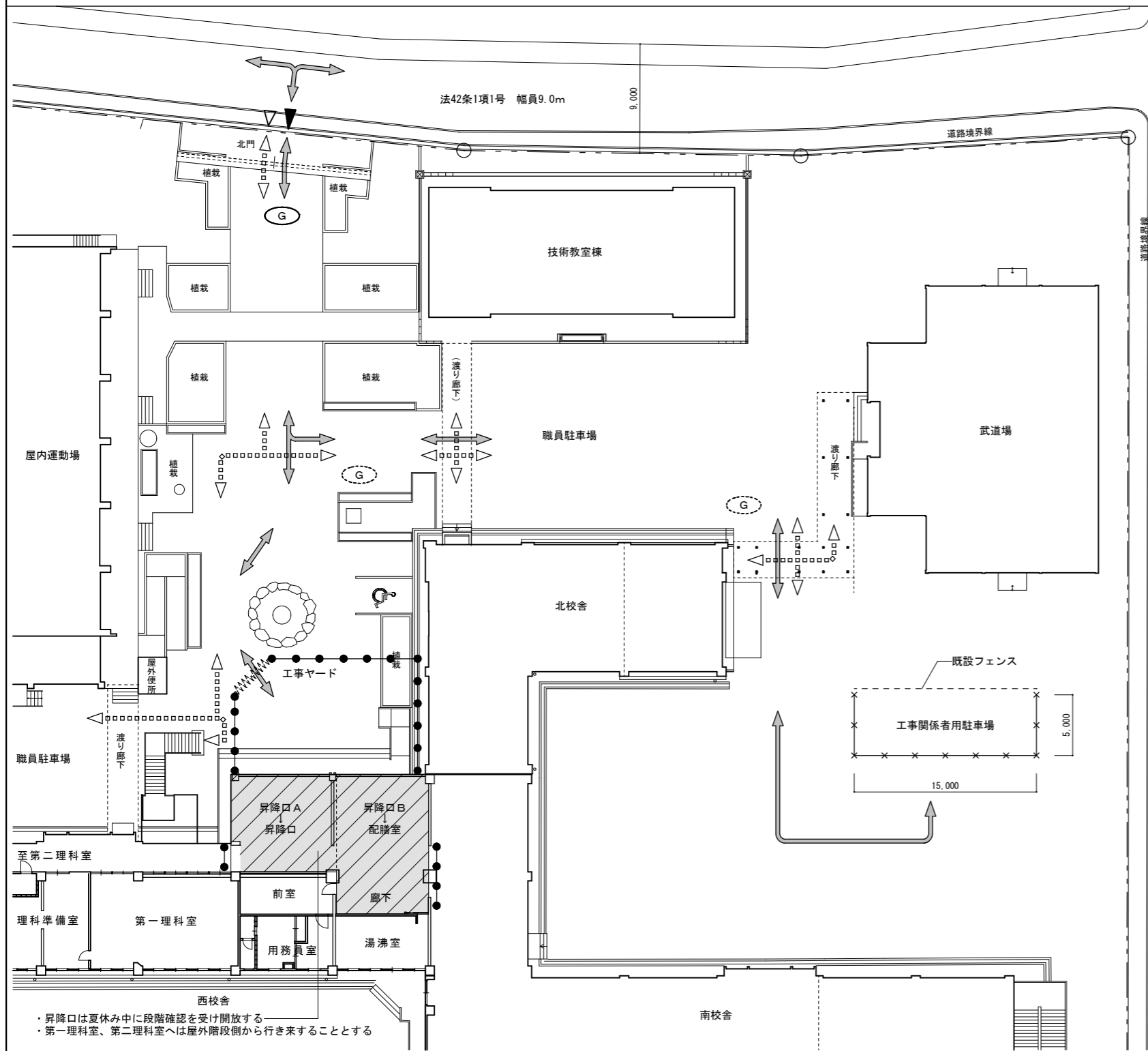


【改修】外構図 1/100

凡例	
***	数値は設計GLからの高低差を示す
***	数値は設計1階廊下レベルからの高低差を示す 設計1階廊下レベル=設計GL+530
■	新設範囲を示す。
▨	アスファルト舗装 範囲を示す。
▨	校舎の工事範囲を示す。
▨	コンクリート舗装 範囲を示す。

凡 例		注 意 事 項	
	対象工事改修範囲を示す		仮囲い: ガードフェンス (H=1,800) を示す 上部養生シート張り (H=900) カラーコーン (水平バー) を示す
	フェーズ1・2の各改修範囲を示す		キャストゲート (W4,000 H1,800) を示す
	工事車両進入口を示す		仮設スロープ (W900 L2,750) を示す
	職員・生徒・学校関係者進入路を示す		仮設壁を示す
	工事車両進入路を示す		LGS下地Pbt=9.5片面貼
	職員・生徒・学校関係者進入路を示す		ラフテレーンクレーン (13t) を示す (延べ作業: 2日間)
	交通誘導警備員の配置位置を示す (常駐1名、工事区画内外適宜移動)		職員及び施設利用者の動線上で工事を作業を行う場合、カーコン等を適宜設置すること
		<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は学校を使用しながらの工事となるため、安全には特に留意して施工を行うこと。 ・学校行事を優先し工事を進め、生徒の行動には十分注意を図ること。 ・生徒が工事区域に進入しないよう必ず施錠を行うこと。 ・学校管理者と工事工程等について密に連絡を取ること。 ・資材の搬出入により学校敷地内で工事車両を通行させる際は充分安全確認を行うこと。 ・車両出入り口付近は常に清掃を行うこと。 ・仮囲い及び作業足場等は図面通りとするが、設置にあたっては学校・監督職員と十分に打合せを行い、学校運営に支障をきたさないよう努力すること。 また、特記仕様書・配置図に明記された以外においても安全管理上必要と認められた場合は速やかに適切な対応を行うこと。 ・仮設材の設置時期は学校との打合せの上、決定すること。 ・工事車両進入に際し既存施設を破損させる恐れのある部分についてはコンパネ、鉄板等で養生すること。 万一破損・汚損させた際は受注者の責任で原状復旧を行うこと。 ・工事関係車両、資材の搬出入は生徒の登下校時間を避けた計画とすること。 ・学校敷地内は全面禁煙とする。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は学校打合せの上、決定する。 ・本図は参考図とし、工事着手までに現況調査の上 仮設計画図を作成し提出すること。尚、特記無くとも工事施工に伴い危険と認められる箇所、監督職員の指示した箇所には、適宜養生を行うこと。 ・工事用出入口は、学校関係車両の通行等を優先する事。 ・学校登校時間は工事車両の進入を避ける計画とし、下校時間以降についても生徒等を最優先とし安全に退出できる計画にすること。 	

【フェーズ1】 仮設計画図 1/300



概略工事工程表

年月	2024. 6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
工事名称	工事着手準備												
共通事項	現地調査												
フェーズ1	仮設工事	仮囲い設置				仮囲い撤去							
	解体工事	解体撤去											
	昇降口改修工事	昇降口改修											
フェーズ2	仮設工事	仮囲い設置				仮囲い撤去							
	解体工事	解体撤去											
	プラットフォーム上屋増築工事	プラットフォーム上屋増築											
	配膳室改修工事	配膳室改修											
外構工事									外構改修				
検査	フェーズ1 部分採用段階確認								フェーズ2 検査・工事全体検査				
備考	・フェーズ1、フェーズ2については二分割にて工事を進める。												

【フェーズ2】 仮設計画図 1/300

